

- 小学校における交通環境学習の普及 -  
金沢市内小学校における交通環境学習推進事業

報告書

平成 20 年 3 月

交通エコロジー・モビリティ財団

はじめに

環境に配慮した交通行動を推進する方策の一つとして環境学習があります。

そこで当財団では平成 14 年度から 17 年度にわたり、大阪府和泉市による『小学校における「交通・環境学習」の推進』事業の支援を行ってきました。この事業では、小学校の授業の中で日常生活と環境問題や交通問題との関係について学び、その解決に向けて自ら考え、実践するような姿勢を育むための教材やプログラムを作成することを目標として、教材やカリキュラムの検討が行われました。

さらに平成 18 年度には、大阪府の小学校で実施された全事例をとりまとめた事例集を発行し、交通環境学習の普及に努めています。

しかしながら、交通環境学習は地域の交通事情により取り組みが異なるため、普及にあたっては地域の実情に合ったプログラムや教材が必要となります。また、教材の作成等において学校教員は交通の専門家ではないため学校単独での取り組みは難しく、地方自治体の積極的な支援が不可欠です。

そこで当財団では、19 年度より事例集をもとに取り組む地方自治体に対して、交通環境学習に関するノウハウの提供や資金面での支援を開始しました。

本報告書は石川県金沢市での 19 年度の取り組みを取りまとめたものです。

本報告書が交通環境学習に関心を持たれている方々の一助になれば幸いです。

平成 20 年 3 月

交通エコロジー・モビリティ財団  
会 長 井 山 嗣 夫

# 目次

<b>第1章 「小学校における交通環境学習の推進」事業の概要</b> .....	1
1.1 事業の目的 .....	1
1.2 支援内容 .....	1
1.2.1 支援対象者 .....	1
1.2.2 支援対象プロジェクトの要件（プロジェクトの内容） .....	1
1.2.3 支援内容 .....	1
1.3 支援団体の選定 .....	2
<b>第2章 金沢市内小学校における交通環境学習推進事業</b> .....	3
2.1 実施概要 .....	3
2.1.1 目的 .....	3
2.1.2 既存の取り組み .....	3
2.1.3 検討体制 .....	6
2.1.4 実施内容とスケジュール .....	7
2.2 平成19年度交通環境学習授業プログラム実施概要 .....	9
2.2.1 目的 .....	9
2.2.2 事業内容 .....	9
2.2.3 実施対象校とスケジュール .....	11
2.2.4 交通エコロジー教室（1回目授業）の概要 .....	11
2.2.5 バス乗車体験 .....	15
2.2.6 復習授業（2回目授業）概要 .....	17
2.3 平成19年度授業成果と課題 .....	25
2.3.1 公共交通利用促進に向けた成果と課題 .....	25
2.3.2 交通環境学習推進に向けた成果と課題 .....	33
2.3.3 PRと周知の課題 .....	40
2.3.4 総評 .....	43
2.3.5 今後の対応 .....	45
2.4 小学生向け啓発ポスター .....	46
2.5 持続可能な交通環境学習のためのポイント .....	48
2.5.1 学校教育の授業として取り組んでもらうための仕組みづくりのポイント .....	48
2.5.2 児童に授業を理解してもらうためのポイント .....	49
2.6 平成20年度交通環境学習授業プログラムの検討 .....	51
2.6.1 目的 .....	51
2.6.2 事業内容 .....	51
2.6.3 実施対象校 .....	52

2.6.4 授業プログラム検討内容 .....	53
2.6.5 第3回交通環境学習推進委員会を受けての課題 .....	57
<b>2.7 今後の進め方 .....</b>	<b>58</b>
2.7.1 今後の課題 .....	58
2.7.2 平成20年度のスケジュール .....	59

< 参考資料 >

**1 . 交通エコロジー教室（1回目授業）教材等**

- (1) 寸劇シナリオ
- (2) バス利用方法説明シナリオ
- (3) 使用スライド
- (4) タイムスケジュール

**2 . 復習授業（2回目授業）プログラム**

- (1) 各小学校実施詳細プログラム
- (2) 事務局案

**3 . アンケート帳票・ふりかえりシートなど**

- (1) 児童事前アンケート
- (2) 児童事後アンケート
- (3) 保護者・教育関係者アンケート
- (4) 交通エコロジー教室感想シート
- (5) 復習授業ふりかえりシート

- (6) バス乗車体験記

**4 . バス乗り方ガイド**

## 第1章 「小学校における交通環境学習の推進」事業の概要

### 1.1 事業の目的

環境に配慮した交通行動を推進する方策の一つとして環境学習がある。

しかしながら、交通環境学習は地域の交通事情により取り組みが異なるため、普及にあたっては地域の実情に合ったプログラムや教材が必要となる。また、学校教員は交通の専門家ではないため、教材作成等において学校単独での取り組みは難しく、地方公共団体の積極的な支援が不可欠である。

当財団では交通環境学習の取り掛かりとして、平成 14 から 17 年度にわたり大阪府和泉市が取り組んだ『小学校における「交通・環境学習」の推進事業』の支援を行った。

また平成 18 年度には、「小学校における交通環境学習」の普及を目指し、大阪府下での取り組みを取りまとめた事例集を発行した。

本事業は、18 年度に作成した事例集の普及に努めるとともに、環境問題について学び始める小学校高学年生を対象にした交通環境学習に取り組む地方公共団体に対して、交通環境学習に関するノウハウの提供や資金面での支援を行い、全国普及への足掛かりとすることを目的として実施するものである。

### 1.2 支援内容

#### 1.2.1 支援対象者

支援対象者は、都道府県又は市区町村とした。

#### 1.2.2 支援対象プロジェクトの要件（プロジェクトの内容）

- ・ 小学校における交通環境学習の実施を前提として実施されるもの
- ・ 行政、学校・教育関係者、市民団体、学識経験者等からなる委員会形式で、プロジェクトの構想立案、実施計画策定、事後評価、フォローアップ等を行うこと
- ・ 同委員会の委員長は学識経験者とし、できる限り地元から選出すること
- ・ プロジェクトの実施にあたり、当該地域の交通事情に詳しいコンサルタントや市民団体等をできるかぎり活用すること
- ・ 平成 19 年度に着手でき、3 年程度で結論が得られること

#### 1.2.3 支援内容

##### （1）運営面での支援

- ・ 専門家（学識経験者）の選定、並びに講師等としての招聘
- ・ 関係者との連携の支援
- ・ 情報提供、及び情報収集の支援

## ( 2 ) 資金面での支援

### 支援対象経費

- ・ 委員会運営費（委員及び講師への謝金、旅費交通費、会場費等）
- ・ 交通環境学習実施費用  
（業務委託費、印刷製本費、資料等の購入費用等）

### 支援限度額

1 プロジェクトにつき、1年あたり300万円程度を限度として協議の上定める。

### 支援期間

原則3年間。

## 1.3 支援団体の選定

事例集の発行に伴い、事例集の内容及び支援の有無についての問い合わせが数件あり、その中で取り組む意欲のある地方自治体の中から金沢市を選定した。

## 第2章 金沢市内小学校における交通環境学習推進事業

### 2.1 実施概要

#### 2.1.1 目的

公共交通の利用促進に向けて、公共交通を支える意識の醸成を図るためには、小学生という早い段階から公共交通について考える機会を提供することが重要である。また、自動車運転免許を持たない子どもは、自動車に同乗する以外の自発的な交通行動においては、徒歩や自転車、公共交通を利用する機会が多いと考えられる。将来の自動車利用への転換を抑制するためにも、子どもの段階から公共交通を利用する意識を醸成することが重要である。

このため金沢市では、平成 19 年度から 3 ヶ年かけ、小学生を対象とした交通環境学習を開催し、交通と環境の問題について分かりやすく効果的に伝え、子どもが楽しめ、公共交通利用促進につながる金沢市版の交通環境学習プログラムの確立を目指す。

#### 2.1.2 既存の取り組み

金沢市では、新金沢交通戦略で学校を対象とした意識啓発を取り組む施策として挙げている。

平成 18 年度には、交通と環境の問題についての情報提供、金沢の公共交通利用促進施策の市民への P R と金沢市民の公共交通（バス）への関心を高めるために、小学生を対象にしたイベントを、金沢駅東もてなしドーム地下広場で開催され、49 組・157 名の小学生の親子の参加があった。

##### （ 1 ）寸劇による講義

まず、参加者にバス利用についての知識を楽しみながら学んでもらうことを目指し、金沢に住むある一家を題材とした寸劇が実施された（表 2 . 1 ）。内容は 5 分程度の話を 5 本行われ、いずれも、バス仮面が家族へバスについて説明するスタイルで構成されている。

表 2.1.1 寸劇の内容（平成 18 年度）

シナリオタイトル	内容・目的
シナリオ 1： 駐車場でイライラ	駐車場が満車で映画が見られなかった家族に、バス仮面が駐車場の心配が必要ないバスの利用を提案。
シナリオ 2： ラッシュの交通渋滞	渋滞に巻き込まれ、いらいらしてケンカを始める家族に、バス仮面がバスレーンの説明を行い、バスに乗ると渋滞を避けられることを説明。
シナリオ 3： 地球温暖化とバスの関係	暑さで倒れる家族。地球温暖化と自動車の排気ガスの関係と、公共交通の大量輸送性が排気ガス排出削減に有効であるとバス仮面が説明。
シナリオ 4： バス利用の達人	バスに乗る家族に、ばすく～る、低床バス、アイカとふらっとバスについて、バス仮面が説明。
シナリオ 5： 人にも優しくなれるバス	アイカを持ってバスに乗る兄弟が高齢者に席を譲る。その光景を見たバス仮面が兄弟に、バス利用の達人認定証を渡す。

( 2 ) 金沢バス利用の達人検定

金沢バス利用の達人検定（ × 形式のクイズ ）を行った。参加者のこども全員に × 札を配布し、その札を挙げて回答してもらった。クイズはテーマごとに 4 ラウンド行い、各ラウンド 3 問出題した。問題は、配布した金沢バス利用の達人養成塾テキストと寸劇の内容から半数程度出題した。

表 2.1.2 金沢バス利用の達人検定の内容

テーマ	テキストの対応
第 1 ラウンド： バスの歴史、バスの物語、バスの特徴	1 章：公共交通（バス）の概要 （あらしやバスの機能）について
第 2 ラウンド： バスと環境問題（主に CO2 削減など）	2 章：公共交通と環境について
第 3 ラウンド： 金沢のバスの現況 （金沢のバスの運行本数、利用人数など）	3 章：金沢市の公共交通施策の概要
第 4 ラウンド： 金沢の公共交通施策（ふらっとバスなど）	

### (3) 金沢バス利用の達人認定式

金沢バス利用の達人として、全員に認定証と記念品を授与した。



写真 2.1.1 達人認定式の様子



写真 2.1.2 金沢バス利用の達人養成塾テキスト



写真 2.1.3 金沢バス利用の達人認定証

### 2.1.3 検討体制

金沢版交通環境学習プログラムの確立にあたり、より効果的で持続可能な方策になるよう推進する交通環境学習推進委員会を設置し、検討を行った。

表 2.1.3 交通環境学習推進委員会委員名簿

	役職名	氏名	備考
学識 経験者	金沢大学大学院自然科学研究科教授	高山 純一	委員長
	筑波大学大学院システム情報工学研究科講師	谷口 綾子	
小学校 関係	金沢市立長田町小学校校長	越田 義人	
	金沢市立緑小学校校長	宮川 衛	
	金沢市立押野小学校校長	中山 秀悟	
関係団体 ・ 市民代表	金沢市校下婦人会連絡協議会交通部会長	安嶋 弘子	
	みらい子育てネット金沢市地域活動連絡協議会長	山本 由美	
	明日の金沢の交通を考える市民会議代表	吉田 洋	
行政関係	国土交通省北陸信越運輸局交通環境部環境課長	佐々木 紀彦	
	国土交通省北陸信越運輸局石川運輸支局 首席運輸企画専門官	石山 晃	
オブ ザーバー	金沢市教育委員会学校教育部学校指導課課長	池端 弘久	
	金沢市環境局環境保全課課長	新村 光秀	

2.1.4 実施内容とスケジュール

平成 19 年度(導入年)		平成 20 年度(金沢版トライアル年)		平成 21 年度(金沢版完成年)	
実施内容	委員会	実施内容	委員会	実施内容	委員会
<p>1. 交通エコロジー授業の開催 授業数：45分1時限×2回(計2時限) 公開交通エコロジー教室(1時限：学年授業) 昨年度実施した内容を一部見直しして交通と環境との関わりを中心とするプログラムを作成。 ・演劇+バス利用方法説明 ・バス乗車券及び21世紀美術館入場券の配布 復習授業(1時限：クラス別授業) ・バス乗車体験の感想記入 ・感想を意見交換し、バス利用促進について提案する。</p> <p>2. 実施成果のとりまとめ 生徒の感想文のとりまとめ 児童への事前事後意識変化アンケート 学校関係者ヒアリング 平成19年度の評価と課題の抽出</p> <p>3. 小学生向け啓発ポスターの作成・配布</p> <p>4. 次年度計画の作成 平成20年度に使用する、プログラム案を作成する。 プログラム方針と概要 交通エコロジーテキスト(金沢版)素案作成</p>	<p>第1回委員会 3ヵ年の方針 今年度実施方針</p> <p>第2回委員会 実施結果報告</p> <p>第3回委員会 次年度プログラム案 募集・選定方法</p>	<p>1. 金沢交通エコロジー授業プログラムの作成 協力校の教諭と協議しながらプログラムを作成する。 授業プログラム テキスト 使用ツール 使用機材(実車による二酸化炭素測定など)</p> <p>2. 交通エコロジー授業の開催 継続校：45分1時限+2時限(計3時限) 実践授業【2時限】 かしこいクルマの使い方説明 行動プランの策定 発表【1時限】 新規校：45分1時限+2時限(計3時限) 導入授業(環境、交通)【2時限】 金沢市の交通・公共交通の乗り方説明 公共交通乗車体験発表と 公共交通利用促進提案の発表【1時限】</p> <p>3. 事後調査の実施(半年後) ・行動変容、意識変容アンケート</p> <p>4. 実施成果のとりまとめ 生徒の感想文やアンケートの集計 学校関係者ヒアリング(改善点など) 平成20年度の評価と課題</p> <p>5. 次年度プログラムに向けた課題検討 ・授業プログラムの改善</p>	<p>第1回委員会 プログラム内容 今年度実施内容</p> <p>第2回委員会 実施結果報告</p> <p>第3回委員会 実施結果報告 次年度プログラム方針</p>	<p>1. 金沢交通エコロジー授業プログラム完成版の作成 授業プログラム テキスト 使用ツール 使用機材(実車による二酸化炭素測定など)</p> <p>2. 交通エコロジー授業の開催(前期授業) 平成20年度と同様に新規校と継続校で分けて授業プログラムを作成する。</p> <p>3. 実施成果のとりまとめ 平成20年度とほぼ同様</p> <p>4. 合同発表会の開催(2校程度) 時期：平成21年12月頃 規模：100~200人 (学校関係者、生徒、保護者、一般市民) 内容：協力校による発表 2校各1グループ 計2グループ 学識経験者等からのコメント</p> <p>5. ホームページの作成 プログラム概要 二酸化炭素排出量算定シート ほか</p>	<p>第1回委員会 プログラム内容 今年度実施方針</p> <p>第2回委員会 実施結果報告</p> <p>第3回委員会 実施結果報告 3ヵ年のまとめと課題</p>
調整内容		調整内容		調整内容	
<p>誰が授業を行うかが重要(先生、市職員、コンサル、市民団体等) ・小学校での波及性を考慮し、長期的に行える体制づくりが理想 平成19年度協力校の選定(3校) ・長田町小学校、緑小学校と押野小学校(全て4年生)を選定。 ・協力校の担任との授業内容調整・役割分担 平成20年度協力校の募集・選定・調整(対象5年生) ・プログラム実施内容の提示(応募はたらきかけ) ・募集・選定(募集方法は委員会で検討。選定は金沢市) ・年間指導計画とのすりあわせ(総合学習、理科)</p>		<p>平成20年度協力校との調整 ・学校教諭の負担大(誰が授業を行うか) ・関係機関との調整 ・協力校の担任との授業内容調整・役割分担 平成21年度協力校の募集・選定・調整(対象5年生) ・プログラム実施内容の提示(応募はたらきかけ) ・募集・選定 ・年間指導計画とのすりあわせ(総合学習、理科)</p>		<p>平成21年度協力校との調整 ・学校教諭の負担大(誰が授業を行うか) ・関係機関との調整 ・協力校の担任との授業内容調整・役割分担 教育委員会との調整 次年度以降、毎年5年生の授業で実施など  合同発表会の調整</p>	
成果目標		成果目標		成果目標	
<p>平成20年度以降の協力校を確保する そのためのPRイベント的な授業の試行を行う(公開性で) 平成19年度の評価と課題(実施成果のとりまとめで行う)</p>		<p>金沢版交通エコロジー授業プログラムの開催ノウハウの獲得(テキスト、ツールほか) 交通エコロジーテキスト金沢版の作成(第1版) 次年度協力校の選定 平成20年度の評価と課題(実施成果のとりまとめで行う)</p>		<p>金沢交通エコロジー授業プログラムとテキストの完成 全小学校への適用決定 合同発表会やホームページ作成による周知・PR</p>	
協力校の比較対象項目		協力校の比較対象項目		協力校の比較対象項目	
<p>まちなかと郊外の学校を抽出し、授業の成果の比較を行う。(主にバスに対する啓発)(まちなかの小学校：長田町小学校 郊外の小学校：緑・押野小学校)</p>		<p>2ヵ年にわたって継続して授業を行う学校(1校)、主に電車利用に対する啓発を行う学校(1校)とバス利用に対する啓発を行う学校(1校)を選定</p>		<p>2もしくは3ヵ年にわたって継続して授業を行う学校と単発で授業を行う学校を選定</p>	

## 2.2 平成19年度交通環境学習授業プログラム実施概要

### 2.2.1 目的

- ・小学生に対し、日常生活が環境問題や交通問題に関係していることを学び、それらの問題解決に向けて自ら考え、実践する姿勢を育むための教材やプログラムを作成し、公共交通利用を促す。
- ・まちなかにある小学校と郊外にある小学校に対し、交通エコロジー授業を行い、プログラムの効果の違いを検証し、今後のプログラムの効果的な実施について検討を行う。
  - ・交通エコロジー教室を公開し、保護者や教育関係者などへの周知を図る。
- ・次年度以降、小学校が主体的に本事業を実施し、金沢版交通環境学習を行えるように、本年度は事業の実施を金沢市が主体的に行い、金沢における交通環境学習の導入部分をつくりあげる。

### 2.2.2 事業内容

児童が自ら考え実践する姿勢を育むために、交通と環境の関わりや公共交通利用の重要性を学んだのち、実際にバスに乗車することを体験し、自分の感想を授業で発表し他の児童の意見を聞く機会を設けるため2度に分け、授業を開催することとする。また、その成果を、アンケートによって把握する。

まず、交通と環境の関わりを示し公共交通の利用促進を呼びかける、交通エコロジー教室を行う。交通エコロジー教室のプログラムは、昨年度実施した内容を一部見直し活用する。次に、実際にバスに乗車した後に、復習授業を行う。このふたつを併せて、交通エコロジー授業と呼ぶこととする。

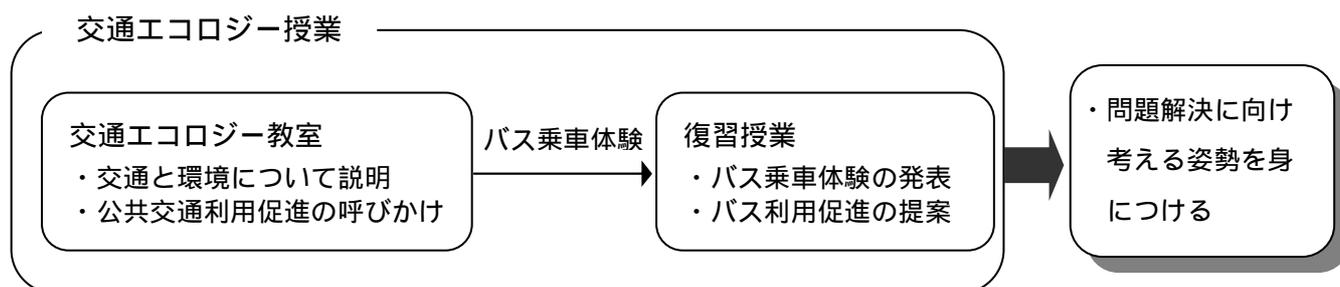


図 2.2.1 平成19年度交通エコロジー授業の概略

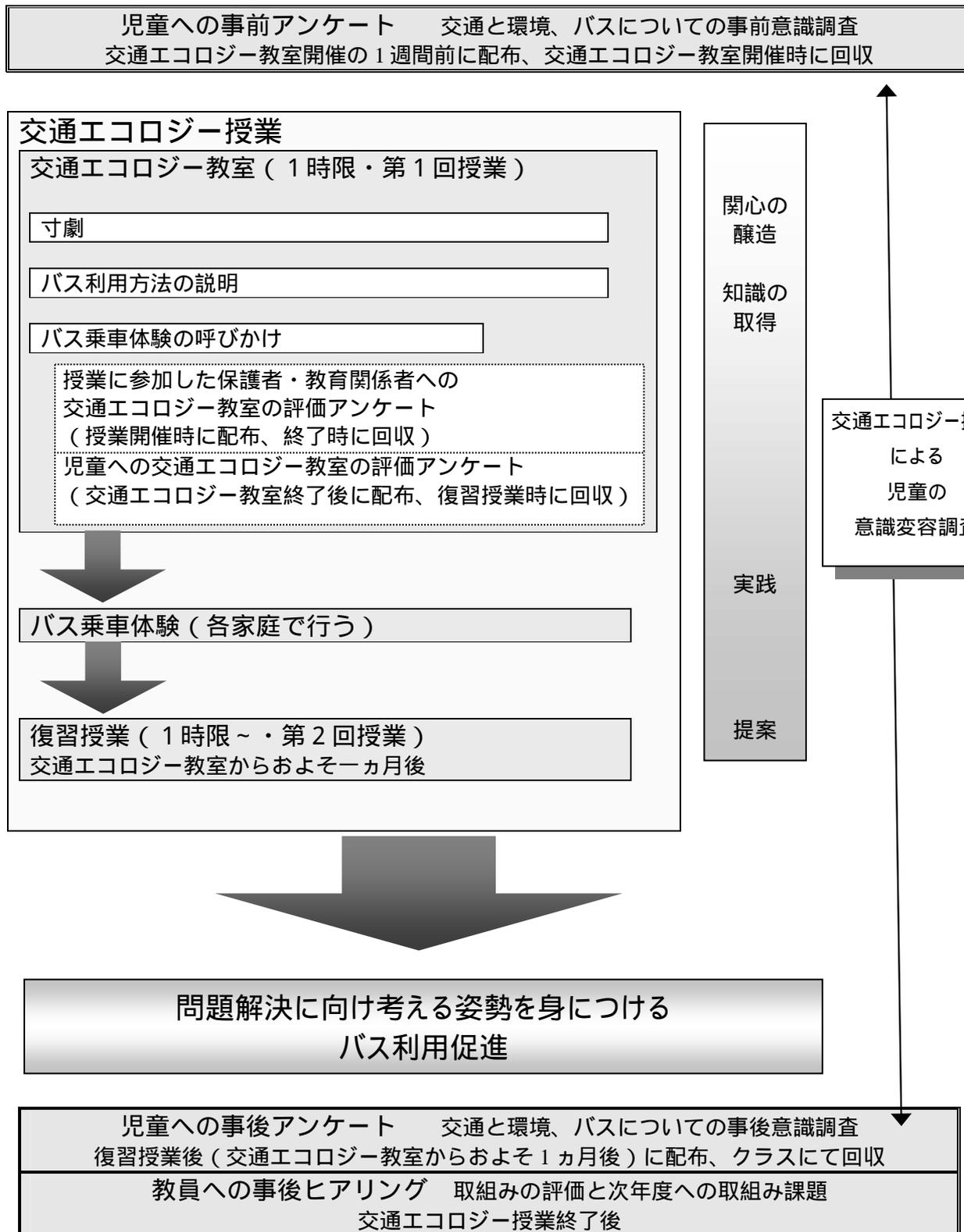


図 2.2.2 平成 19 年度交通エコロジー授業の流れ

### 2.2.3 実施対象校とスケジュール

平成 19 年度は、長田町小学校、押野小学校、緑小学校の 3 校で実施した。スケジュールは以下の通りである。

表 2.2.1 平成 19 年度実施スケジュール

項目	長田町小学校	押野小学校	緑小学校
立地	まちなか	外縁部	郊外
児童数（クラス数）	39 人（2 クラス）	117 人（3 クラス）	102 人（3 クラス）
交通エコロジー教室 （第 1 回目授業）	11 月 2 日（金） 5 限 13:55～14:40 いこいの広場にて 公開授業	11 月 6 日（火） 4 限 11:25～12:10 体育館にて 公開授業	11 月 6 日（火） 2 限 9:30～10:15 体育館にて 公開授業
復習授業 （第 2 回目授業）	11 月 27 日（火） 5 限 13:50～14:35 6 限 14:50～15:35 1 組・2 組合同 2 時限分使用	11 月 21 日（水） 5 限 13:40～14:25 3 クラス同時開催 授業参観日	11 月 30 日（金） 2 限 9:25～10:10 3 限 10:30～11:15 4 限 11:20～12:05 各クラスで 1 時限ごと に開催
事前打ち合わせ	交通エコロジー教室前と復習授業の前に各 1 回		
ヒアリング	復習授業後に各 1 回		

### 2.2.4 交通エコロジー教室（1 回目授業）の概要

#### （1）全体の流れ

3 小学校とも全て同じ授業プログラムで、全クラス合同で行った。また、全ての小学校において公開授業として開催した。

表 2.2.2 交通エコロジー教室の概要

項目	目的	方法	主体	時間
あいさつ	授業の目的の説明	-	金沢市	2 分
寸劇	交通と環境の関わりを学んでもらう 公共交通利用促進を行う	児童に楽しみながら学んでもらえるよう、寸劇を実施する。	劇団	13 分
感想発表	バスに興味を持ってもらったことを確認する	寸劇を見ての感想を何人かの児童に述べてもらう。	金沢市 （教員）	5 分
バスの利用方法の説明	実際にバスに乗るために、乗り方や、時刻表の見方を学んでもらう	バス車両のセットを用い、シミュレーションしながら説明する。	金沢市 （教員）	20 分
バス乗車体験の呼びかけ	バス乗車体験を呼びかける	バス乗車体験の目的地は 21 世紀美術館とする。	金沢市 （教員）	5 分

(2) 寸劇について

地元の劇団によって、3分程度の寸劇を4本行った。また、スクリーンに適宜、劇の内容に合った写真やグラフを映した。それぞれのシナリオで説明した項目と劇の内容は以下の通りである。

表 2.2.3 寸劇の内容

シナリオタイトル	内容・目的	時間
シナリオ1： ラッシュの交通渋滞	渋滞に巻き込まれ、いらいらしてケンカを始める家族に、バス仮面がバスレーンの説明を行い、バスに乗ると渋滞を避けられることを説明。	4分
シナリオ2： 地球温暖化とバスの関係	暑さで倒れる家族。地球温暖化と自動車の排気ガスの関係と、公共交通の大量輸送性が排気ガス排出削減に有効であるとバス仮面が説明。	3分
シナリオ3： みんなのバス	バス利用者数が減少している状況を説明し、バスがなくなると困る人がたくさんいるということをバス仮面が説明。	3分
シナリオ4： 人にも優しくなれるバス	バスに乗る兄弟が高齢者に席を譲る。その光景を見たバス仮面が兄弟をほめる。	3分



写真 2.2.1 バスレーンについて説明するバス仮面（押野小）



写真 2.2.2 劇を見る児童（緑小）



図 2.2.3 バスレーンの説明時に使用したスライド

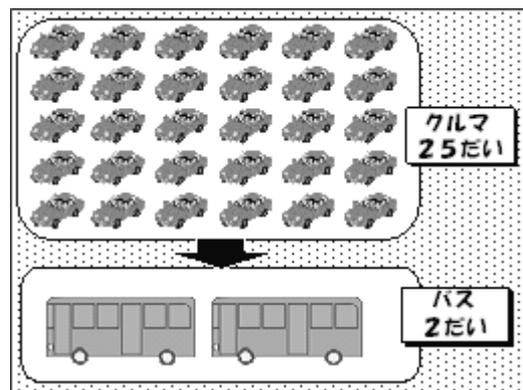


図 2.2.4 バスとクルマの輸送人員についての比較に使用したスライド

(3) 感想発表について

寸劇が終わったあとに、挙手にて数人の児童が感想を発表した。バスレーンを知らなかった、バスは環境にいいとは知らなくてびっくりした、などの感想が出された。

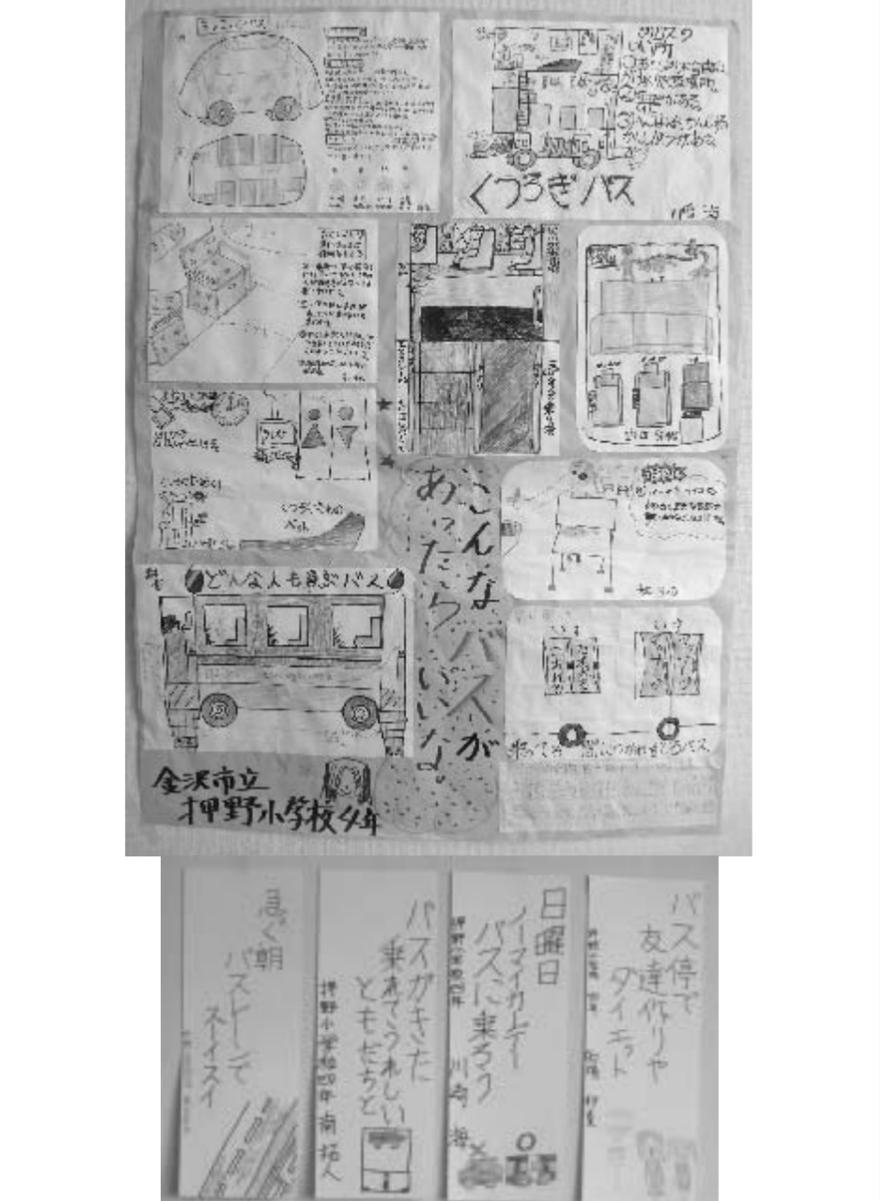
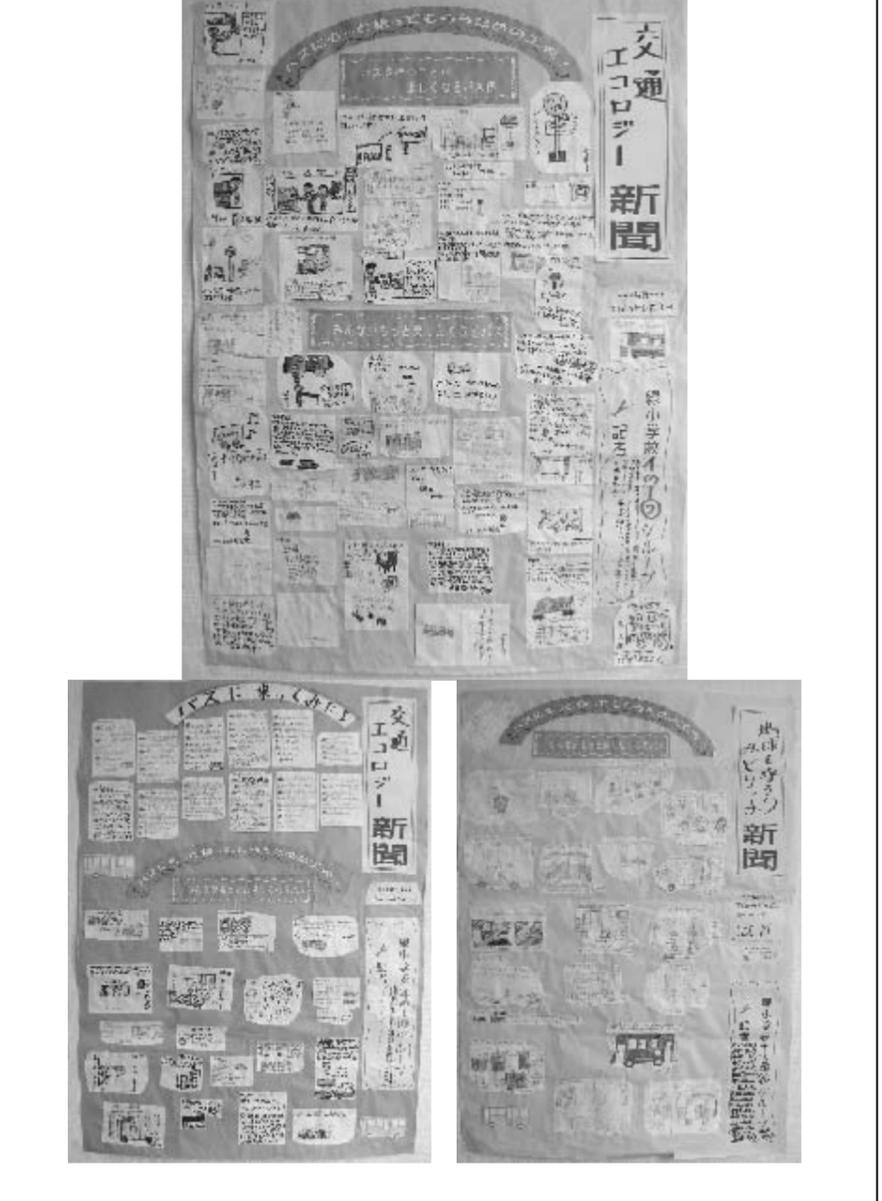
2.2.6 復習授業（2回目授業）概要

学校やクラスに応じ、第1回目授業の理解をさらに深める授業プログラムを作成・実施した。また、復習授業で制作した作品は、平成20年1月4日(金)～18日(金)まで金沢市にて展示を行う。

長田町小学校				押野小学校				緑小学校																																																																																																									
グループごとにバス利用促進の新聞を作成				3STEPでバス利用促進について考え新聞・標語を作成				金沢市からのお願いという形で、バス利用促進の新聞を作成																																																																																																									
時間数	授業単位	進行	板書	時間数	授業単位	進行	板書	時間数	授業単位	進行	板書																																																																																																						
2時限	学年合同	教員	市役所職員	2～3時限	各クラス	教員	教員	1時限	各クラス	市役所職員	教員																																																																																																						
より児童が考える時間を設け、児童同士のコミュニケーションを図るために、「こんなバスなら乗りたい」、「こんなバス停だったらいいな」、「バス会社がしたらよいこと」の3つのテーマについて、グループに分かれて新聞を作成。各自で絵を描いたり、記事を作成し、グループごとに貼り合わせて新聞を1枚制作する。作業の時間を設けるために、5時限目と6時限目の2時限分で実施した。				これまでの授業で得られた知識や体験を、さらに深め、バス利用促進の新聞や標語を作成する。ステップ1で児童各自が「こんなバスなら乗りたい」、「こんなバス停だったらいいな」、「バス会社がしたらよいこと」の3つのテーマについて考え、絵や文章を紙にまとめ発表。ステップ2で、出された意見をもとに、クラスで考えを深める。ステップ3で、バス利用促進の新聞・標語を作成する。クラスの事情に応じた授業数で授業を実施。				1時限という限られた時間の中で、さらに、場所柄バスにあまりなじみがない児童の復習授業として、「こんなバスなら乗りたい」、「こんなバス停だったらいいな」、「バス会社がしたらよいこと」について各児童が考え、絵や文章を発表。進行役が児童の意見を「バス停」「サービス」「地球温暖化」「体の不自由な人」などに分類して黒板に貼る。授業終了後、教員と児童で新聞形式にまとめる。また、児童の意欲を高めるために、金沢市からの依頼という形で授業を始める。																																																																																																									
学習フロー				学習フロー				学習フロー																																																																																																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th>学習フロー</th> <th>実施内容</th> <th>時間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>グループ分け</td> <td>4～6人のグループに分かれる</td> <td>事前</td> </tr> <tr> <td>乗車体験の発表</td> <td>乗車体験をした児童は、その感想を発表。教員が進行し、市職員が板書を行うとともに補足説明を行う。</td> <td>15分</td> </tr> <tr> <td>新聞作成の説明</td> <td>教員が新聞の雛形を見せながら、児童に新聞作成方法を説明。市職員が、作品の市役所での展示を伝える。</td> <td>10分</td> </tr> <tr> <td>新聞記事作成</td> <td>各グループに、新聞用にタイトルや目標が書かれた模造紙を1枚配布。テーマひとつにつき記事を書くための白い紙1枚、合計3枚を各グループに配布。教室や廊下でグループごとにカラーペンを用いて作業。休憩したい児童は休み時間に休憩。</td> <td>40分</td> </tr> <tr> <td>途中経過報告</td> <td>教員が児童を教室に集め、進度の速いグループの作品を紹介。</td> <td>5分</td> </tr> <tr> <td>引き続き作業</td> <td>グループに分かれて作業</td> <td>30分</td> </tr> <tr> <td>作品展示</td> <td>仕上げた作品を教室に展示。教員が作品の講評を行う。</td> <td>7分</td> </tr> <tr> <td>交通エコロジー教室ふりかえり</td> <td>第1回目授業のふりかえりを市職員が行う。</td> <td>3分</td> </tr> <tr> <td>ふりかえりシート記入</td> <td>児童は各クラスに戻り、ふりかえりシートを記入。</td> <td>事後</td> </tr> </tbody> </table>				学習フロー	実施内容	時間	グループ分け	4～6人のグループに分かれる	事前	乗車体験の発表	乗車体験をした児童は、その感想を発表。教員が進行し、市職員が板書を行うとともに補足説明を行う。	15分	新聞作成の説明	教員が新聞の雛形を見せながら、児童に新聞作成方法を説明。市職員が、作品の市役所での展示を伝える。	10分	新聞記事作成	各グループに、新聞用にタイトルや目標が書かれた模造紙を1枚配布。テーマひとつにつき記事を書くための白い紙1枚、合計3枚を各グループに配布。教室や廊下でグループごとにカラーペンを用いて作業。休憩したい児童は休み時間に休憩。	40分	途中経過報告	教員が児童を教室に集め、進度の速いグループの作品を紹介。	5分	引き続き作業	グループに分かれて作業	30分	作品展示	仕上げた作品を教室に展示。教員が作品の講評を行う。	7分	交通エコロジー教室ふりかえり	第1回目授業のふりかえりを市職員が行う。	3分	ふりかえりシート記入	児童は各クラスに戻り、ふりかえりシートを記入。	事後	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">ステップ1（4年2組の場合）</th> </tr> <tr> <th>学習フロー</th> <th>実施内容</th> <th>時間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バス利用促進策を紙に描く</td> <td>各児童に白い紙を配布。バス乗車体験記にもとづき、あったらいいバスやバス停、バス会社がしたらよいことのいずれかをカラーペンで白い紙に描く。</td> <td>23分</td> </tr> <tr> <td>で作成したものを分類して黒板に貼る</td> <td>で作成したものを、教員が黒板に書いた項目（バスの工夫、バス停の工夫、バス会社の工夫）に分けて各児童が貼る。</td> <td>10分</td> </tr> <tr> <td>意見交換</td> <td>児童が意見発表をしたり、教員がまとめたりする。</td> <td>7分</td> </tr> <tr> <td>交通エコロジー教室ふりかえり</td> <td>第1回目授業のふりかえりを市職員が行う。</td> <td>5分</td> </tr> <tr> <th colspan="3">ステップ2（4年3組の場合）</th> </tr> <tr> <th>学習フロー</th> <th>実施内容</th> <th>時間</th> </tr> <tr> <td>授業の進め方の説明</td> <td>教員が、ステップ1で考えた案を発表することを説明。</td> <td>5分</td> </tr> <tr> <td>あったらいいバスとバス停について発表</td> <td>各班ごとに教室の前に出て、ひとりずつ考えたバス車両またはバス停について説明。班の発表後、質疑応答。</td> <td>40分</td> </tr> <tr> <th colspan="3">ステップ3（4年1組の場合）</th> </tr> <tr> <th>学習フロー</th> <th>実施内容</th> <th>時間</th> </tr> <tr> <td>標語作成の説明</td> <td>教員がバス利用のよさを伝える標語の作成を説明。キーワードとして、「楽しい」、「便利」、「家族」、「バスレーン」などの言葉を書いた紙を黒板に貼る。</td> <td>10分</td> </tr> <tr> <td>標語の作成</td> <td>原稿用紙を各児童に配布。児童は、まず原稿用紙に考えた標語を記入。教員は、随時児童の相談にのる。</td> <td>20分</td> </tr> <tr> <td>標語用の紙の配布と説明</td> <td>8つ切りの白い紙を縦に半分に切った紙を各児童に配布。教員が、書き方を説明。</td> <td>3分</td> </tr> <tr> <td>標語を清書</td> <td>児童は、作成した標語の中からひとつ選びに縦長の白い紙に清書する。</td> <td>5分</td> </tr> <tr> <td>挙手にて発表</td> <td>挙手にて、作成した標語を発表。</td> <td>7分</td> </tr> </tbody> </table>				ステップ1（4年2組の場合）			学習フロー	実施内容	時間	バス利用促進策を紙に描く	各児童に白い紙を配布。バス乗車体験記にもとづき、あったらいいバスやバス停、バス会社がしたらよいことのいずれかをカラーペンで白い紙に描く。	23分	で作成したものを分類して黒板に貼る	で作成したものを、教員が黒板に書いた項目（バスの工夫、バス停の工夫、バス会社の工夫）に分けて各児童が貼る。	10分	意見交換	児童が意見発表をしたり、教員がまとめたりする。	7分	交通エコロジー教室ふりかえり	第1回目授業のふりかえりを市職員が行う。	5分	ステップ2（4年3組の場合）			学習フロー	実施内容	時間	授業の進め方の説明	教員が、ステップ1で考えた案を発表することを説明。	5分	あったらいいバスとバス停について発表	各班ごとに教室の前に出て、ひとりずつ考えたバス車両またはバス停について説明。班の発表後、質疑応答。	40分	ステップ3（4年1組の場合）			学習フロー	実施内容	時間	標語作成の説明	教員がバス利用のよさを伝える標語の作成を説明。キーワードとして、「楽しい」、「便利」、「家族」、「バスレーン」などの言葉を書いた紙を黒板に貼る。	10分	標語の作成	原稿用紙を各児童に配布。児童は、まず原稿用紙に考えた標語を記入。教員は、随時児童の相談にのる。	20分	標語用の紙の配布と説明	8つ切りの白い紙を縦に半分に切った紙を各児童に配布。教員が、書き方を説明。	3分	標語を清書	児童は、作成した標語の中からひとつ選びに縦長の白い紙に清書する。	5分	挙手にて発表	挙手にて、作成した標語を発表。	7分	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">4年1組の場合</th> </tr> <tr> <th>学習フロー</th> <th>実施内容</th> <th>時間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>交通エコロジー教室ふりかえり</td> <td>第1回目授業で学んだことを児童がふりかえり、市職員が進行と補足説明を行う。教員は、項目に分類して板書。</td> <td>15分</td> </tr> <tr> <td>市役所からの依頼</td> <td>市職員が新聞の雛形を見せながら、児童に新聞作成の依頼。作品の市役所での展示を伝える。</td> <td>2分</td> </tr> <tr> <td>乗車体験の感想発表</td> <td>乗車体験をした児童が感想を発表。教員が進行・板書を行う。</td> <td>3分</td> </tr> <tr> <td>どんなバスとバス停だったらよいか考える</td> <td>8つ切りを4枚に切った紙を児童に2枚ずつ配布。児童がサインペンでバスやバス停の絵や考えを書く。</td> <td>13分</td> </tr> <tr> <td>挙手にて発表</td> <td>市職員が挙手した児童の考えを聞き進行。教員は、項目に分類しながら板書を行う。</td> <td>12分</td> </tr> </tbody> </table>				4年1組の場合			学習フロー	実施内容	時間	交通エコロジー教室ふりかえり	第1回目授業で学んだことを児童がふりかえり、市職員が進行と補足説明を行う。教員は、項目に分類して板書。	15分	市役所からの依頼	市職員が新聞の雛形を見せながら、児童に新聞作成の依頼。作品の市役所での展示を伝える。	2分	乗車体験の感想発表	乗車体験をした児童が感想を発表。教員が進行・板書を行う。	3分	どんなバスとバス停だったらよいか考える	8つ切りを4枚に切った紙を児童に2枚ずつ配布。児童がサインペンでバスやバス停の絵や考えを書く。	13分	挙手にて発表	市職員が挙手した児童の考えを聞き進行。教員は、項目に分類しながら板書を行う。	12分
学習フロー	実施内容	時間																																																																																																															
グループ分け	4～6人のグループに分かれる	事前																																																																																																															
乗車体験の発表	乗車体験をした児童は、その感想を発表。教員が進行し、市職員が板書を行うとともに補足説明を行う。	15分																																																																																																															
新聞作成の説明	教員が新聞の雛形を見せながら、児童に新聞作成方法を説明。市職員が、作品の市役所での展示を伝える。	10分																																																																																																															
新聞記事作成	各グループに、新聞用にタイトルや目標が書かれた模造紙を1枚配布。テーマひとつにつき記事を書くための白い紙1枚、合計3枚を各グループに配布。教室や廊下でグループごとにカラーペンを用いて作業。休憩したい児童は休み時間に休憩。	40分																																																																																																															
途中経過報告	教員が児童を教室に集め、進度の速いグループの作品を紹介。	5分																																																																																																															
引き続き作業	グループに分かれて作業	30分																																																																																																															
作品展示	仕上げた作品を教室に展示。教員が作品の講評を行う。	7分																																																																																																															
交通エコロジー教室ふりかえり	第1回目授業のふりかえりを市職員が行う。	3分																																																																																																															
ふりかえりシート記入	児童は各クラスに戻り、ふりかえりシートを記入。	事後																																																																																																															
ステップ1（4年2組の場合）																																																																																																																	
学習フロー	実施内容	時間																																																																																																															
バス利用促進策を紙に描く	各児童に白い紙を配布。バス乗車体験記にもとづき、あったらいいバスやバス停、バス会社がしたらよいことのいずれかをカラーペンで白い紙に描く。	23分																																																																																																															
で作成したものを分類して黒板に貼る	で作成したものを、教員が黒板に書いた項目（バスの工夫、バス停の工夫、バス会社の工夫）に分けて各児童が貼る。	10分																																																																																																															
意見交換	児童が意見発表をしたり、教員がまとめたりする。	7分																																																																																																															
交通エコロジー教室ふりかえり	第1回目授業のふりかえりを市職員が行う。	5分																																																																																																															
ステップ2（4年3組の場合）																																																																																																																	
学習フロー	実施内容	時間																																																																																																															
授業の進め方の説明	教員が、ステップ1で考えた案を発表することを説明。	5分																																																																																																															
あったらいいバスとバス停について発表	各班ごとに教室の前に出て、ひとりずつ考えたバス車両またはバス停について説明。班の発表後、質疑応答。	40分																																																																																																															
ステップ3（4年1組の場合）																																																																																																																	
学習フロー	実施内容	時間																																																																																																															
標語作成の説明	教員がバス利用のよさを伝える標語の作成を説明。キーワードとして、「楽しい」、「便利」、「家族」、「バスレーン」などの言葉を書いた紙を黒板に貼る。	10分																																																																																																															
標語の作成	原稿用紙を各児童に配布。児童は、まず原稿用紙に考えた標語を記入。教員は、随時児童の相談にのる。	20分																																																																																																															
標語用の紙の配布と説明	8つ切りの白い紙を縦に半分に切った紙を各児童に配布。教員が、書き方を説明。	3分																																																																																																															
標語を清書	児童は、作成した標語の中からひとつ選びに縦長の白い紙に清書する。	5分																																																																																																															
挙手にて発表	挙手にて、作成した標語を発表。	7分																																																																																																															
4年1組の場合																																																																																																																	
学習フロー	実施内容	時間																																																																																																															
交通エコロジー教室ふりかえり	第1回目授業で学んだことを児童がふりかえり、市職員が進行と補足説明を行う。教員は、項目に分類して板書。	15分																																																																																																															
市役所からの依頼	市職員が新聞の雛形を見せながら、児童に新聞作成の依頼。作品の市役所での展示を伝える。	2分																																																																																																															
乗車体験の感想発表	乗車体験をした児童が感想を発表。教員が進行・板書を行う。	3分																																																																																																															
どんなバスとバス停だったらよいか考える	8つ切りを4枚に切った紙を児童に2枚ずつ配布。児童がサインペンでバスやバス停の絵や考えを書く。	13分																																																																																																															
挙手にて発表	市職員が挙手した児童の考えを聞き進行。教員は、項目に分類しながら板書を行う。	12分																																																																																																															
準備したもの				準備したもの				準備したもの																																																																																																									
新聞用にタイトルや目標を書いた模造紙と記事を書く白い紙 教員が新聞作成の説明時に用いる、記事の部分が白紙になっている新聞				ステップ1：白い紙（学校で準備）。ステップ3：原稿用紙（学校で準備）、標語を書くための短冊状の白い紙、模造紙				新聞用にタイトルや目標を書いた模造紙 市役所からのお願いの際に用いる、記事の部分が白紙になっている新聞																																																																																																									

学校で準備したものの以外は、事務局で準備

各小学校の授業風景と作品

長田町小学校	押野小学校	緑小学校
グループごとにバス利用促進の新聞を作成	3STEPでバス利用促進について考え新聞・標語を作成	金沢市からのお願いという形で、バス利用促進の新聞を作成
授業風景	授業風景	授業風景
		
作品	作品	作品
		



児童が考えたバス利用促進のための工夫 2

バスを待つのが楽しくなるバス停	みんながもっと乗りたくなるバス	バスを走らせる会社ができること	バス利用促進の標語
<p><b>福祉</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>時刻表が見えにくい人のために、虫眼鏡を置いておく。</li> <li>目の不自由な人は、目の不自由な人用の ICa (ICカード乗車券) を持っており、バス停に行くと、声で説明してくれる。耳の不自由な人は、耳の不自由な人用の ICa を持っており、バス停に行くと、文字でバスを案内してくれる。</li> <li>目の不自由な人のために「ここは バス停です」とアナウンスしてくれる。</li> <li>点字がついたバス停。</li> <li>時刻表をいろいろな国の言葉で書く。</li> </ul> <p><b>デザイン</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>風船の形をしたバス停。</li> <li>クリスマス、お正月やハロウィンのときは、素敵な飾りつけをする。</li> <li>夜になると光るバス停。</li> <li>バス停の丸い部分は液晶になっており、日によって色が変化する。</li> <li>バス停に荷物をひっかけることができる取っ手をいくつか付ける。</li> </ul> <p><b>設備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>バス停の横に、屋根があって休める場所をつくる。</li> <li>バス停の横に自動販売機を置く。</li> <li>バス停の横に待合室をつくり、自動販売機やエアコン、トイレや雑誌コーナーを設ける。</li> <li>バス停にふかふかの大人用のイスと子ども用のイスを置く。</li> <li>バス停にテレビを置く。</li> <li>バス停を広くして、本を置く。</li> <li>絵を描いた地図を設置する。</li> <li>ルービックキューブを置く。</li> <li>両替機を置く。</li> </ul> <p><b>サービス</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>初めてバスに乗る人のために、バスの案内パンフレットを置く。</li> <li>手のマッサージをしてくれる。</li> <li>バス停を毎日掃除して、きれいにしておく。</li> <li>バス停に、天気予報とクイズを流す。</li> <li>バスが来ると、ブザーで知らせてくれる。</li> <li>音楽が流れる。</li> <li>時間を教えてくれる。</li> </ul>	<p><b>環境</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>使った料理油で走るバス。</li> <li>太陽の光で走るバス。</li> </ul> <p><b>福祉</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>お年寄りが乗りやすいように、動く坂をつける。</li> <li>目の不自由な人のために、バスの入口を知らせる機械をつける。</li> <li>身体の不自由な人のために、バスの入口にエスカレーターをつける。</li> <li>トイレがある。</li> <li>車椅子用の座席を設ける。</li> <li>床が絨毯になっていて、雨の日でも滑って転ばないようにする。</li> <li>通路が広く、車椅子でも不自由なく移動ができる。</li> <li>お年寄りがリラックスできるように、座面が座布団のようになっている。</li> <li>上手に座れない小さな子どものために、ぬいぐるみを使って座らせる。</li> <li>目の不自由な人のための点字ブロックを置く。</li> <li>イスを座りやすいように低くする。</li> <li>子ども用に、もっと低い吊革も用意する。</li> <li>荷物置き場を低くし、子どもも利用できる。</li> </ul> <p><b>デザイン</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>季節によって車体のデザインが変わる。</li> <li>今までの四角いバスではなく、全体に丸みを帯びていて、みんなが一度乗ってみたいくなる車両。</li> <li>車内を落ち着いた色にして、安らげるようにする。</li> <li>天井に窓があり、空を見ることができる。</li> <li>子どもも楽しめるように、車両に絵が描いてある。</li> <li>クリスマスやお正月には飾りつけをする。</li> </ul> <p><b>設備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>テレビが置いてある。</li> <li>子どものための、遊び場がある。</li> <li>くつろぐために、マッサージ器を置く。</li> <li>リラックスできる個室の席をつくる。</li> <li>座席の横に、ペットボトルを入れる場所がある。</li> <li>車内に行き先の絵を貼る。</li> <li>イスの下が空いていて、荷物が置ける。</li> <li>冬には、体がほかほかになるくらい暖かくなるバス。</li> <li>バスのイスに座ると、好きな音楽が聴ける。</li> <li>運賃表を座席の近くにつける。</li> <li>座席の横に傘立てを置く。</li> <li>座席を増やし、家族と一緒に座れるようにする。</li> <li>人によって暑さや寒さの感じ方は違うので、座席の横に、暖かい風や冷たい風がでる機械があり、各自で調節できる。</li> <li>満員になるときは、バスの車両をもっと大きくする。</li> <li>賑やかにしたい人と静かにしたい人の席を分ける。</li> <li>本を置く。</li> <li>2階建てのバスにする。</li> </ul>	<p><b>福祉</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>目の不自由な人のために、運転手がどこのバス停に着いたか知らせる声をもう少し大きくする。</li> <li>アナウンスのスピーカーを前だけではなく、後ろにも付ける。</li> </ul> <p><b>ポイント・得点・料金</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>5回乗ると、キャンディーがもらえる。</li> <li>土日に乗ったら、キャンディーがもらえる。</li> <li>バスに乗ったらくじが引けて、あたりだとお菓子がもらえる。</li> <li>遠いところまで行っても、料金はあまり変わらないようにする。</li> <li>雨の日は、濡れたとき用のタオルと温まるドリンクのサービスを行う。</li> <li>各座席にポイントカードのポイントを増やせる機械を置いておく。</li> <li>バスのポイントカードをつくって、10ポイント貯まると、無料でバスに乗れる。</li> <li>土日は、お年寄りは無料にする。</li> <li>バス弁当を売る。</li> <li>バスの料金を無料にする日を、1ヶ月に2日つくり、その宣伝のポスターを車内に貼る。</li> </ul> <p><b>飲食など</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>花瓶やおかしを車内に置いておく。花瓶は倒れないように、固定しておく。</li> <li>寒い日は、ココアのサービスがある。</li> <li>飲み物を置いておく。</li> <li>バスの中で、おかしや飲み物が売っていて、そこで買ったものは、車内で食べてもよい。</li> </ul> <p><b>運行について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>降りたい場所で降りられるようにする。</li> <li>時刻表通りにバスが来るようにする。</li> <li>バス停がないところでも、バス停を増やせば、乗る人が増える。</li> <li>各町内にバス停を設置する。</li> <li>バスの車両を小さくして、細い道でも通ることができるようにする。</li> </ul> <p><b>その他</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>雨の日は窓が曇って、外が見えないので、窓をふくための雑巾を置いておく。</li> <li>窓ガラスに曇り止めをつける。</li> <li>防犯カメラを設置する。</li> <li>ペットも乗れる。</li> <li>子ども同士でも安心して乗れるようにする。</li> <li>バスの中に、バスのよいところを書いたポスターを貼る。</li> <li>バスの中にピエロがいて、みんなを楽しませてくれる。</li> </ul>	<p><b>環境</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>バス乗ろう たくさん乗れば ガス削減</li> <li>優しいな バスは地球の ヒーローだ</li> <li>地球には とても優しい バスがある</li> <li>便利だな エコに優しい 乗り物だ</li> <li>クルマより 地球に優しい みんな乗ろう</li> <li>バス利用 環境に優しい まちづくり</li> <li>車より バスに乗って エコしよう</li> <li>バスに乗り 地球も安全 住みよい暮らし</li> <li>みんなでね バスに乗ろうよ エコのため</li> <li>バスに乗り 排気ガス減らして いい環境</li> <li>バスに乗り 地球を守ろう エコ作戦</li> </ul> <p><b>福祉</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>優しい子 お年寄りに 席ゆずる</li> <li>おじいちゃん 席がないとき ゆずるべし</li> <li>お年寄り 段が低くて 安心だ</li> <li>お年寄り 優先すると 「ありがとう」</li> <li>乗りにくい 段差をなくして 笑顔2倍</li> <li>お年寄り シルバーシートで 安心だ</li> </ul> <p><b>コミュニケーション</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>バスに乗り 家族みんなで バス旅行</li> <li>バス停で 動揺歌う 母と僕</li> <li>バスが来た 乗れてうれしい 友達と</li> <li>友達と バスに乗ったら 友達増えた</li> <li>バス停で 友達作りや ダイエット</li> </ul> <p><b>バス利用促進案</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>バス停が いっぱいあったら 便利だな</li> <li>半額料金 バスでお出かけ 家族団らん</li> <li>日曜日 ノーマイカーデー バスに乗ろう</li> <li>でかいバス たくさん人が くつろげる</li> </ul> <p><b>バスレーン</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>早く朝 バスレーンで スースイイ</li> <li>通学は バスレーンで 遅刻ゼロ</li> <li>急ぐとき 車に乗るより バスがいい</li> <li>渋滞を 横目で見ながら バス走る</li> </ul> <p><b>景色</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>バスに乗り いつもと違う 景色かな</li> <li>窓見ると うっとりさせる絶景と バスを覆う金色の夕日</li> <li>バスに乗り 金沢のよさ 発見だ</li> <li>バスの外 景色がきれい 見てごらん</li> <li>バスに乗り 外を見ると 雪つり景色</li> </ul> <p><b>その他</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自動車を あんまり使わず バス利用</li> <li>バスは みんなの 便利足</li> <li>バスたちは みんなのために 働くよ</li> <li>回数券 乗ったらお得 さあ乗ろう</li> <li>気づいてね バスに乗れば 便利だよ</li> <li>バス一台 みんなの笑顔を 呼び出すよ</li> </ul>

(4) バス利用方法の説明について

開催小学校から 21 世紀美術館まで行くことを想定し、乗車から降車までに必要な知識を説明した。

バスの車両をイメージしたセットと説明スライドを用い、運転手、乗客の役を市役所職員、教員や児童が演じ、乗車から降車までをシミュレーションしながら、説明を行った。説明した項目と時間配分は以下の通りである。

表 2.2.4 バス利用方法の説明内容

項目	説明内容	時間
バス停での待ち方	バス停の種類 / 順番を守って並ぶこと	3分
時刻表の見方	バス停に設置されている時刻表の見方	5分
バスの乗り方	後ろのドアから乗車し、整理券を取ること	2分
席の座り方	優先席の説明 / 体の不自由な人・高齢者などに席を譲ること / 騒がないこと	3分
料金の見方	バス前面に設置されている料金表と整理券の番号の関係について	4分
降り方	降車ボタンを押すこと / 前方から降り、料金箱には回数券またはお金を入れること / 運転手へお礼を言うこと	2分



写真 2.2.3 教員が扮した高齢者に席を譲ろうとする児童（押野小）



写真 2.2.4 降車ボタンを押す（長田町小）

(5) バス乗車体験の呼びかけ

バスに関する寸劇と乗り方説明の授業を受けた後に、実際にバス乗車体験をすることを促した。目的地は児童に親しみのある金沢 21 世紀美術館とした。

(6) 準備したもの

交通エコロジー教室で準備したものと使用方法と配布時期は以下の通りである。

表 2.2.5 交通エコロジー教室での使用備品と配布時期

準備したもの	使用・配布時期
寸劇説明スライド	寸劇時に使用
バス模型 (バス車両・料金箱・発券器・ハンドル)	バスの利用方法の説明時に使用
バスの乗り方説明スライド	バスの利用方法の説明時に使用
交通エコロジー教室ふりかえりシート (A4、1 枚)	交通エコロジー教室終了後各教室にて配布
バス乗り方ガイド	交通エコロジー教室終了後各教室にて配布
バス乗車体験記 (A4、1 枚)	交通エコロジー教室終了後各教室にて配布 復習授業時までに記入
児童用と保護者 1 名分のバス乗車券 (児童用：往復分、保護者用：片道分)	交通エコロジー教室終了後各教室にて配布
金沢 21 世紀美術館入場引換券 (子供無料により大人 1 名分のみ)	交通エコロジー教室終了後各教室にて配布

## バス乗り方ガイド

表面には、バス利用方法の説明時に、説明したバスの乗り方を記載した。裏面には、バス停と目印になる建物を記した小学校周辺と金沢 21 世紀美術館周辺地図に、小学校から金沢 21 世紀美術館に行くために利用できるバス路線を記入した。

【表】



【裏】



図 2.2.5 バス乗り方ガイド

### 2.2.5 バス乗車体験

各家庭にて、金沢 21 世紀美術館を目的地としたバス乗車体験を行うよう保護者に協力を求めた。乗車体験人数は以下の通りである。

表 2.2.6 バス乗車体験人数

	長田町小学校 (39人)	押野小学校 (117人)	緑小学校 (102人)
乗車体験人数	16人(41.0%)	29人(24.8%)	20人(19.6%)

## 2.3 平成19年度授業成果と課題

### 2.3.1 公共交通利用促進に向けた成果と課題

バス乗車人数は少なかったが、交通エコロジー授業後にバスに対する意識やバスの利用意向も高まった。また、児童はバスの乗り方を知ることができた。

#### (1) 公共交通利用者数

- ・乗車体験を行った児童は、3小学校全体では27.6%であった。
- ・普段からバスを利用する児童が多く、バスの運行頻度が多い長田町小学校は、バス乗車体験をした児童の割合が41.0%と多かった。
- ・乗車体験を行った児童が少なかった理由として、小学校周辺のバスの運行頻度が少なかったこと、乗車体験を各家庭に任せたこと、乗車体験期間が短かったこと、期間中の天気が悪かったことが考えられる。
- ・バスの乗り方説明を聞いて、自分でバスに乗れそう、少し心配だけど乗れそうと答えた児童は、93.2%であった。

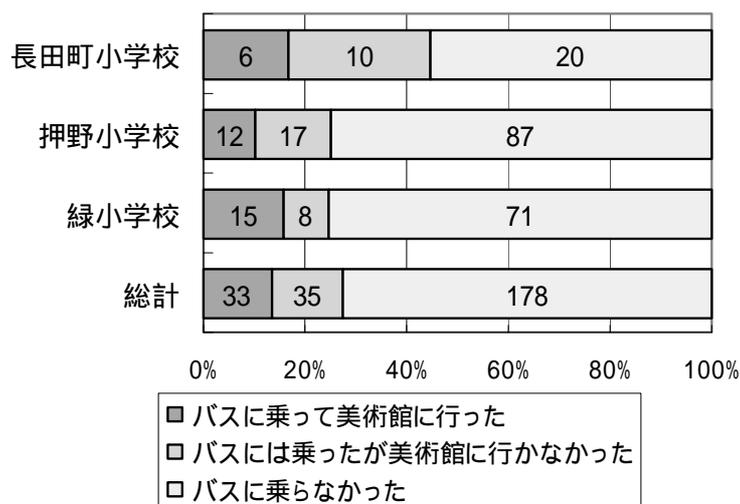


図 2.3.1 バス乗車体験でバスに乗車した児童数

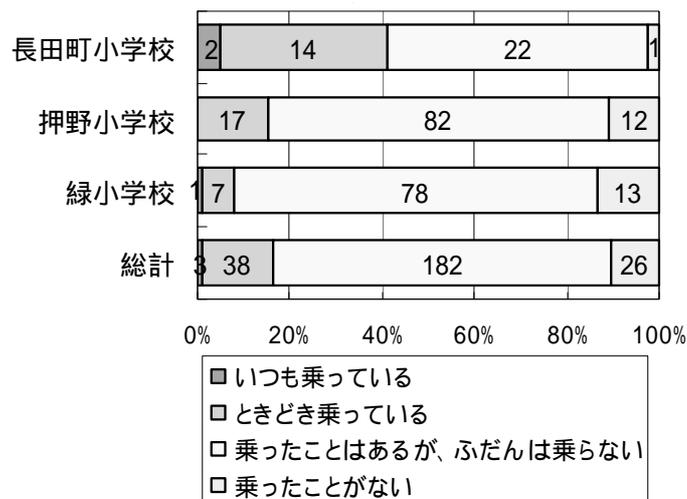


図 2.3.2 バス乗車体験の有無  
(参考：エコロジー授業前実施アンケートより)

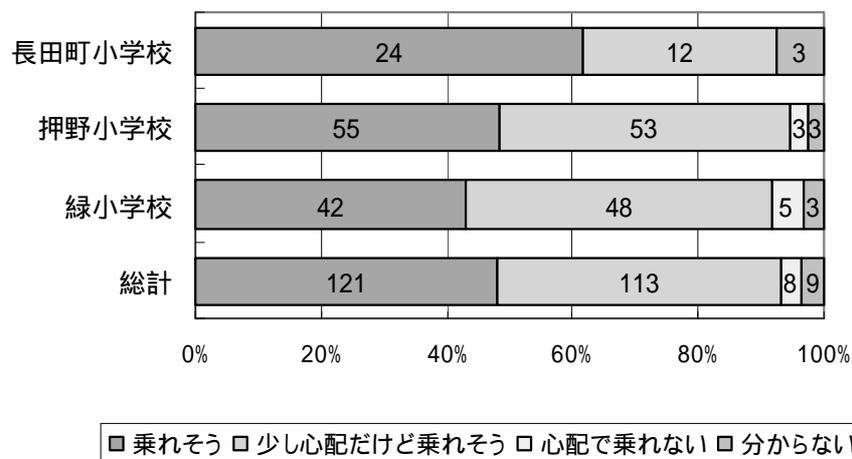


図 2.3.3 バスの乗り方説明の効果

#### 教員ヒアリングから

バスの頻度が少ないために乗車体験が難しい場合は、乗車する機会を授業のプログラム内につくるか、または小学校の遠足や見学の際に、バスに乗るプログラムを組み込んでもらうことが望ましい。

- ・せっかく児童がバスに興味を持っても、バスの頻度が少なくバス乗車体験は非常に難しかった。
- ・気候のよい時期に、バス乗車体験をしたかった。

(2) 意識変容

1) 児童の意識変容

- ・バスに対する肯定的な意見やバスの利用意向が増加した。
- ・事前アンケートでは、バスの利便性が高い長田町小学校の児童のバスに対する意識が他の2校に比べ高かった。
- ・事後アンケートでは、バスの利便性に関わらず、各小学校とも比較的同じ意見の割合であった。

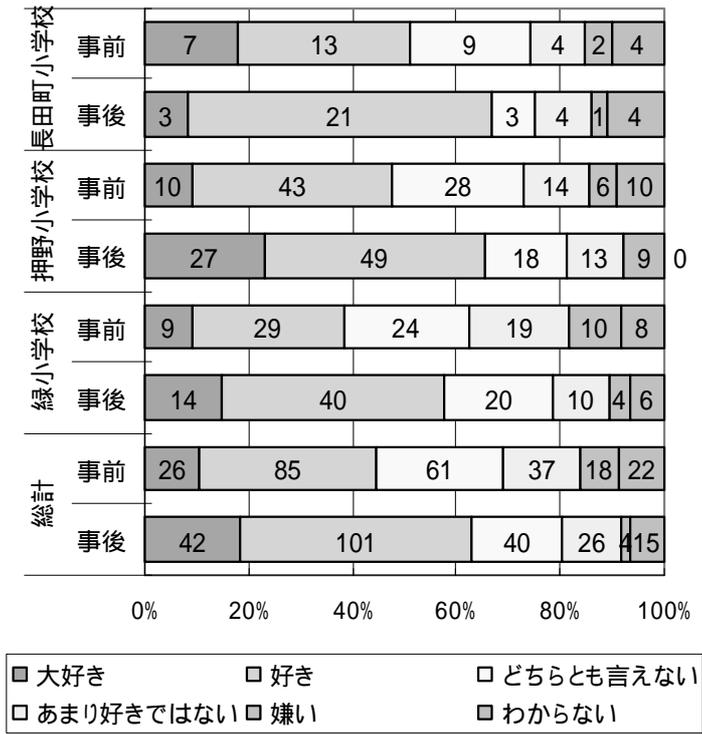


図 2.3.4 バスを好きか

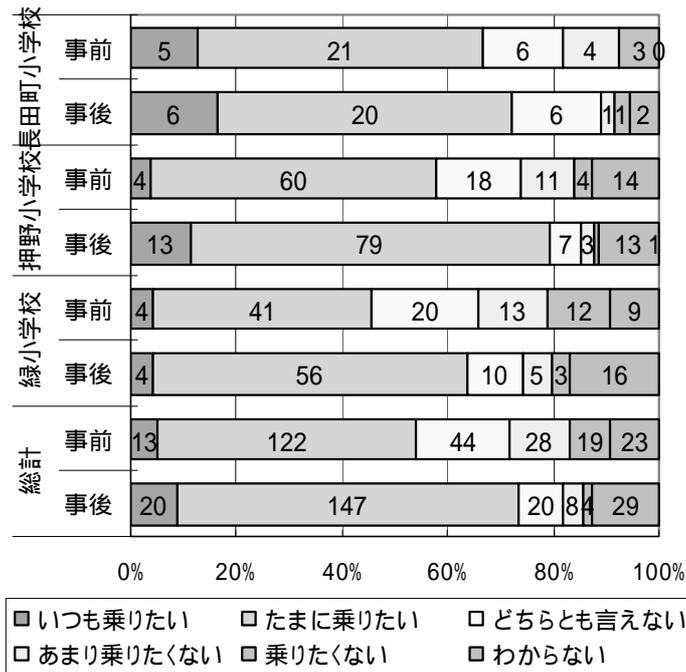


図 2.3.5 金沢市のバスの利用意向

自由意見（抜粋）  
バスは好きですか？

事前 事後	回答	理由
事前	大好き	みんなでいっしょにのれるから / バスは大きいし人もたくさん乗せられるから
	嫌い	バスに乗るとよってしまうから / あまり使うことないから
事後	大好き	エコにもいいし、渋滞にもならないから。私たちが住む地球を汚したくない。 私は高いところが好きで、バスは背が高いから、それに楽しいから大好きです。
	嫌い	バスの中にいろんな人がいて、それで家族と普通にしゃべれなかったり、みんなにいろんな話を聞かれるといやだから。 酔うから。

金沢市のバスに乗ってみようと思いますか？

事前 事後	回答	理由
事後	いつも乗りたい	バスレーンという道があるから、ひっとばしりで行けちゃうから。
	たまに乗りたい	いつも乗っていたら疲れるから、たまに乘りたい。
	乗りたくない	酔うから。

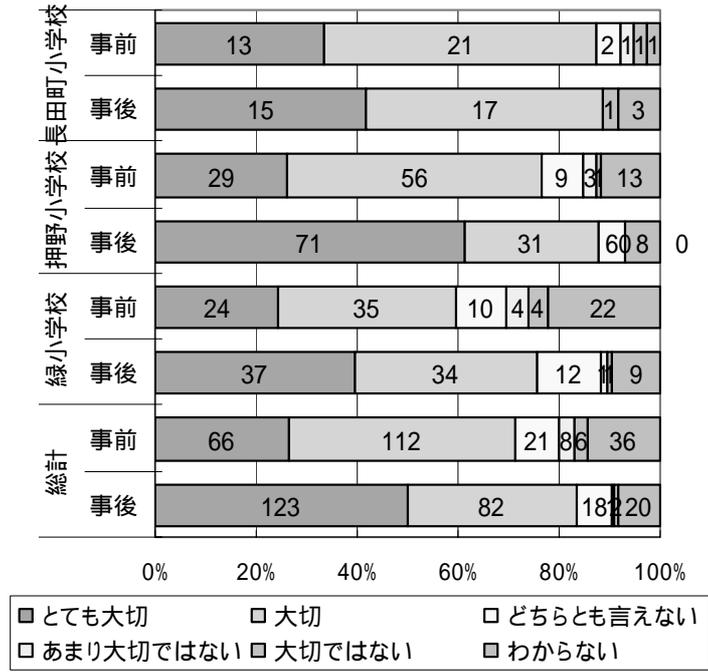


図 2.3.6 バスを大切だと思うか

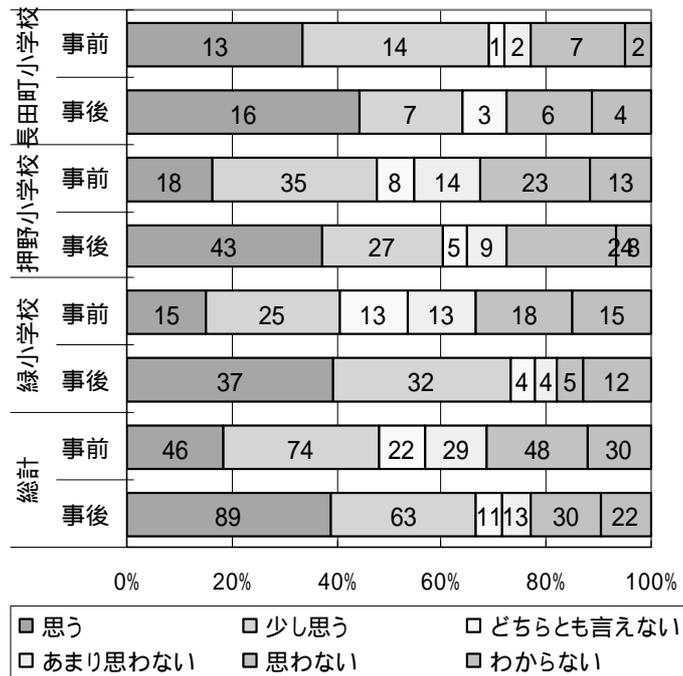


図 2.3.7 クルマばかり使っていると、バスはなくなると思うか

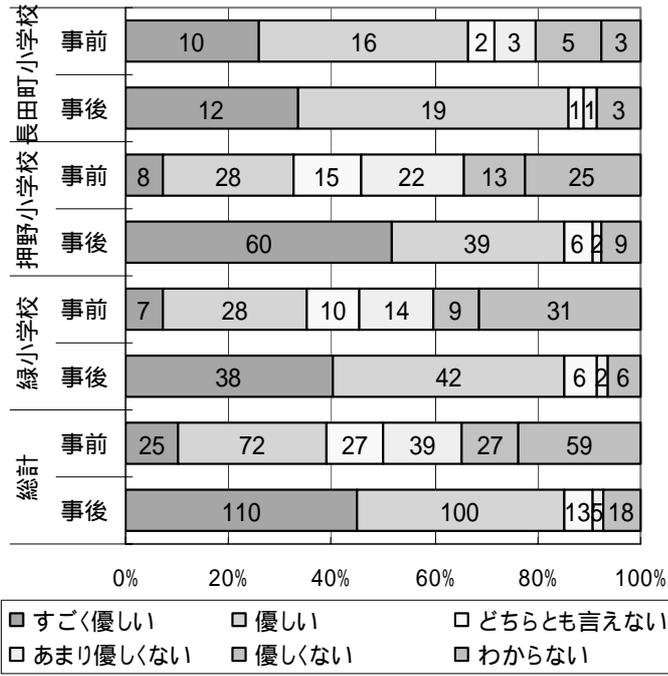


図 2.3.8 バスは環境に優しい乗り物だと思うか

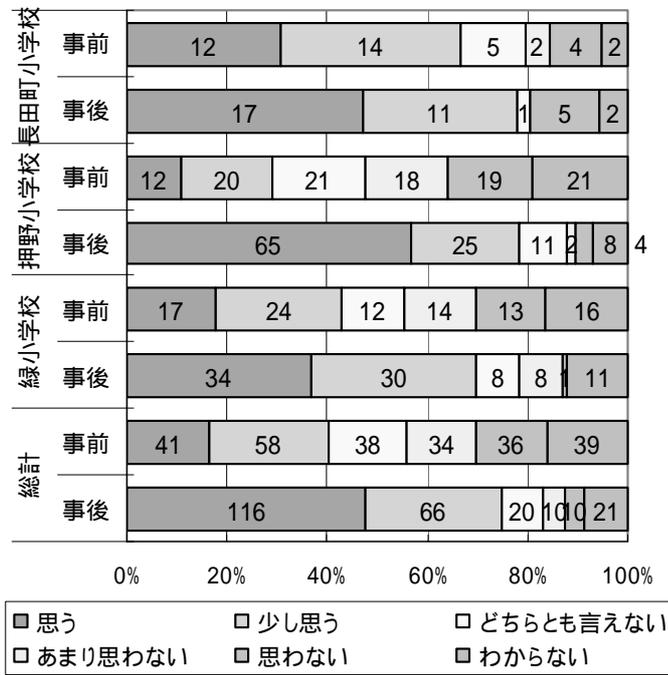


図 2.3.9 もっとバスに乗るべきだと思うか

自由意見（抜粋）

あなたの住むまちのバスは、大切だと思いますか？

事前 事後	回答	理由
事前	とても大切	年よりの人が疲れたりする時にゆっくりバスに乗ってほしいから。
	大切ではない	自分が住んでいる町には、そんなにたくさんバスがないから。
事後	とても大切	車のない人でも、バスなら使えるし地球にやさしいから。
		車もいいけどバスは、一気に大勢の人が乗れるし、環境にやさしいから。
	大切ではない	バス停が少ないから。

クルマばかり使っているとバスはなくなると思いますか？

事前 事後	回答	理由
事後	思う	お金がもうからなくなって、バスがどんどん減っていくから。
	思わない	これから地球温暖化があるのでよけいにバスを使うと思う。

バスは環境に優しい乗り物だと思いますか？

事前 事後	回答	理由
事前	思う	いっぱい乗れるから。
	思わない	ガスを使い地球温暖化になるから。
事後	思う	車 25 台バス 2 台でたった 2 台だけですむから。

もっとバスに乗るべきだと思いますか？

事前 事後	回答	理由
事後	思う	バスに乗る人が減っているから、増やさないと車だけになってしまう。
		地球温暖化を食い止めるため。
	思わない	家の人と一緒に席がいいから。

## 2) 保護者・教育関係者の意識変容

交通エコロジー教室を参観した保護者や教育関係者に授業の感想を聞くアンケートを実施した。

・参加者 27 名のうち、24 名がバスを積極的に利用、なるべく乗りたいと答えた。

表 2.3.1 小学校別の回答者数

学校名	計	属性内訳
押野小学校	15	全て保護者
長田町小学校	10	1人関係者
緑小学校	2	全て保護者
総計	27	

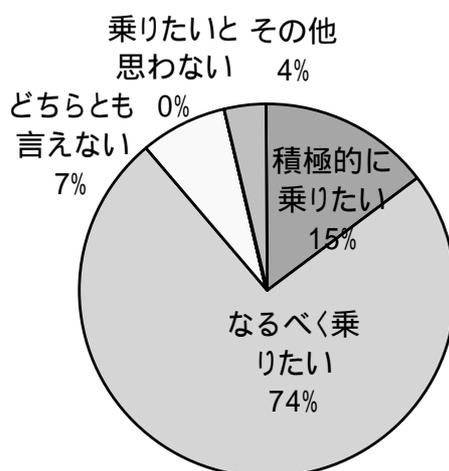


図 2.3.10 授業を受けてのバスの利用意向

### 自由意見 (抜粋)

- ・最近はお親が車に乗るので、バスを利用する機会が少なく、乗り方もあまり知らない状態でしたが、これをきっかけにもう少しバスを子供達と一緒に乗ってみたいと思います。楽しいお話をありがとうございました。
- ・クルマ社会の中で子ども達がバスに乗ったことがないということにびっくりしました。この押野の方はバスの本数が少なく、うちもつい車で出かけています。でも、何度か子供達をバスに乗せると、とても喜んでいました。社会のマナーも教えることができます。今後バスに乗る機会を増やしたいと思いました。

## 2.3.2 交通環境学習推進に向けた成果と課題

授業プログラムに関しては、一部児童には理解が難しい部分もあったが、児童、保護者や教員から好評であった。

今後小学校と連携していくためにも、早い時期に小学校への依頼を行うとともに、指導計画との整合性のとれた柔軟なプログラムを作成することが必要である。

### (1) 授業プログラム

#### 1) 交通エコロジー授業全体を通して

- ・ 観劇を行ったり、主体的に授業に参加したことで、児童は興味を持って交通エコロジー授業に取り組めた。
- ・ 教員以外の大人が授業に参加することで、児童のやる気が高まった。
- ・ 4年生には理解することが難しい説明方法があった。

#### 教員ヒアリングから

楽しんで、関心をもって児童が授業に取り組めた。

- ・ 交通エコロジー教室後、バス仮面という言葉が児童の口からよく聞いた。
- ・ 関心のないことに対するアンケートは、児童は書きたがらない。今回は率先して書いた。
- ・ 寸劇は大変わかりやすく、インパクトが大きかった。
- ・ 地球温暖化という言葉が児童からよく聞くようになった。
- ・ 内容が盛りだくさんだったため、どの児童にも興味を持ってもらえた。

市役所での展示、テレビ局の取材や新聞の報道は、児童のやる気を出させ、保護者にも関心を持たせたため、児童の授業が広報されることが望ましい。また教員以外が授業に参加することも児童にとっては、張り合いがでるため、教員まかせの授業ではなく、外部も参加することが重要である。

- ・ 市役所に展示するため、何度も児童が作品をチェックした。
- ・ 外部の人が授業をすると、児童は真剣に聞く。
- ・ 授業の様子が掲載された新聞を、学校に持ってきて見せた児童がいた。

児童が楽しみながら学習できるので、手を動かすなど児童が主体的に取り組めるプログラムや時間配分が必要である。

- ・ 作業を楽しんでいた。作業時間をもっとほしいという声をたくさん聞いた。
- ・ バスの絵を本当に楽しそうに描いていた。
- ・ 寸劇や乗り方教室だけでは、児童の心に残らない。実際に何かをすることが必要である。
- ・ ふりかえりシートは、児童が感じたことを書く機会になるのでよかった。
- ・ 交通エコロジー授業での児童の質問時間がなかった。
- ・ 時間内に全ての児童が発表することは難しかった。

4年生が理解できることの範囲を知る必要がある。

- ・4年生には、グラフの理解は難しい。もう少し分かりやすい説明方法があればよかった。
- ・アンケートを記入するためにも、児童にはアンケートの実施理由やバスについての説明をする必要がある。
- ・バスに親しみが無い児童には、アンケートは唐突で、理解できない児童もいた。

## 2) 交通エコロジー教室について

- ・児童と保護者にとってわかりやすい教室を開催できた。
- ・児童だけではなく、保護者にとっても公共交通の理解を深める機会となった。
- ・バスの利便性が高い小学校ほど、バスや交通エコロジー教室に対する肯定的な意見が多くみられた。

### 児童アンケート結果から

- ・81.3%の児童が、寸劇は楽しかったと回答した。
- ・64.9%の児童が、バスの乗り方説明はわかりやすかったと回答した。
- ・寸劇が楽しかった(68人)、授業が楽しかった(寸劇:33人、授業全体:61人)という意見の他に、バスは環境に優しいこと(寸劇:39人、授業全体:55人)、バスレーンがあること(26人)、バスは渋滞に巻き込まれない(24人)という意見が多かった。またバスを利用したい(46人)という意見も多かった。

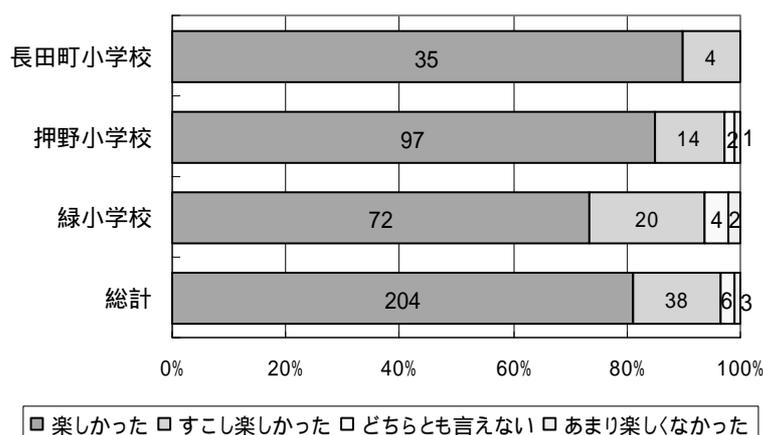


図 2.3.11 バス仮面の劇の楽しさ

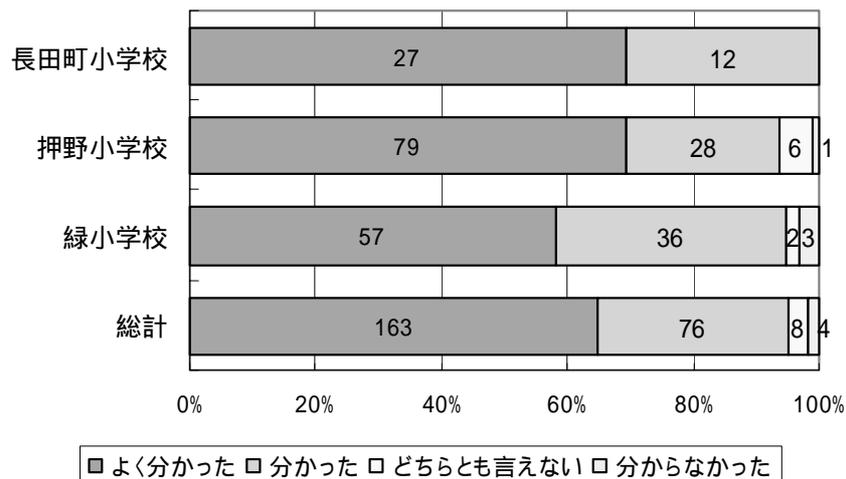


図 2.3.12 バスの乗り方説明のわかりやすさ

バス仮面の劇で何が心に残りましたか？

自由記入で多かった意見（複数回答）

表 2.3.2 バス仮面の劇で心に残ったこと

順位	意見	回答者数
1	劇の内容について	68
2	バスは環境に優しいこと	39
3	発表方法がわかりやすかった・楽しかった	33
4	バスレーンを知らなかった	26
5	バスは渋滞に巻き込まれない	24

自由意見（抜粋）

- ・演技が上手で、バスについてのことがよく分かった。写真があってわかりやすかった。
- ・一つ一つの劇がとても楽しかったです。劇で、バスはとても便利だというのが心に残りました。
- ・バスを使うと地球温暖化防止にいいこと。
- ・バスでもスイスイいけるバスの通り道のところが、心に残っています。
- ・お年寄りに、席をゆずってあげていたところ。
- ・バスは車椅子の人も乗れることが、心に残りました。わけは、車いすの人が乗れるので人にやさしくしていると思ったからです。

授業を受けてどんなことを感じましたか？

自由記入で多かった意見（複数回答）

表 2.3.3 交通エコロジー教室で感じたこと

順位	意見	回答者数
1	楽しかった・わかりやすかった	61
2	バスは環境に優しいこと	55
3	バスを利用したい	46
4	バスの乗り方がわかった	31
5	バスは便利・バスは大切	29

自由意見（抜粋）

- ・とってもわかりやすくてよかったです。今度の授業も楽しみです。
- ・バスは、地球温暖化の対策の一つだと教えてくれたので、今度からバスをなるべく利用するようにしたいと思います。また、クラス代表の人が体験したり、絵で表してくれるので、いい勉強になったと思いました。今度から、私も目の不自由な人たちとかに、やさしくしたいなぁと思いました。
- ・バスの乗り方や便利なバスの使い方など、よくわかったし、自分でもバスに乗ってみたいです。
- ・最初は、バスに興味がなかったけど、こんなに大切なんだなぁと思いました。

## 保護者アンケート結果から

- ・参加者 27 名のうち、18 名が大変よかった、9 名がまあまあよかったと答えた。
- ・自由意見では、わかりやすかったという意見が最も多く、次いでバスにもっと乗りたいと思ったという意見とバスの利用者が大きく減っていることに驚いたという意見が多かった。

## 授業の感想

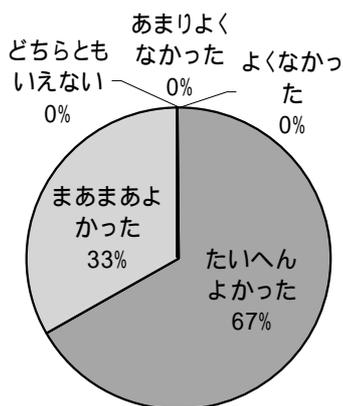


図 2.3.13 授業の感想

### 自由意見（抜粋）

- ・待ち時間や停留所までの距離等を考えると、ついつい自家用車を使っていましたが、「エコロジー のためにも、少しずつ利用していきたいと思いました。子どもも、バスの乗り方の勉強になったと思います。あたりまえに思っていたことも、子どもにとっては、なるほどな〜と思う事も多かったと思います。ありがとうございました。
- ・今日は、バスに乗ったことのない子がいたり、乗っていてもマナーなり知らない子がいることに驚きましたし、改めて車社会なんだな〜と感じました。この教室で子供も知ることはあるだろうけれどやはり大人が知ることが大切であるように思いました。

## (2) バス乗り方ガイドについて

- ・4年生には理解が難しく、活用方法の説明が明確ではなかったため、あまり利用されなかった。

### 教員ヒアリングから

地図や路線図の理解は小学生には難しく、4年生でもわかるバス乗り方ガイドの作成が必要である。

- ・地図や路線図の理解は小学生には無理。説明にも大変時間がかかった。
- ・バス乗車のための説明時に、バス乗り案内を使用した。
- ・特別に説明の時間は設けなかった。
- ・バスがどこに着くのか明確に記載し、時刻表があったほうがよかった。

## (3) 小学校との連携について

- ・小学校への依頼時期が遅く、年間計画を変更しなければいけなかった。
- ・依頼時期が早ければ、他の授業との連携も図れた。
- ・全ての協力校は、交通エコロジー授業を総合学習に位置づけた。
- ・想定していた授業時間以外に、多くのフォロー時間も要した。
- ・教員の意見を取り入れた柔軟なプログラム作成ができた。

### 教員ヒアリングから

#### 授業依頼時期の課題

小学校への授業依頼がもう少し早ければ、カリキュラムの変更もなく、他の授業との連携が図れた。

- ・年間計画を作成した後に、交通エコロジー授業が入ってきたので、計画の変更が負担であった。
- ・4月に授業の大まかな計画がわかれば、路線バスに乗って社会科見学に行くことも可能であった。

#### 授業の準備についての評価・課題

当初は2時間を想定しての交通エコロジー授業であったが、教員は事前事後のフォローに多くの時間を割いており、今後のプログラムにはフォローの時間も考慮する必要がある。

3校平均すると、事前アンケート記入と導入に15分～1時限、授業の感想シート記入・配布物の配布と説明に1時限、復習授業後に1～2時限を、交通エコロジー授業とは別に要した。

固定されたプログラムではなく、教員と一緒に考え柔軟に変更するプログラムがよい。ただし、いくつかプログラム案を例示する必要がある。

- ・一方的な提示ではなく、いくつかの案を提示されながら、意見を反映してもらい変更してもらったので、無理がなく、負担が少なかった。

## 今後に向けての教科との連携について

主要教科での連携をするためには、早い時期に学習項目を把握し連携できるプログラムを教員と一緒に考える必要がある。総合学習では、学年のテーマに合っていれば、連携しやすい。しかし、学校によって、学年テーマは違うため、事前の調査と汎用性のあるプログラムが必要である。

今回の協力校は全て、本プログラムを総合学習に位置づけた。

- ・ 主要教科の学習に結びつけようとする、学校が中心になる。
- ・ 総合学習は、比較的自由が利くので、テーマがあてれば連携しやすい。
- ・ 社会や国語で連携することは学年によっては、可能である。

### 【参考】小学校別総合学習のテーマ

各学校によって、総合学習のテーマが異なる。

表 2.3.4 実施校別・学年別総合学習のテーマ

	長田町小学校	押野小学校	緑小学校
4年生	福祉	福祉	環境
5年生	環境	環境	国際理解
6年生	国際理解	金沢のまちなか学習	福祉

## 長期的な取組みにするための課題

いくつかの授業プログラムや必要な教材が提示されていると、教師自身が学年カリキュラムに応じて授業に取込みやすい。

### 2.3.3 P Rと周知の課題

公開授業期間や授業参観の機会を活かして、保護者に周知を図れ、地元新聞で、大きく取り上げられたが、他の小学校には、具体的なPRは行えなかった。

#### 授業の公開

第1回目授業開催時は、小学校の公開週間であり、保護者の参加が図れた。また、押野小学校では、第2回目授業を授業参観に合わせて開催した。

表 2.3.5 交通エコロジー教室の公開概要

	長田町小学校	押野小学校	緑小学校
交通エコロジー教室 (第1回目授業)	公開 保護者9名参加 教育関係者1名参加	公開 保護者15名参加	公開 保護者2名参加
復習授業 (第2回目授業)	通常授業	授業参観	通常授業

報道 1

長田町小学校の交通エコロジー教室は、3小学校のうちで最も早く開催されたこともあり、新聞に大きく取り上げられた。また、長田町小学校と押野小学校では、テレビの取材も来ており、児童のやる気を高めた。

# 小学校にバス再現

## もっと乗って

### 長田町小 市が交通教室



バスを再現したセットで乗車体験する児童たち  
—金沢市長田町小

金沢市の「交通エコロジー教室」は二日、同市長田町小で開かれ、四年生児童三十九人がバス利用の利点を学んだ。教室はバスを模したセットを

使った乗車体験など趣向を凝らした内容で、児童からは「バスにもっと乗りたい」と関心を寄せる声が上がった。教室は、公共交通の利用促進を図る市の交通環境推進事業の一端として初めて開かれた。同小では市職員が、乗用車より大勢の人が乗るバスを多く活用すれば地球温暖化の一因となる排ガスの排出量が抑えられ、渋滞緩和につながるなどと説明した。市内の劇団員による環境問題などを題材とした寸劇も行われた。バスの乗り方の講習も行わ

れた。時刻表や運賃表の見方を説明した後、児童に整理券や運賃箱などバスの車内を再現したセットで乗降を体験してもらった。児童に市中部までの往復のバス乗車券と大人用の21世紀美術館の常設

### 金大―香林坊「バス100円に」

香林坊ハーバー実 十円で、実行委は「学生には負担が大きい。学生が街に出やすい環境を整え、街の活性化を目指す若者グループ。この日は四人が市役所を訪れ、百円バスに賛同する五百二十九人分の署名と提言書を提出。路線バスを運行する北陸鉄道への働き掛けも求めた。市側は協力に前向きな姿勢を示した。

### 香林坊ハーバーが市に提言

金大周辺では金大と北鉄の協定により昨春から角間キャンパス―旭町周辺に百円バスが導入された。結果、利用者は大幅に増え、北鉄の売上高も導入前を上回った。金大と市は百円区間の延長を再三提案しているが、北鉄は難色を示している。

報道 2

児童が作成した作品の展示が、金沢市市役所 1 階ロビーにて、1 月 4 日から 18 日に行われている様子や児童のアイデアや作品が新聞に取り上げられた。



北陸中日新聞 平成 20 年 1 月 9 日 朝刊

交通エコロジー授業概要

交通エコロジー教室（1時限）

寸劇

地元の劇団によって、3分程度の寸劇を4本行った。また、スクリーンに適宜、劇の内容に合った写真やグラフを映した。

シナリオタイトル

- ラッシュの交通渋滞
- 地球温暖化とバスの関係
- みんなのバス
- 人にも優しくなるバス

バスの利用方法の説明

開催小学校から、21世紀美術館まで行くことを想定し、乗車から降車までに必要な知識を説明した。

バスの車両をイメージしたセットと説明スライドを用い、運転手、乗客の役を市役所職員、教員や児童が演じ、乗車から降車までをシミュレーションしながら、説明を行った。



バス乗車体験（各家庭で行う）

各家庭にて、金沢21世紀美術館を目的地としたバス乗車体験を行うよう保護者に協力を求めた。

復習授業（1時限～）

学校やクラスに応じ、第1回目授業の理解をさらに深める授業プログラムを作成・実施した。児童はバス利用促進のためにあったらよいバス車両やバス停、バス会社ができることを考え、新聞や標語にまとめた。



交通エコロジー授業の成果

公共交通利用促進に向けた成果

交通エコロジー授業後にバスに対する意識やバスの利用意向が高まった。  
児童はバスの乗り方を知ることができた。

授業プログラムについての成果

児童が主体的に、また興味を持って授業に参加でき、児童、保護者や教員から好評であった。

協力校との連携のための成果

全ての協力校は、交通エコロジー授業を総合学習に位置づけた。  
教員の意見を取り入れた柔軟なプログラム作成・実施ができた。

PRと周知の成果

公開授業期間や授業参観の機会を活かして、保護者に周知を図れた。  
地元新聞で、大きく取り上げられた。

交通エコロジー授業の課題

公共交通利用促進に向けた課題

バス乗車人数が少なかった。

授業プログラムについての課題

児童に理解が難しい部分が一部あった。

協力校との連携のための課題

小学校への依頼時期が遅く、年間計画を変更しなければいけなかった。  
想定していた授業時間以外に、多くのフォローの時間を要した。

PRと周知の課題

他の小学校には、具体的なPRは行えなかった。

ツールの課題

4年生には地図や路線図の理解が難しかった。  
活用方法の説明が明確ではなく、あまり利用がされなかった。

### 2.3.5 今後の対応

#### 協力校との連携について

4月に協力校の募集・選定をする

- ・学校の年間プログラム作成時に、交通エコロジー授業の概要をお知らせすることで、教員が年間計画を変更する負担を減らせる。
- ・早い時期に協力校を選定することによって、年間計画との連携も図りやすく、効果的なプログラムの実施が期待できる。

年間指導計画との整合性をとる

- ・年間指導計画との整合性を図り、学校に無理のないプログラムの導入をしていただく。
- ・児童の興味や理解の度合いはさまざまであり、また、学校によって学年テーマも異なる。よって、年間指導計画との整合性をとりつつ、たくさん児童が参加でき、汎用性のあるプログラムにするため、さまざまな題材やテーマに結びつける。

柔軟で変更が可能なプログラムを作成する

- ・教員の負担を減らし、ニーズに合ったプログラムを実施するため、いくつかのプログラムを提示し教員と一緒に改良していく。
- ・いくつかの授業プログラムや教材を準備し、学年カリキュラムに柔軟に対応できることが望ましい。

準備やフォローの時間を反映したプログラムが望ましい

- ・年間指導計画内におさまるように、アンケートや感想シートの記入時間などを考慮したプログラムを作成する。

#### 授業プログラムについて

児童が主体的に授業に関わることができる時間を設ける

- ・児童が実際に手を動かすことで、児童自身が楽しみながら考えることができ、より児童の身につく。

学年の理解力や興味を把握し反映する

- ・学年に応じた理解力や興味を把握し、児童に興味を持って学習してもらう。

地域性による公共交通の利便性の違いを考慮する

- ・公共交通の利便性の違いにより、児童の公共交通に対する親しみやバス乗車体験の難易度が異なるため、利便性の違いを考慮する。

#### ツールについて

学年の理解力や興味を把握し反映する

- ・学年に応じた理解力や興味を把握し、よりわかりやすいものに改良する。

利用方法を想定して作成する

- ・いつ誰が説明を行い利用するかを想定して、授業プログラムとの円滑な連携が図れるようにする。

## 2.4 小学生向け啓発ポスター

交通と環境に対する意識醸成を図るため、市内小学生を対象とした啓発ポスターを作成した。

### (1) デザイン

交通エコロジー授業結果から、小学生は好奇心が旺盛で、新しいことへの興味・関心が非常に高く、それらを記憶することにも優れていると言える。よって、抽象的なものではなく、ポスターをひとつのデザイン性のある楽しい読み物やゲームと捉え、ポスターを眺めながらバスについて学習でき、バス利用促進につながるものとした。

### (2) 配布枚数

200枚

### (3) 配布箇所

金沢市内 60 の小学校および市内主要施設（児童館・公民館など）

# ためしてみようバス博士検定!

下の質問に、「はい」「いいえ」で答えてみて、  
きみのバス座がわかるよ。

**スタート**  
バスは好きですか?

バスがなくなっても誰も困らない

バスはクルマよりも遠くにやさしい

じつは、バスだけが走ることができる道路がある

座りたいバス停に近づいたら、案内にあるピンクのボタンを押す

バスの中では、大きな声でおしゃべりしてもよい

バスには、70人も乗れる

バスに体の不自由な人が乗ってきたら、席をゆずる

車椅子の人にもバスに乗れる

バスには、100人以上乗れる

バスには、40人も乗れる

バスには、20人も乗れる

**バス博士**  
バスのことなら何でもお答えします。困っている人にもバスのよいところやすべしところをお教えします。

**バスの達人**  
バスは、気持ちよくのんびり乗りたいけれど、せわしなくのびなく乗りたい。バスにものびのび乗ってね。

**バスの初心者**  
バスってすべしところが多いけれど、バスやバス停、バスにほんのりおどろきながら乗っている感じが大好き。

**バスの赤ちゃん**  
まだまだバスについて知らないことがたくさんある。もう一歩バスの世界に踏み出して、バスが大好きな人になろう。

---

**論議**

① はい  
7人のうち1人は車椅子のために、クルマは1770の一般道路を走りますが、車とバスはそれの4分の1程度の、490です。つまり、道路を広く使っています。道路を広く使ったことで、道路が狭いところでも走れるのです。

② いいえ  
バスには70人以上のたくさんの人が乗るので、1人でたくさんの人を乗せることができます。バスによって道路が狭い場所も減りますよ。

**みんなのバス**

① はい  
バスは、気持ちよくのんびり乗りたいけれど、せわしなくのびなく乗りたい。バスにものびのび乗ってね。

② いいえ  
バスには70人以上のたくさんの人が乗るので、1人でたくさんの人を乗せることができます。バスによって道路が狭い場所も減りますよ。

**福祉**

① はい  
車椅子の人でも、バスに乗れるようにバスの入口が低くなっていて、バスが停ります。バスには、体の不自由な人が乗れる場所があるんですよ。

② いいえ  
バスは、気持ちよくのんびり乗りたいけれど、せわしなくのびなく乗りたい。バスにものびのび乗ってね。

**交通**

① はい  
座りたいバス停が近づいたら、案内にあるピンクのボタンを押して、バスが止まるようにお願いすることができます。

② いいえ  
座りたいバス停が近づいたら、案内にあるピンクのボタンを押して、バスが止まるようにお願いすることができます。

資料の著作権関係は交通建設局が持っている権利を尊重

図 2.4.1 啓発ポスター

## 2.5 持続可能な交通環境学習のためのポイント

### 2.5.1 学校教育の授業として取り組んでもらうための仕組みづくりのポイント

事業終了の平成 21 年度までに、交通環境学習の持続的な運営を目指す。そのために、平成 21 年度までに、金沢版交通環境学習プログラムの完成と年間カリキュラムへの採用方法を検討する。

平成 22 年度以降は、金沢市は授業導入部分の出前講座、授業や作品の広報や展示を行い、小学校がプログラムを実施する支援を行う。また、今後ともニーズにあった授業プログラムを提供するために、各小学校と金沢市が、実施した授業プログラムの評価と改良を行うことを目標とする。

H 2 1

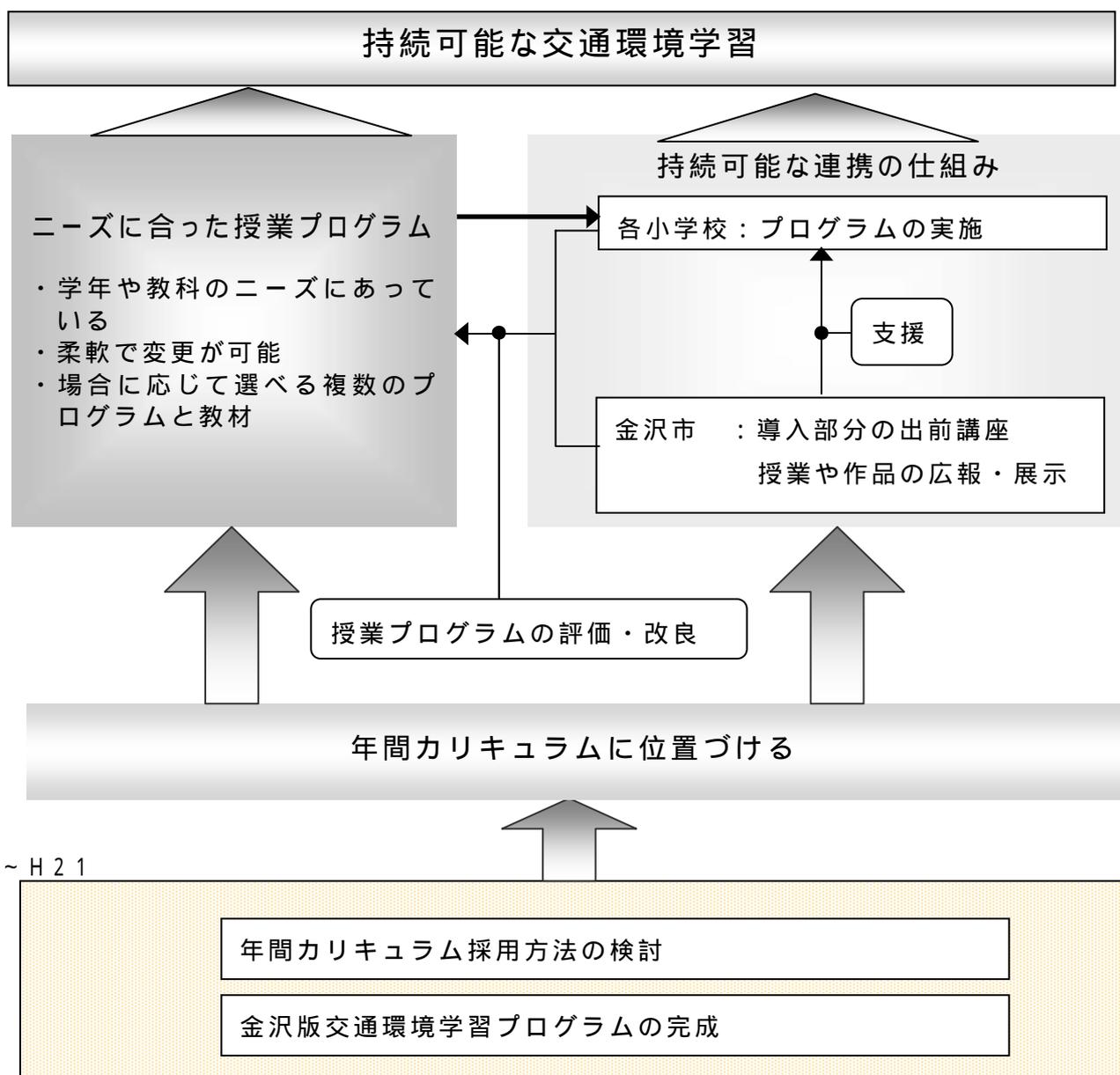


図 2.5.1 交通環境学習の仕組み

## 2.5.2 児童に授業を理解してもらうためのポイント

今年度授業プログラムを実施した結果を踏まえ、今後効果的な授業を行うための重要な点を以下に示す。

授業の導入部分について
授業の始めに、なぜ交通環境について学ばないといけないのか動機付けを行わずに授業を始めると、唐突に感じ授業についていけない児童が出てくる。 ・今年度授業プログラムを行うにあたり、全ての小学校で事前に教員が独自に授業で学ぶべきことや必要性の説明を児童に行った。事前に説明を行うことで、スムーズに授業に取り組める。

交通環境についての説明方法について
物語を進行しながら、同時に説明写真や図版を見せることで、児童は飽きずに説明を効果的に理解できる。 ・81.3%の児童が、今年度行った寸劇は楽しかったと回答している。物語の中で、登場人物が交通環境について学ぶことで、飽きることなく児童も登場人物と一緒に学べる。ただし、物語風の説明だけでは児童の記憶には説明内容が印象に残りにくいため、同時に写真や図を見せイメージを創造させることが必要である。
模型をつかった疑似体験をさせることで、児童の理解はある程度得られる。 ・模型をつかったバスの乗り方説明では、93.2%の児童がバスに自分で乗れそう、少し心配だけど乗れそうと回答した。実際にバス乗車体験を行わなくても、ある程度児童の理解が得られる。

交通環境についての説明内容について
4年生はグラフの理解はできるが、説明時にスライドで見せる場合など短時間で理解してもらうためには、グラフが何を表しているのかわかりやすく伝えることが重要である。 ・グラフ自体の理解はできるが、普段なじみのない事柄を説明しているため、グラフは何を表現しているのか絵や矢印などで、補足説明することで児童のより一層の理解が得られる。
具体的な数字を提示して説明すると児童にはインパクトがあり印象に残る。 ・100人がクルマに乗るためにはクルマだと25台必要だがバスでは2台しか必要でない、バスに乗る人が33年前に比べ40%に減少したなど、具体的な数字を示した説明を、児童は鮮明に記憶していることが授業後のふりかえりシートの記入内容からわかった。具体的な数字は、児童の印象に残るため、使用することが好ましい。
4年生には、地図や路線図の理解が難しい。 ・地図を理解できる児童が少ないため、路線図を理解できた児童は少なかった。

#### 交通環境についての説明後の作業について

授業後に、児童に学んだこと、感じたことや考えたことを紙に書かせることで、授業内容の定着や理解を深めることが図れる。

- ・ 教員との打ち合わせやヒアリングから、授業後に感想などを紙に書くことは、児童が授業で学んだことや感じたことを自分で振り返ることができるため重要であることが明らかになった。

ただバスについて考えるのではなく、児童の考えやすいテーマを設定すると、児童も取り組みやすい。

- ・ 「こんなバスなら乗りたい」、「こんなバス停だったらいいな」、「バス会社がしたらよいこと」のテーマは、バスにあまり馴染みがない児童にとっても楽しみながら考えることができた。

4年生で新聞を作成する場合は、あらかじめ新聞風にフォーマットした紙を渡すことによって、児童の作業の手がかりをつくることができる。

- ・ 無地の紙を児童に渡しても、児童は新聞をこれから作成するというイメージが湧かない。授業時間が限られており、円滑に児童が作業に取り組むために、タイトルや見出しなどをあらかじめ記載しておくことが望ましい。ただし、6年生には、逆に児童の自由な発想を妨げるという教員の意見があった。

## 2.6 平成20年度交通環境学習授業プログラムの検討

### 2.6.1 目的

平成19年度の事業結果を踏まえ、将来的に小学校が主体的に金沢版交通環境学習を実施できるよう、平成20年度は、さまざまな小学校で利用しやすい金沢版交通エコロジー授業のトライアル版を完成させる。

### 2.6.2 事業内容

平成20年度は、平成19年度同様、児童が自ら考え実践する姿勢を育むために、交通や環境について学んだり体験したりできる事業内容とする。また、平成19年度同様、授業プログラムの効果把握をするため、授業前後の児童へのアンケートや授業後の教員ヒアリングを行なう。

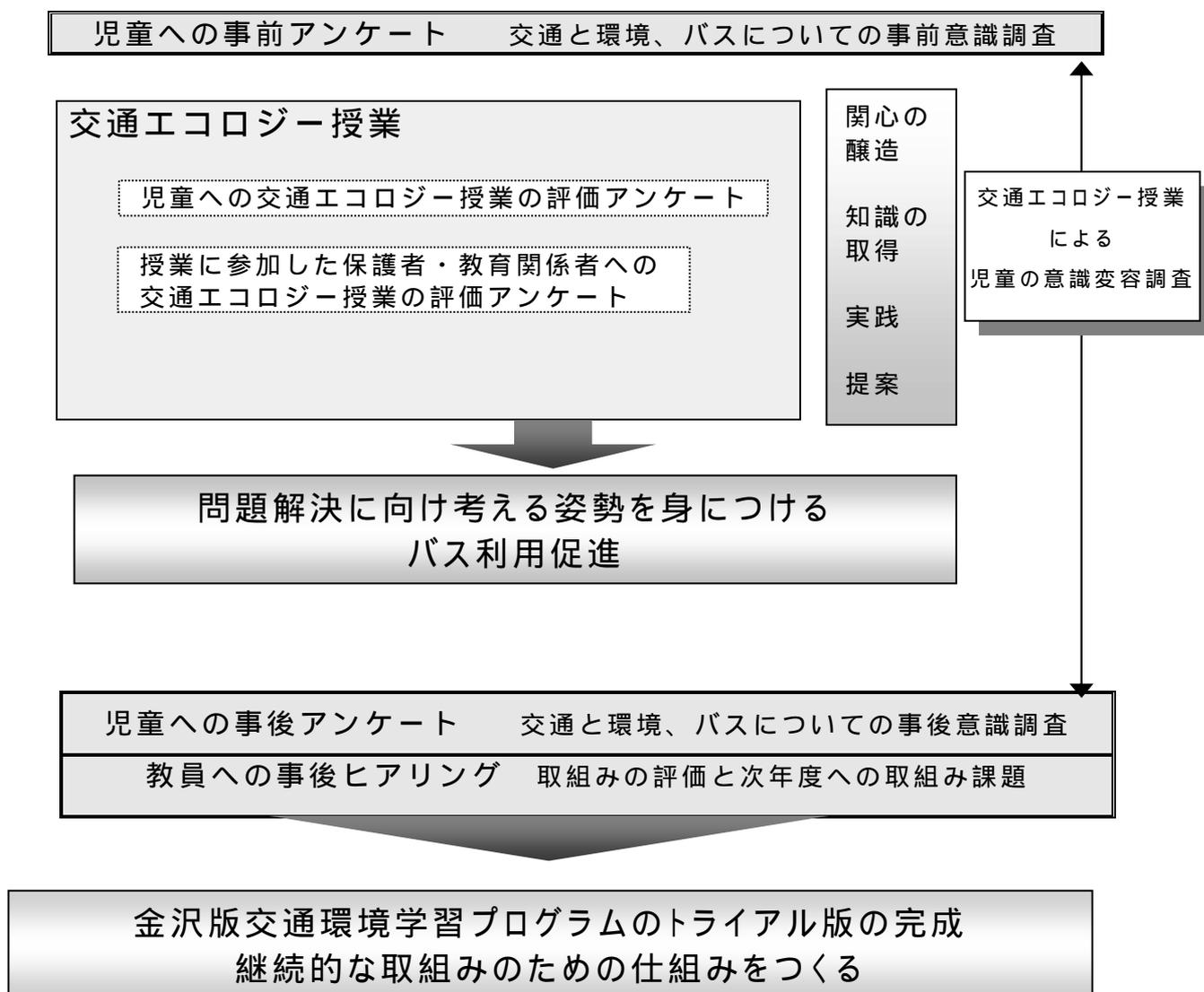


図 2.6.1 平成20年度交通エコロジー授業の流れ

### 2.6.3 実施対象校

平成 20 年度の実施対象校は 3 校とし、対象学年は、全て 5 年生とする。継続校としては、平成 19 年度実施校の中から押野小学校が、平成 20 年度も取り組む。新規校 2 校のうち 1 校では、今年度実施したプログラムの学年による効果の違いを把握するため、今年度実施したプログラムと同じプログラムで実施する。もう 1 校では、新たなプログラムを実施し、電車を利用することも想定する。

2.6.4 授業プログラム検討内容

今年度の実施成果より、事前事後アンケートの記入時間を授業とは別に要したため、平成 20 年度は授業時間内に実施できるよう時間的な余裕を持たせる。

継続校			新規校 1			新規校 2		
ねらい			ねらい			ねらい		
導入部分ではなく、さらなる公共交通や環境に対する理解を深める。継続して行うためのプログラム作成を目指す。			平成 19 年度 4 年生で実施したプログラムを 5 年生で実施し、学年の違いによる理解度やプログラムの効果の違いを検証する。			環境と交通について学べ、児童が主体的に取り組める簡易で実施しやすいプログラムを新しく作成する。		
時間数(日数)	乗車体験の有無	対象公共交通	時間数(日数)	乗車体験の有無	対象公共交通	時間数(日数)	乗車体験の有無	対象公共交通
5～6 時限 (1 または 2 日)	あり	バス	3～5 時限(2 日)	あり	バス	3～5 時限 (1 または 2 日)	なし	バスまたは電車
目標			目標			目標		
<ul style="list-style-type: none"> <li>地球温暖化が、身近なものであることを学ぶ。そして、ひとりひとりの小さな心がけは、みんなで行うと大きな効果を生むことを実感し、環境問題に自分たちの生活の中で取り組めることを知る。</li> <li>バスの乗り方をおさらいし、バス利用促進につなげる。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>交通と環境の関わりや公共交通利用の重要性を学び、実際にバスに乗車することを体験することで、バスを身近に感じ、バス利用促進につなげる。</li> <li>バス利用促進策を考え、身近な問題に取り組む姿勢を身につける。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>自分だけが早く到着する早く到着すればよいというのではなく、グループ全員(社会)が早く到着することが望ましいという社会的効率性の考え方と環境と交通の関係について理解を深める。</li> <li>バスを身近に感じ、バス利用促進につなげる。</li> </ul>		
流れ			流れ			流れ		
1 日で行う場合は午前 / 2 日で行う場合は 1 日目			1 日目			1 日で行う場合は前半 / 2 日で行う場合は 1 日目		
1～2 時限	導入 スライド	スライドなどを見ながら、地球温暖化やバスとクルマの二酸化炭素排出量の違い、大気汚染と窒素酸化物の関係を学ぶ。 児童の感想発表や意見交換を行う。	1～2 時限	導入 寸劇	寸劇とスライドを見ながら、環境と交通について学ぶ。 児童の感想発表や意見交換を行う。	1～2 時限	導入 紙芝居や人形劇 など	紙芝居などを見ながら、環境と交通について学ぶ。 児童の感想発表や意見交換を行う。
				乗り方説明	バスの車両をイメージしたセットとスライドを用い、何人かの児童が乗客として参加しながら、バスの乗り方を学ぶ。		スライド	地球温暖化やバスとクルマの二酸化炭素の排出量の違いを学ぶ。
				ふりかえり シートの記入	児童が学んだことをふりかえり、確認するために、簡単なふりかえりシートを記入する。		ふりかえり シートの記入 2 日で行う場合のみ実施	児童が学んだことをふりかえり、確認するために、簡単なふりかえりシートを記入する。
1～3 時限	窒素酸化物測定 バス乗車体験 窒素酸化物調査 方法は次頁参照	交通量の多い場所と少ない場所の窒素酸化物の量を、事前に設置した調査キットを用いて測定する。 交通量の少ない場所に行くために、バスに乗車し、その際にバスの乗り方をおさらいする。 バスに乗りながら、まちなかのバスやバス停、バスの乗客などを観察する。	課外授業や社会科見学などの機会			1 日で行う場合は後半 / 2 日で行う場合は 2 日目		
			課外授業時 など	バス乗車体験	課外授業や社会科見学の際に、路線バスに乗車する。		交通すごろくの 説明	ゲームの仕方を説明。
1 日で行う場合は午後 / 2 日で行う場合は 2 日目			2 日目			1 日で行う場合は後半 / 2 日で行う場合は 2 日目		
2～3 時限	排出した二酸化炭素の量を計算	小学校から交通量の少ない場所にもクルマで行っていたときの二酸化炭素と窒素酸化物の排出量とバスでの排出量の比較をする。 ひとりがバスに乗った場合、クラス全員がバスに乗った場合、学校全体でバスに乗った場合の二酸化炭素と窒素酸化物の削減量の計算をする。 児童の感想発表や意見交換を行う。	2～3 時限	バス利用促進策 を考えまとめる	「こんなバスなら乗りたい」、「こんなバス停だったらいいな」、「バス会社がしたらよいこと」の 3 つのテーマについて考え、新聞や標語などを作成する。	1～2 時限	交通すごろく 交通すごろくの実施方法は次頁参照	グループで交通すごろくを行う。実生活への反映の仕方などの意見交換を行い、どうすれば早くゴールできるかを学んだ後、もう一度ゲームを行う。 その後、排出する二酸化炭素の量を、クルマ：4、バス(電車)：1 とし、2 回目のゲームで利用したクルマとバス(電車)の回数から、排出された二酸化炭素の量を計算する。 児童の感想発表や意見交換を行う。
	ふりかえり シートの記入	児童が学んだことをふりかえり、確認するために、簡単なふりかえりシートを記入する。					ふりかえり シートの記入	児童が学んだことをふりかえり、確認するために、簡単なふりかえりシートを記入する。
準備するもの			準備するもの			準備するもの		
説明スライド、窒素酸化物調査キット、空気の汚れ調査シート、二酸化炭素計算シート、ふりかえりシート、バスの乗り案内			説明スライド、バス車両模型、ふりかえりシート、バスの乗り案内、新聞や標語を作成するための紙			説明スライド、紙芝居や人形劇、ふりかえりシート、交通すごろく		
協力依頼について			協力依頼について			協力依頼について		
押野小学校に決定			3 月中にプログラム案を持って依頼			3 月中にプログラム案を持って依頼		

( 参考 1 )

## 窒素酸化物調査方法

準備するもの：窒素酸化物調査キット

試験管を固定するためのテープ

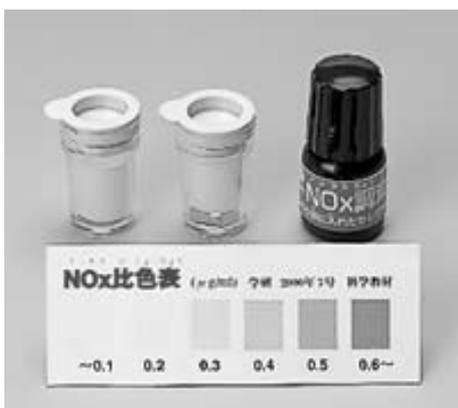


写真 2.6.1 NOx 調査キット



写真 2.6.2 調査液の色の变化

試験管の外ぶたをはずし、逆さまにして(ふたのついていた方を下に)測定場所に固定する。

そのまま 24 時間放置する。その間に落ちないようにしっかりと固定する。

24 時間たったら、試験管を回収する。24 時間の間に試験管の中のろ紙に NOx が吸い取られている。

試験管のふたをはずして、中に NOx 調査液(ザルツマン試薬)を 15 滴入れて軽く振り、15 分放置する。15 分後、試験管中の調査液の色を見る。大気汚染キットの比色表の色と比べて、一番近い色の数字が、窒素酸化物(NOx)の濃度を表す。

( 参考 2 )

交通すごろくの方法

準備するもの：「クルマ」「バス（電車）」のカード（それぞれ人数分）  
コマ（人数分）  
ゲーム盤（グループ分）  
乗り物結果シート（グループ分）  
プレイヤー人数：4～6人

「クルマ」と「バス（電車）」のカードと乗り物結果シートをそれぞれに配布する。

自分のコマをゲーム盤のスタートに置く。

「クルマ」か「バス（電車）」のカードをグループ内で一斉に出す。

バス（電車）は必ず3コマ進むことができるが、クルマは使う人数によって進めるコマの数が変わる。クルマは同時に使う人が少ない場合は多く進むことができるが、多い場合は渋滞するので少ししか進むことができない。

各人が選んだ乗り物を、乗り物結果シートに記入する。

グループ全員がゴールに到着するまで続ける。一番先にゴールした人が勝ち。

グループが6人の場合

クルマのカードを出した人数	1	2	3	4	5	6
進めるコマ数	6	5	4	3	2	1

グループが5人の場合

クルマのカードを出した人数	1	2	3	4	5
進めるコマ数	6	4	2	1	0

グループが4人の場合

クルマのカードを出した人数	1	2	3	4
進めるコマ数	6	4	2	0

### 2.6.5 第3回交通環境学習推進委員会を受けての課題

第3回交通環境学習推進委員会において、7.4で示した授業内容について以下のような課題が示された。平成20年度は、これらの課題に沿って授業プログラムの検討を進めていくこととする。

#### (1) 継続校授業プログラムの課題

二酸化炭素と窒素酸化物の両方の説明を行うと、児童が混乱する。また、二酸化炭素よりも窒素酸化物の理解のほうが難しいため、二酸化炭素についてのみ学習したらよい。

#### (2) 新規校ですごろくを用いる授業プログラムの課題

何も説明せずに、まずすごろくを行い、その後説明を受けて自分の行動を振り返るほうが、児童にとって効果的で楽しい。

すごろくは1回行うのに10分程度で済むため、1回目は普通バージョンで、2回目はバスが進めるコマを2コマと少なくし、みんながクルマを使うことになると思うので、最終的にはゴールに到達するための回数が増え社会的コストが増えるということを学ぶ交通不便地域バージョン、3回目は高齢者役を決めバスにしか乗れないとする。そうすると、他の児童はクルマばかり選ぶ。それによって、高齢者役の児童がものすごく理不尽に感じるという高齢者バージョンも行ったらよい。

## 2.7 今後の進め方

### 2.7.1 今後の課題

今年度から3カ年は、授業プログラム作成・年間カリキュラムへの位置づけたための準備期間であるため、協力校で授業プログラムを実施しながら授業プログラムの効果把握の検証や改良を行う。その一方で、年間カリキュラムへ位置づけるための課題もあり、その両方を検討していく必要がある。

金沢版交通環境学習を年間カリキュラムに位置づけるための課題を整理すると、以下の通りである。

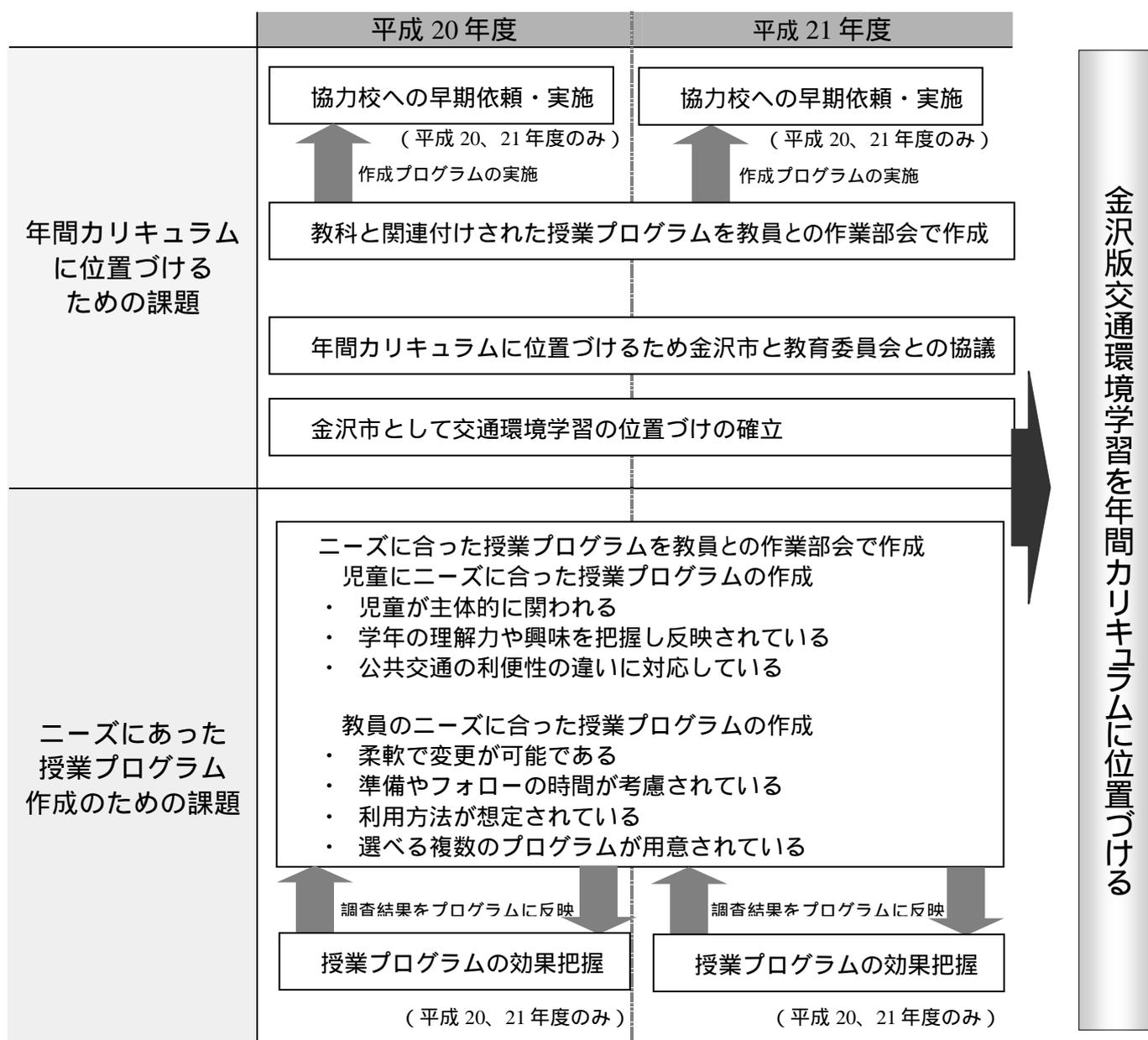


図 2.7.1 今後の課題

## 2.7.2 平成 20 年度のスケジュール

交通環境学習推進委員会の検討を受け授業プログラムを改善し、平成 19 年度中に平成 20 年度協力校への依頼を始める。以下に今後のスケジュールを示す。

交通環境学習推進委員会を適宜開催し、より効果的で持続的な交通環境学習プログラム確立のために、助言をいただく。

表 2.7.1 20 年度のスケジュール

年度	H20											
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
協力校への依頼												.....
・授業の準備 ・教材の作成	作業部会 ● ● ●											
授業実施				—————								
実施成果まとめ								—————				
金沢版 交通環境学習プログラム トライアル版作成									—————			
交通環境学習推進委員会			●					●			●	

## < 参考資料 >

### 1．交通エコロジー教室（1回目授業）教材等

- （1）寸劇シナリオ
- （2）バス利用方法説明シナリオ
- （3）使用スライド
- （4）タイムスケジュール

### 2．復習授業（2回目授業）プログラム

- （1）各小学校実施詳細プログラム
- （2）事務局案

### 3．アンケート帳票・ふりかえりシートなど

- （1）児童事前アンケート
- （2）児童事後アンケート
- （3）保護者・教育関係者アンケート
- （4）交通エコロジー教室感想シート
- （5）復習授業ふりかえりシート
- （6）バス乗車体験記

### 4．バス乗り方ガイド

## 参考資料1.交通エコロジー教室(1回目授業)教材等

### (1) 寸劇シナリオ

#### 平成19年度交通エコロジー授業プログラム交通エコロジー教室 寸劇シナリオ + スライド

司会者：これは金沢のある一家の物語です。

これは、ある朝のお話です。

シナリオ1 ラッシュの交通渋滞編(4分)	
シーン1	車の中
お母さん	あなたたち、なにやっているの！ いつもぐずぐずして！ 早く車に乗りなさい。今日は21世紀美術館で、社会見学があるんでしょ！！ もう時間が無いんだから！ さっさとクルマに乗りなさい！
長女・ぼく	はあ~い。 (ボタン。車のドアを閉じる音)
お母さん	みんな乗った？ ちゃんとシートベルト締めた？ じゃあ出発！ (ブーン。自動車の走る音。お母さんは去る) (ブーン。しばらく自動車の走る音) (ブレーキ。自動車が停まる。)
お母さん	すごい渋滞ねえ。まずいなあ、朝のラッシュにぶつかっちゃったあ。
長女	本当だわ。 (しばらく沈黙)
長女	ねえ、お母さん。もう時間なんだけど、なんとかならないの。
お母さん	なんとかならないかって言ってもねえ…。なんともならないのよ。
ぼく	つままないなあ。
お母さん	全然動かない。ほんとに遅刻しちゃうわ。
ぼく	そうだねえ。
長女	ねえ、お母さん。
お母さん	(だまって運転)
長女	ねえ、お母さんってば。



お母さん	(だまって運転)
長女	ねえ、
お母さん	うるさいわね！(大きな声)
長女	大きな声ださないでよ。
ぼく	(ぼく、びっくりして泣き出す)
長女	あんたも泣かないでよ、うるさいから
ぼく	(ぼく、もっと泣き出す)
長女	泣かないの！！
お母さん	ああ、もう、うるさい！！(もっと大声で) (時間が止まる。)
シーン 2	バス仮面解説
バス仮面	<p>(お母さん、長女、ぼくは動かない。時間が止まっている。そこへバス仮面登場)</p> <p>やれやれ。朝早くからケンカになっちゃったね。それに、せっかくの社会見学にも遅れちゃいそうだね。</p> <p>(会場に向かって)みんなも、朝早く車に乗って出掛けたとき、渋滞にあってイライラしたり、約束に遅れちゃったりしたことはないかな。</p> <p>金沢のまちなかは、お隣の福井や富山に比べて、昔からの道路がたくさん残っているから、道のはばがせまく、クルマが比較的渋滞しやすいんだ。</p> <p>(金沢の渋滞写真をスライドで見せる)</p> <p>朝の渋滞時間に、渋滞にあわないで街なかに行くためにはどうすればよいと思いますか？</p> <p>それは、バスに乗ればいいのよ！</p> <p>これを見て。(金沢のバスレーンで渋滞する車の横をバスが走る写真を見せる。)</p> <p>これは、「バスレーン」というものです。</p> <p>自動車が混雑している時間に、バスが渋滞で動かなくならないように、バスだけが走れるところを決めているんだね。ここは、4人以上の人が乗っている自動車以外は通ってはダメなんだよ。こうすれば、バスはいつでもスイスイ走れるんだね。</p> <p>だから、この家族も自動車に乗らないで、バスに乗っていけば、社会見学に遅れずにすんだんだよね。</p> <p>みんなも、自動車で混雑している街なかへ行くときには、バスに乗るとスイスイ行けるんだよ。そして車</p>

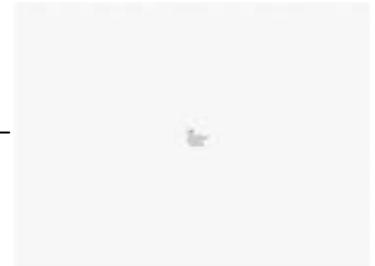


わがしやまの横のどうろ



バスレーンでスイスイ走るバス

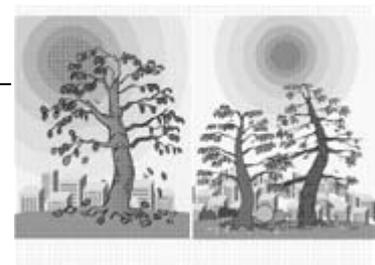
	<p>を運転するお父さん、お母さんにもバスレーンが実施されている時は必ず守るように言ってね。わかったかな。(満足げに頷く)</p> <p>(長女・ぼくだけ動き出す。バス仮面に近づき、長女が肩をたたく)</p>
長女・ぼく バス仮面	<p>ねえ、ねえ。お姉さん誰なの？</p> <p>わ、わ、私？(なぜかうろたえる)</p> <p>私は、私は……。</p>
ぼく	<p>さ、さ、さらバス！！(と言いながら、走り去る)</p> <p>さらバス？</p>
お母さん	(お母さんも動き出し、長女・ぼくに近づく)
長女	今の人誰？
お母さん	わかんない
長女・ぼく	<p>知らない人について行っちゃダメよ！</p> <p>(うなづく)</p>



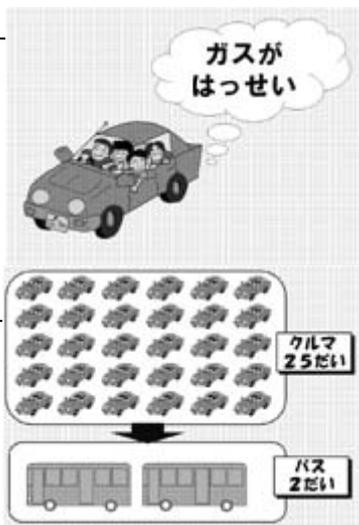
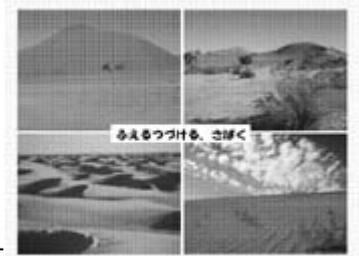
司会者：不思議なお姉さんが出てきました。いったい誰なのでしょう。

それでは次のお話です。みなさん、暑かった今年の夏を思い出しながら見て下さい。

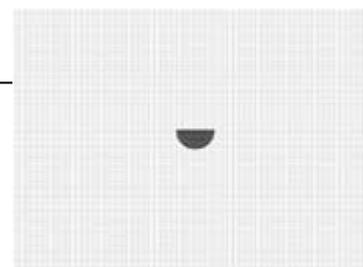
シナリオ2 地球温暖化とバスの関係？(3分)	
シーン1	街のなか
長女・ぼく	(みんなで街を歩いている。セミの鳴き声)
お母さん	暑いねえ。
長女・ぼく	暑いわあ。
お母さん	暑いねえ。
お母さん	(ブーン。たくさんの自動車の走る音)
お母さん	今年は特に暑いわねえ。
お母さん	(ブーン。自動車の走る音)
お母さん	車の音を聞くと、よけい暑苦しいわあ。
ぼく	あ、木も苦しそうだ！
ぼく	(木が枯れていく絵)
長女	あ、あそこにも！
長女	(木が枯れていく絵)
お母さん	地球がどんどん暑くなっているのかしら。
お母さん	(ブーン。たくさんの自動車の走る音)
お母さん	なんだか怖いわねえ。大丈夫なのかしら。
お母さん	(みんなでしばらく街を歩いている。セミの鳴き声)
お母さん	暑いわあ。



長女 ぼく お母さん 長女 ぼく 長女	暑いよお。 暑いよお。 もうダメだわ。(倒れる) お母さん!!大丈夫?! ぼくも(倒れる) しっかりして! わー!! (時間が止まる)
シーン 2	バス仮面解説
バス仮面	<p>(お母さん、長女、ぼくは動かない。時間が止まっている。そこへバス仮面登場)</p> <p>今度はたいへんなことになっちゃったねえ。 (会場に向かって)みんなは、「地球温暖化」って言葉知っているかな?</p> <p>地球が少しずつ暑くなってくることをいうんだね。 (砂漠の写真)砂漠になったり (南極の写真)地球の氷が溶けて、陸地が沈んだり、 いろいろたいへんなことになるのよ。</p> <p>今日は、この地球温暖化と自動車の関係についてみんなに知って欲しいんだ。 (自動車のマンガ)</p> <p>車が走ると、地球を温かくするガスが発生するんだ。</p> <p>君たち100人が自動車に乗ると、自動車1台に4人ずつのれば、自動車は25台必要だね。(25台の車のイラスト)</p> <p>もし、君たち100人がバスにのったら、一台の大型バスには50人が乗れるので、2台のバスでいいんだね。(2台のバス(JRバス)のイラスト)</p> <p>25台の自動車と2台のバス。これらが走るとすると、地球を温かくするガスは、自動車の方が約5倍も多く発生することとなるね。</p> <p>つまり、もしみんなが自動車でなくバスに乗ったら、地球を温かくするガスは5分の1で済むんだね。これで、地球が温かくなることが防げるってわけね。</p> <p>地球のためにも、みんなにはバスに乗ってほしいな!</p> <p>わかったかな!(満足げにうなづく)</p> <p>(お母さん、弟が起きる。長女バス仮面に近づき、</p>



	肩をたたく)
長女	あの、失礼ですけど、どちら様で？ わ、わ、私？（なぜかうろたえる） 私は、私は……。
バス仮面	さ、さ、さらバス！！（と言いながら、走り去る）
お母さん	さらバス？
ぼく	さらバスだ！



司会者：バスは地球を守る乗り物なんです。

それにしても、あのへんなお姉さんの正体は何なのでしょう。

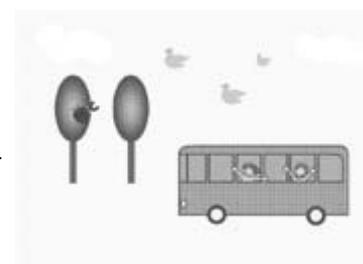
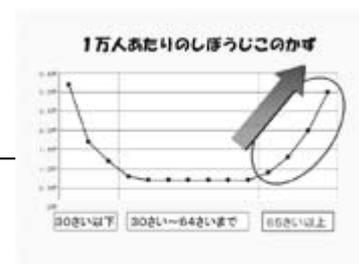
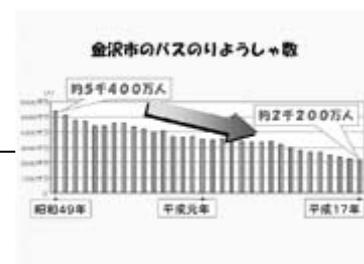
さあ、次は、家族みんなでバスに乗って出かけようとしています。

シナリオ4 みんなのバス（3分）	
シーン1	バス停
お母さん	（お母さん、長女とぼくが立っている。バス停） もう渋滞もこりごり。だからみんなで環境にもやさしいバスに乗りましょうね。
ぼく	（全員バスに乗り込む）（バスが走っている音） バスに乗る人ってどれくらいいるだろう？
長女	バスはどんな人が利用してるんだろう？
お母さん	そうね、バスに乗ったことがあまりないから、バスがどんなふうに使われているかわからないわね。
運転手(バス仮面)	それはね。（バスの音が消える）
長女	あれ??
シーン2	バス仮面解説

3 みんなのバス



運転手(バス仮面)	(帽子をとる)私が説明します！ 1年間のバスの利用者数は、昭和49年つまり今から33年前には、5千400万人もいたのに、おとしには、2千200万人にまで減ってしまったのよ。33年間で、40%に減少したの。 そして、お客さんが減ってしまと、バスがどんどん少なくなってしまうかもしれないだよ。
ぼく	バスがなくなつて、クルマに乗ればいいじゃん！
運転手(バス仮面)	みんながクルマを持っているかな？
長女	あ、うちのおばあちゃんは持っていない。病院に行くのに、バスを使ってるわ。
お母さん	お姉ちゃんが、高校に行くようになったら、バスで学校まで行くようになるかもしれないわね。
運転手(バス仮面)	今運転できる人たちでも、年をとって運転ができなくなるときがくるんだよ。みんなのお父さんやお母さんも、年をとって運転すると事故を起こす可能性も多くなるし、なるべくクルマの運転は少なくしたほうがいいかもね。
長女	お母さんがおばあちゃんになったら、事故にあわないように、バスに乗ってほしいな。
お母さん	そうだね、あなたたちのために、バスに乗るようにしないとね。
ぼく	バスは、ぼくたちやおじいちゃん、おばあちゃん、お母さんたち、みんなのバスなんだね。
運転手(バス仮面)	いつもじゃ大変でも、乗れるときに、みんなでバスに乗って応援してね！
長女・ぼく	うん！バスを応援するよ！！ あれ、運転手さんバス運転しなくていいの??
運転手(バス仮面)	あえ？あ?? さらバス！！
ぼく	あのお姉さん、バスの運転手もしてるんだー。
長女	ね。



司会者：みんなでバスを応援しようね。

さあ、最後のお話です。おねえさんとぼくが、バスのことを知って、バスに乗っています。

シナリオ4 人にも優しくなるバス ~ エンディング(3分)	
シーン1	バスのなか
長女・ぼく	(長女とぼくが座っている)
ぼく	バスっていいな! スイスイ走れるし、ぼくバスが好きだよ!!
長女	私だって好きよ。
ぼく	バスって格好いいしね!!
おばあさん	(バスによるよる乗ろうとしている)
ぼく	おばあさん、バスにちゃんと乗れるかなー。 (スライドに低床バス(北鉄バス)がうつる。)
おばあさん	(バスになんとかスムーズに乗れた)
ぼく	このバス、床が低いから乗りやすいね。
長女	バスの床が低くなっているから、お年寄りや身体の不自由な人にも乗りやすいんだね。いろんな人がバスに乗るから、いろんな人にとって、使いやすくなってるんだね。
長女	学校で習ったんだけど、クルマ椅子でも乗れるようになってるんだって。
ぼく	へえー、バスってすごいなあ。 (おばあさんが荷物を持ってふらふら車内を歩く)
長女	でも、おばあさん荷物を持ってたいへんそうだな。 (ブレーキの音。バスがゆれる。おばあさんがよろける)
ぼく	あ、おばあちゃん危ない。 席をゆずってあげよう!
長女・ぼく	(長女・ぼく、顔を見合わせて、うなづく) せいの! (同時に立ち上がる!)
長女・ぼく	おばあさん! こちらにどうぞ!! (大きな声で)
おばあさん	あ、ありがとう。ほんとうに助かるわ!! (席にすわる)
長女・ぼく	(顔を見合わせて)よかったね。
おばあさん	ふふふふ。(笑い出す)
長女	え、なんなの?
ぼく	このおばあさん変だよ。(おびえる)
おばあさん	変じゃないわ!(立ち上がる。立ち上がるとバス仮面になる)

4 バスをしよう  
バスにのろう



長女・ぼく おばあさん (実はバス仮面)	あっ！ 君たちはほんとうに良い子だね。素晴らしい！ (会場に向かって)みんなもバスに乗って、お年寄り や身体の不自由な方が乗ってきたら、席を変わって あげようね。 (長女・ぼく、バス仮面に近づく)
ぼく 長女 バス仮面	さらバス、のお姉ちゃんだ！ バス仮面よ！！ (長女・ぼくを見ながら)君たちは、バスのこともよ く知っているし、お年寄りに席をゆずってあげられ る良い子だね。 これからもバスに乗ってね！！
長女・ぼく バス仮面	うん、乗るよ！！ じゃあね！さらバス！！ (かるーく退場)
長女・ぼく	ありがとうバス仮面！ さらバス！！(バス仮面に対して)
長女・ぼく	さらバス！！！！！！！！(会場に向かって) (退場)



おわり

司会者登場で終わり

## (2) バス利用方法説明シナリオ

平成19年度交通エコロジー授業(仮称)プログラム  
「交通エコロジー教室、バス利用方法の説明」の詳細 ver2

### 1. 開催日

交通エコロジー教室の一部として、「バス利用方法の説明」行う。

長田町小学校	11月2日(金)5時限目(13:55~14:40)
緑小学校	11月6日(火)2時限目(9:25~10:10)
押野小学校	11月6日(火)4時限目(11:30~12:15)

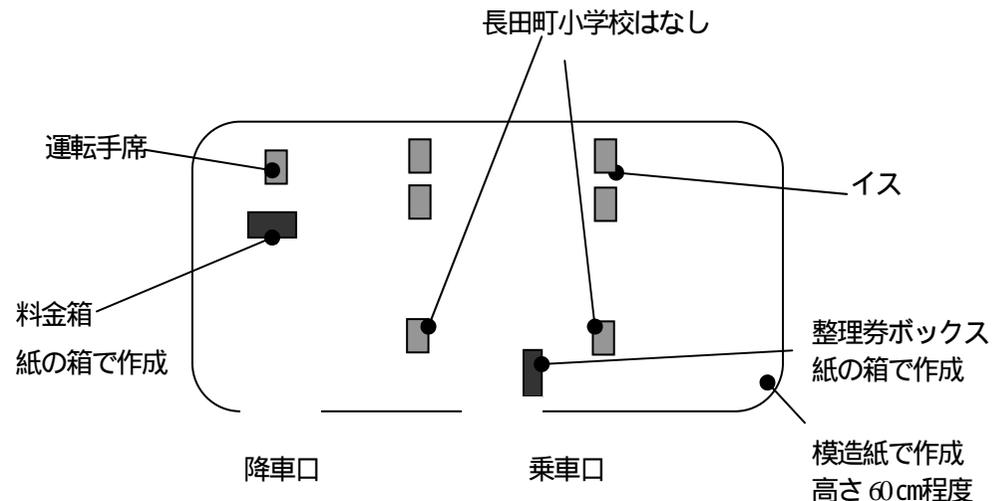
### 2. 所要時間

20分

### 3. 準備するもの

項目	数量	各小学校に準備いただくもの
イス	8脚	
机	2客	
MDプレーヤー	1台	-
プロジェクター	1台	-
スクリーン	1本	-
パソコン	1台	-
ポインター	1こ	-
模造紙のバス車両セット	1セット	-
バス停セット	1セット	-
降車ボタン	1つ	-
運転手の帽子・手袋	1組	-
大きな整理券	3枚	-
大きなお金	何枚か	-
おばあさんのツエ	1本	-
おばあさんのふるしき	1つ	-

## 4. バス車両セット



## 5. 登場人物と持ち物

押野・緑小学校

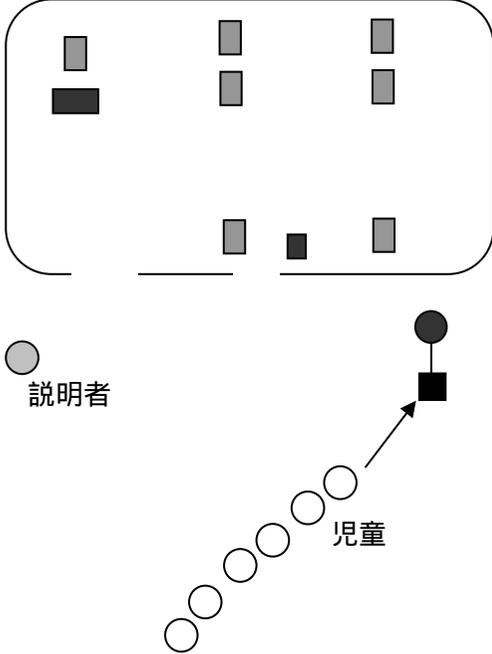
役名	人数	持ち物	担当
説明者	1	ポインター	コンサルタント
運転手	1	帽子・ハンドル	金沢市
乗客	6	お金	児童
乗客(高齢者)	1	杖・大きな荷物	教員

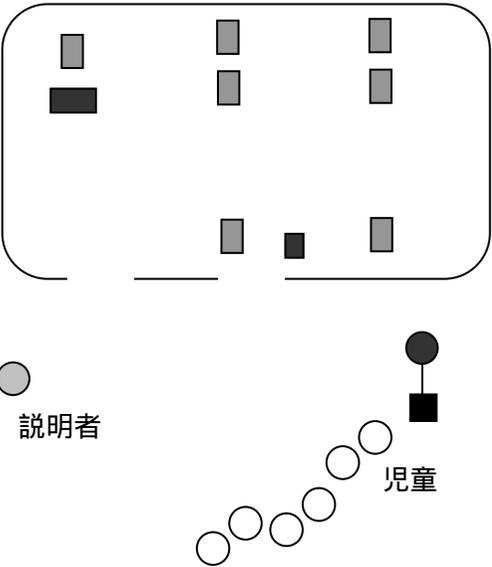
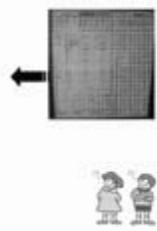
長田町小学校

役名	人数	持ち物	担当
説明者	1	ポインター	コンサルタント
運転手	1	帽子・ハンドル	金沢市
乗客	4	お金	児童
乗客(高齢者)	1	杖・大きな荷物	教員

パソコン操作はコンサルタントが担当

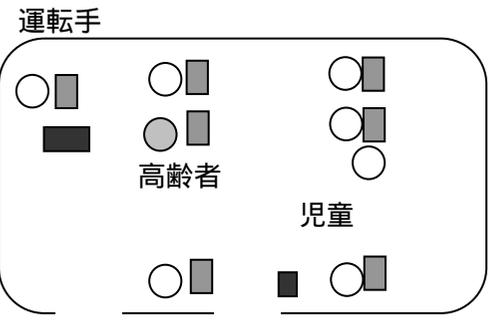
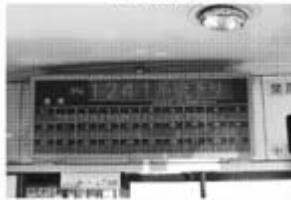
## 6. 流れ

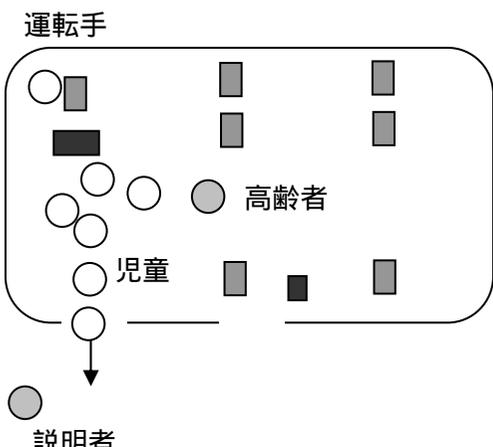
<p>1. バス停での待ち方</p>	<p>3分</p>	<p>長田町小学校 14:15 ~ 14:18</p>	<p>緑小学校 9:45 ~ 9:48</p>	<p>押野小学校 11:50 ~ 11:53</p>
<p>人の配置</p>	<p>説明事項</p>	<p>登場人物の動き</p>	<p>プロジェクター</p>	
	<p>これからバスの乗り方について学びます。 このバスに乗ったことのある人！</p> <p>(挙手の感想)今日は、みんながバスに自分で乗れるように、バスの乗り方について勉強しましょう。 では、みなさんの中から、説明に参加してくれる人は誰ですか？その場で立って下さい。 (児童の名前を聞く)</p> <p>これから さんと さんは、21世紀美術館にバスに乗って行こうと考えています。</p> <p>まず第一ポイント。バスはバス停から乗ります。それでは、みなさんバス停にきてください。 バス停には、いろいろなバス停があります。 このマークのあるところがバス停です。</p>	<p>【児童挙手】</p> <p>【児童】 名前を言う</p> <p>【児童】 バス停にやってくる</p>	<p>バスののりかた</p>    <p>いろいろなバス停</p> 	

2. 時刻表の見方	5分		長田町小学校	14:18~14:23
			緑小学校	9:48~9:53
			押野小学校	11:53~11:58
人の配置	説明事項	登場人物の動き	プロジェクター	
 <p>説明者</p> <p>児童</p>	<p>では、バス停に着いたら、次は何をしないといけないでしょうか？</p> <p>(プロジェクターを指しながら)          バス停には、このような時刻表というものがあります。時刻表には、バスの行き先とそのバスが出発する時刻が書いてあります。          まずこの時刻表を見て、ここに来るバスがどこに行くバスかを確認します。          このバスは兼六園行きのバスです。          兼六園行きのバスは21世紀美術館を通ります。</p> <p>次にこの時刻表から、何時にバスが来るかを確認します。          この数字が、何時かを表しています。この数字は分を表しています。このバスは、時分、時分...に、このバス停にやってきます。          今は、14:20(長田町小学校)、9:50(押野小学校)、11:55(緑小学校)です。次に来るバスは、14:50です。</p> <p>それでは、バスが来るまで、順番に並んでバスを待ちましょう。</p>	<p>【児童】          バス停の時刻表を見る</p>	 	

3. バスの乗り方	2分		
	長田町小学校	14:23~14:25	
	緑小学校	9:53~9:55	
	押野小学校	11:58~12:00	
人の配置	説明事項	登場人物の動き	プロジェクター
<p>運転手</p> <p>説明者</p> <p>高齡者</p>	<p>あ、バスが到着しました。</p> <p>みんな、金沢で走っているバスは、前のドア、真ん中のドア、どちらから乗るか知っていますか？</p> <p>そうです、真ん中のドアからバスに乗ります。</p> <p>そして、バスに乗るときには、入口にあるこの箱から、整理券を一枚とりましょう。</p> <p>では、みなさんやってみましょう。</p> <p>本物の整理券は、ここから出てきますが、今日は上にある整理券をとってください。</p>	<p>【運転手】 バスの中に入り、運転席に座る</p> <p>【高齡者】 さりげなくバス停に登場</p> <p>【児童】 後ろから乗車し、整理券を取る</p> <p>【高齡者】 児童と同様</p>	<p>プロジェクター</p>

4. 席の座り方	3分		
	長田町小学校	14:25~14:28	
	緑小学校	9:55~9:58	
	押野小学校	12:00~12:03	
人の配置	説明事項	登場人物の動き (バス停片付ける)	プロジェクター
<p>運転手</p> <p>説明者</p> <p>高齢者</p> <p>児童</p>	<p>いよいよバスが走り出しました。</p> <p>あれ、おばあちゃんが大きな荷物をもって大変そうです。</p> <p>バスにはいろいろな人が乗ります。身体の不自由な人や、おばあちゃん、おじいちゃん、おなかの大きなお母さんも乗ります。元気なみなさんは、恥ずかしがらずに声をかけて席をゆずってあげましょう。</p> <p>はい、さん、さん、大変よくできました。おばあさんも喜んでますね。立ってバスに乗るときは、ポールなどにしっかりつかまりましょうね。バスはみんなの乗り物です。まわりの人に迷惑にならないように、静かにのりましょう。</p>	<p>【運転手】 ハンドルを回して運転しているようにする。</p> <p>【高齢者】 よろよろする。</p> <p>【児童】 席をゆずる。</p> <p>【高齢者】 お礼を言う。</p>	

5. 料金の見方	4分		
	長田町小学校	14:28~14:32	
	緑小学校	9:58~10:02	
	押野小学校	12:03~12:07	
人の配置	説明事項	登場人物の動き	プロジェクター
<p>運転手</p>  <p>説明者</p>	<p>バスは21世紀美術館に向かっています。もうそろそろ21世紀美術館の近くのバス停に到着しそうです。バスが到着するまでに、みんなでバスの料金について学びましょう。</p> <p>(プロジェクターを指しながら)</p> <p>バスは、長い距離を乗れば乗るほど、料金は高くなっていきます。今回は、みなさんは小学校の近くのバス停から21世紀美術館の近くのバス停、「香林坊」や「広坂」まで乗ります。整理券を確認してください。4番と書いてありますね。料金は大人が</p> <p>(長田町小学校の場合) 210円です。こども料金は大人の半分なので、120円をみなさんに払ってもらいます。</p> <p>(緑小学校の場合) 390円です。こども料金は大人の半分なので、200円をみなさんに払ってもらいます。</p> <p>(押野小学校の場合) 310円です。こども料金は大人の半分なので、160円をみなさんに払ってもらいます。</p>	<p>【児童・高齢者】 バスに乗っている。</p> <p>【運転手】 バスを運転</p>	<p>りょうきん表</p> 

6. 降り方	3分		
	長田町小学校	14:32~14:35	
	緑小学校	10:02~10:05	
	押野小学校	12:07~12:10	
人の配置	説明事項	登場人物の動き	プロジェクター
<p>運転手</p>  <p>説明者</p>	<p>降りるバス停が近づいてきました。降りたいと思うバス停に近づくときに、近くのピンク色のブザーを押して、次のバス停で降りますよーという合図を運転手さんにしましょう。</p> <p>バスがバス停に停まりました。バスが完全に止まったから、運転席の横にある箱に、お金と整理券を入れましょう。入れて下さい。</p> <p>そして、運転手さんにありがとうお礼をいいます。</p> <p>以上がバスの乗り方です。</p> <p>さん、さんは、21世紀美術館にバスに乗って行くことができました。みなさんも、これでバスに乗れますね。</p> <p>バスの中でわからないことがあったら、運転手さんに聞いてくださいね。</p> <p>では今日勉強したことを活かして、実際にバスにみなさんに乗って21世紀美術館に行ってみてください。これでバスの乗り方の説明を終わります。</p> <p>説明に協力してくれた、さん、さん、先生、そして金沢市役所のさんありがとうございました。</p> <p>司会を市役所職員に交代</p>	<p>【児童】 ブザーを押す</p> <p>【児童】 料金箱に整理券とお金を入れ、「ありがとう」と言って降車</p> <p>【高齢者】 児童と同様</p> <p>【運転手】 「ありがとう」と返事をする。</p> <p>【全員】 おじぎ、退場</p>	  

(3) 使用スライド





いしびきの朝のどうろ



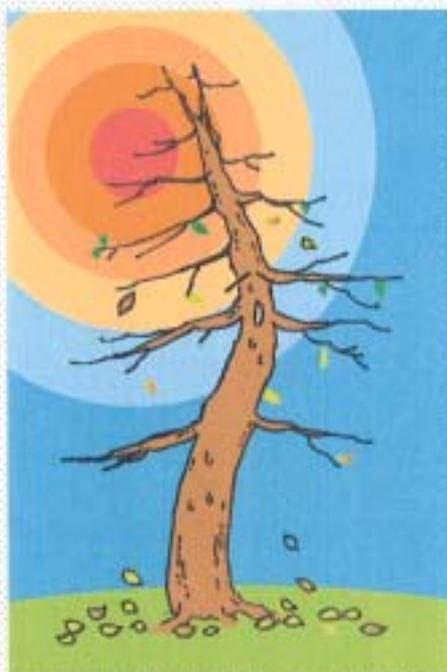
ひがしやまの朝のどうろ

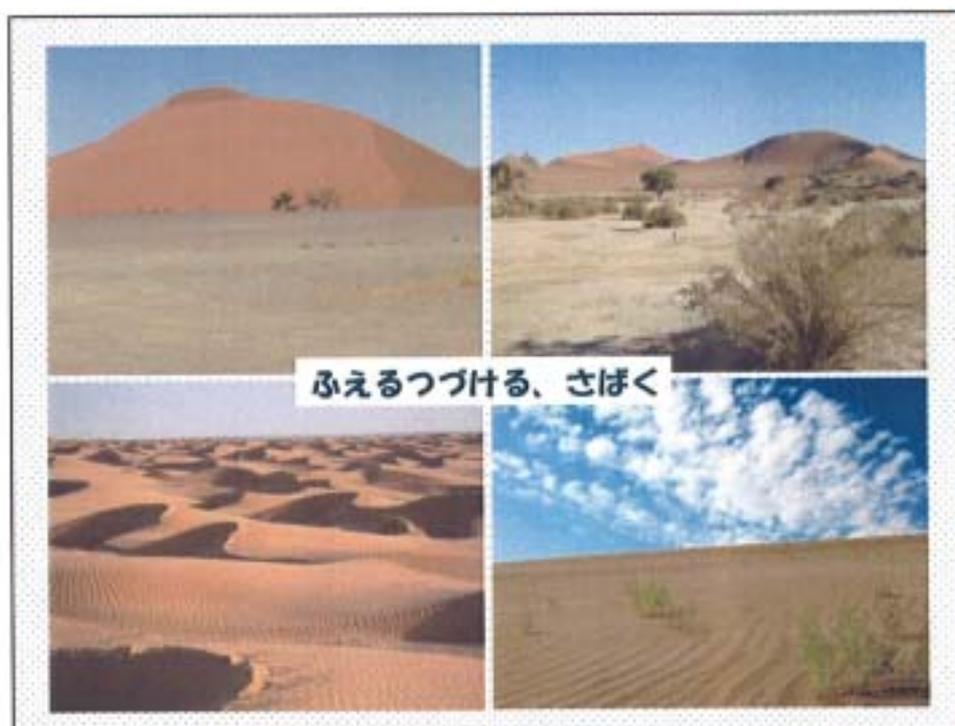
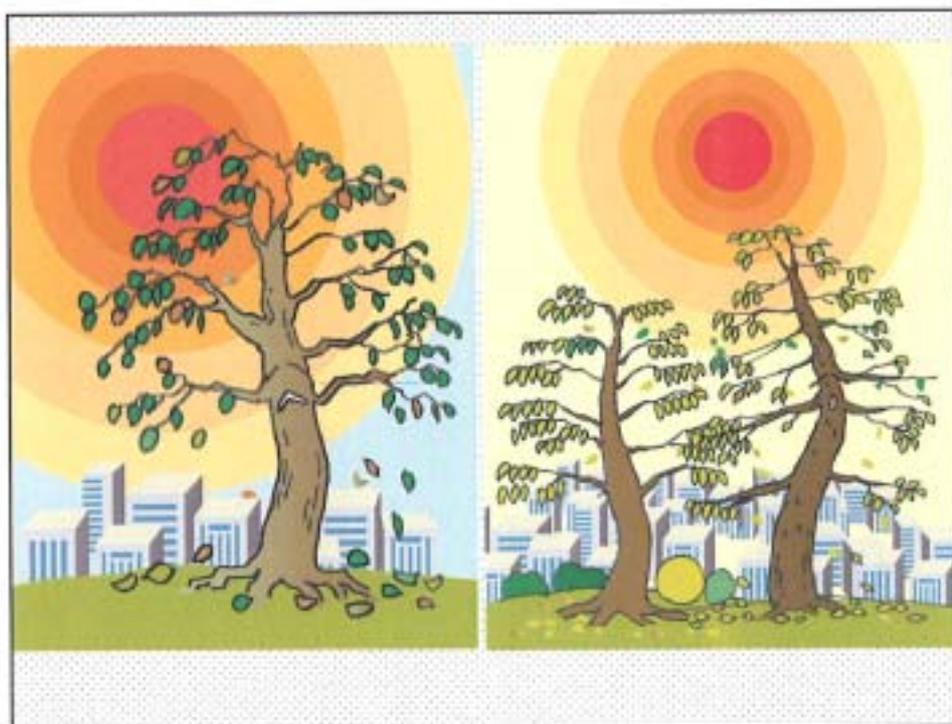


バスレーンをすいすい走るバス

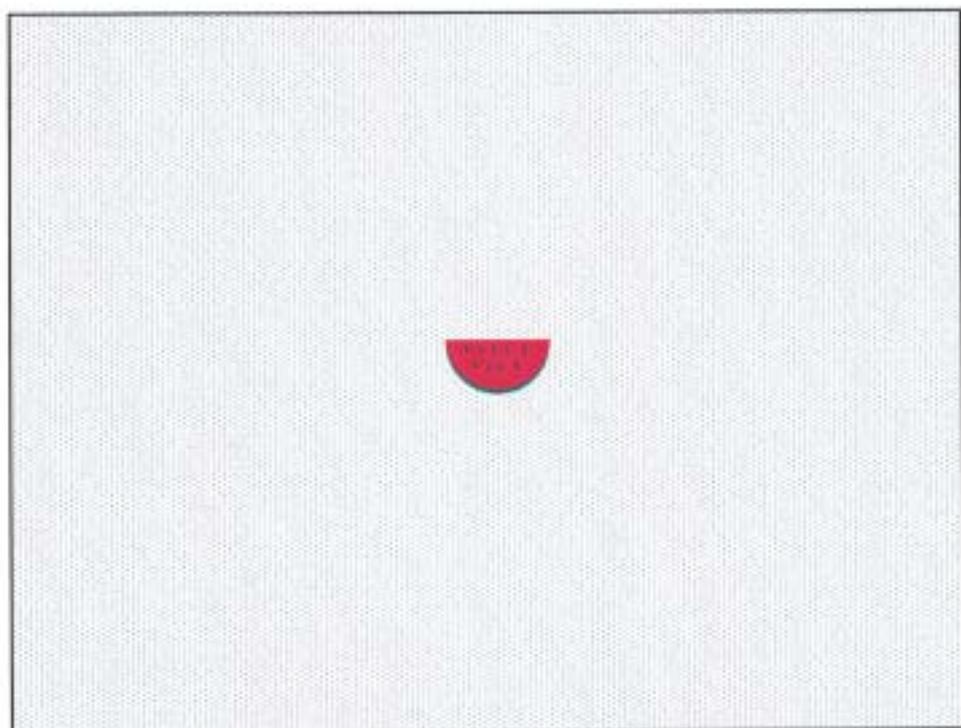
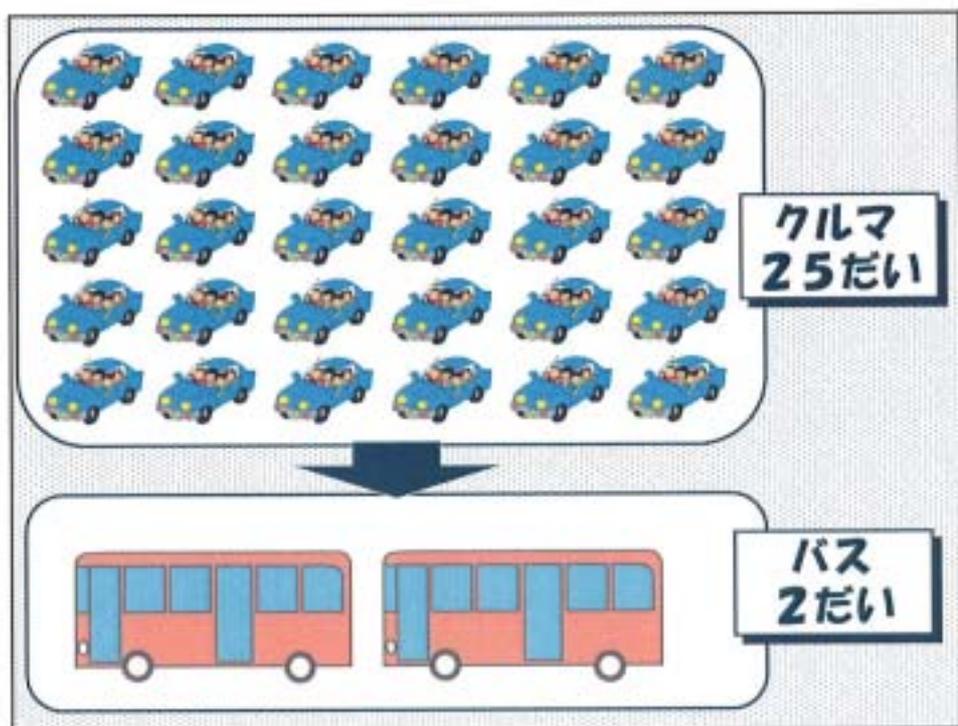


## 2. あるあつい夏の日





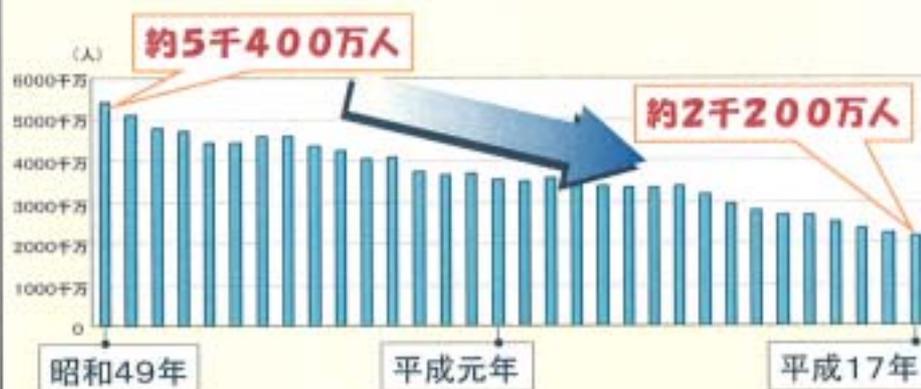




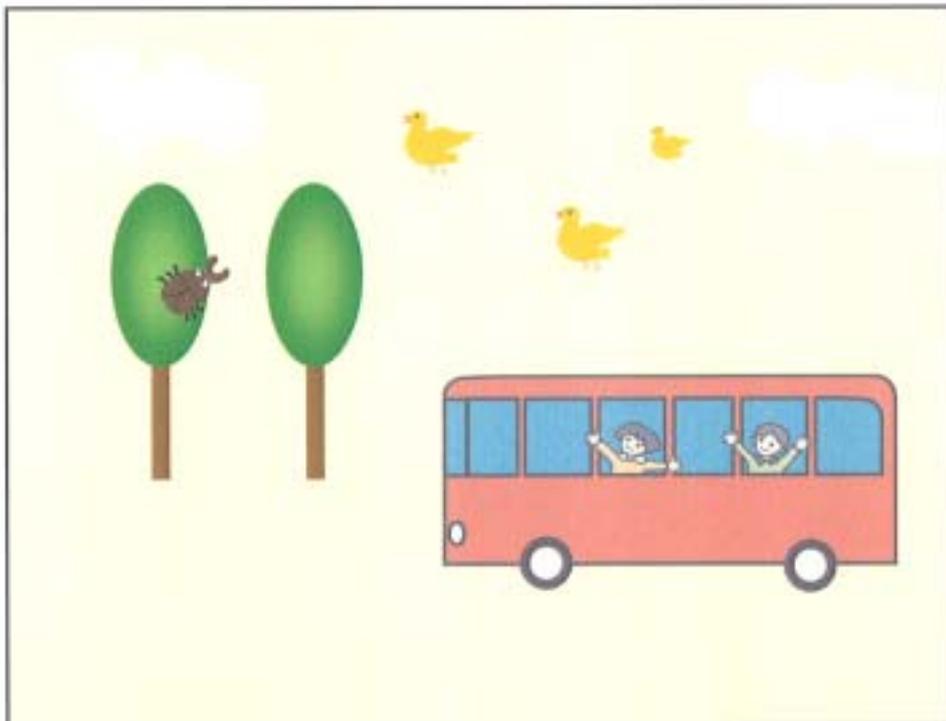
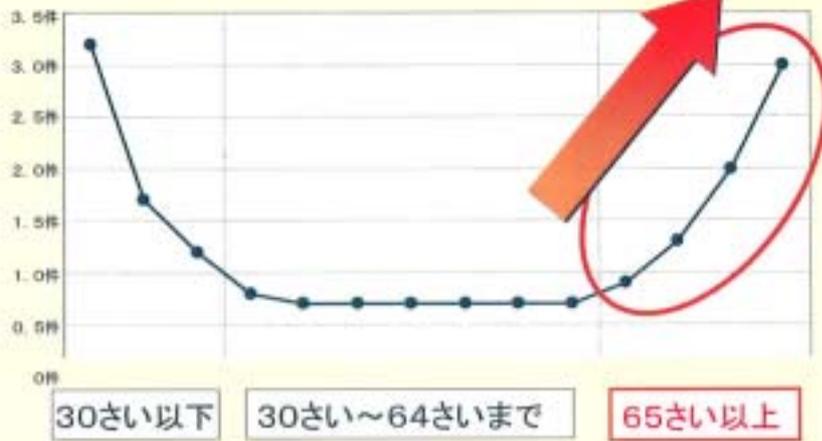
### 3.みんなのバス

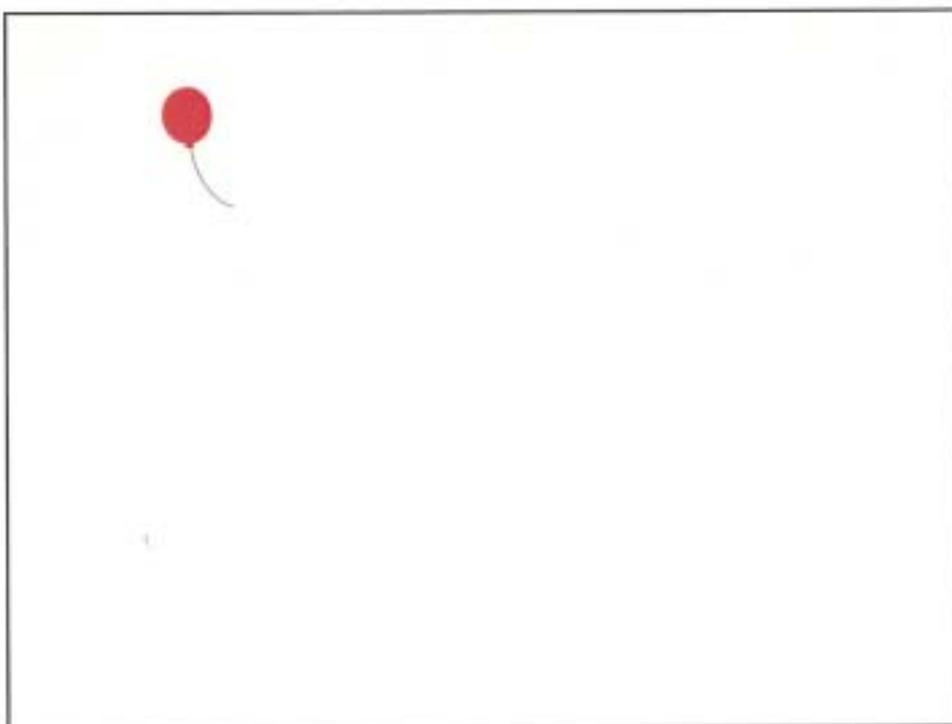


### 金沢市のバスのりようしゃ数

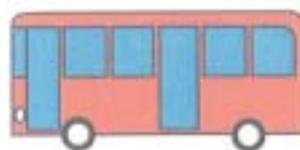


# 1万人あたりのしほうじこのかず





**4.バスをしろろう  
バスにのろろう**

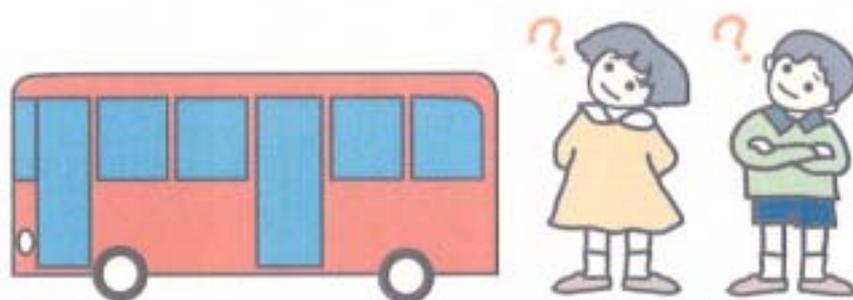






おわり

バスののりかた





## いろいろなバス停



行き先 時刻	63兼六園下	
5		
6	10	50
	12	30
7	45	50
	07	15
	25	45
8	55	
	12	30
	45	50
9	55	
	05	25
10	45	55
	12	30
	45	50
11	55	
12	10	50
	20	30
13	55	
14	10	50
15	10	50









おわり



バスにのって、  
金沢21世紀びじゅつかんに  
行ってみよう！！



(4) タイムスケジュール

長田町小学校交通エコロジー教室タイムスケジュール

2007/11/2

	小学校教員	児童	金沢市役所	劇団	コンサル
13:25	長田町小学校集合			舞台設置	
13:55 (2分)	児童集合・開会あいさつ	着席	司会進行 開会あいさつ		写真撮影
13:57 (13分)	寸劇	観劇	観劇	寸劇	パソコン操作 写真撮影
14:10 (5分)	感想発表	わかった児童は 挙手で合図 感想のある生徒 は挙手して発表 (2,3人)	司会進行 児童に挙手させ て理解度を確認 児童何人かに感 想を聞く		バス利用方法の 説明のセット準備 写真撮影
14:15 (20分)	バス利用方法の説明 詳細は別紙参照	2,3人の児童が 乗客として説明に 参加	バス運転手役と して説明に参加		バスの乗り方を 説明 パソコン操作 写真撮影
14:35 (5分)	バス乗車体験記(裏面授業アンケート 記載)	バス乗車体験と アンケートについ ての説明を聞く 配布物の確認	バス乗車体験と バス乗車体験記 入の説明とおねが い 閉会あいさつ		配布物の配布 写真撮影
14:40	終了・解散	終了・解散	閉会あいさつ	撤去・終了	

緑小学校交通エコロジー教室タイムスケジュール

2007/11/6

	小学校教員	児童	金沢市役所	劇団	コンサル
	緑小学校集合 舞台設置				
8:45	児童を着席させる 観劇	着席 観劇	司会進行 開会あいさつ 観劇		写真撮影
9:25 (2分)				寸劇	写真撮影
9:27 (13分)					パソコン操作
9:40 (5分)	市役所職員の手 ポート	わかった児童は 拳手で合図 感想のある生徒 は拳手して発表 (2,3人)	司会進行 児童に拳手させ て理解度を確認 児童何人かに感 想を聞く		写真撮影 バス利用方法の 説明のセット準備 写真撮影
9:45 (20分)	おばあさん役と して説明に参加	2,3人の児童が 乗客として説明に 参加	バス運転手役と して説明に参加		バスの乗り方を 説明 パソコン操作
10:05 (5分)	市役所職員の手 ポート	バス乗車体験と アンケートについ ての説明を聞く 配布物の確認	バス乗車体験と バス乗車体験記 入の説明とおねが い 閉会あいさつ		写真撮影 配布物の配布 写真撮影
10:10	終了・解散	終了・解散		撤去・終了	

押野小学校交通エコロジー教室タイムスケジュール

2007/11/6

	小学校教員	児童	金沢市役所	劇団	コンサル
11:00	押野小学校集合				
11:30 (2分)	児童を着席させる	着席	司会進行 開会あいさつ	舞台設置	写真撮影
11:32 (13分)	観劇	観劇	観劇	寸劇	パソコン操作 写真撮影
11:45 (5分)	市役所職員のサポート	わかった児童は 拳手で合図 感想のある生徒 は拳手して発表 (2,3人)	司会進行 児童に拳手させ て理解度を確認 児童何人かに感 想を聞く		バス利用方法の 説明のセット準備 写真撮影
11:50 (20分)	おばあさん役と して説明に参加	2,3人の児童が 乗客として説明に 参加	バス運転手役と して説明に参加		バスの乗り方を 説明 パソコン操作 写真撮影
12:10 (5分)	市役所職員のサ ポート	バス乗車体験と アンケートについ ての説明を聞く 配布物の確認	バス乗車体験と バス乗車体験記 入の説明とおねが い 閉会あいさつ		配布物の配布 写真撮影
12:15	終了・解散		撤去・終了		

## 参考資料2 . 復習授業(2回目授業)プログラム

### (1) 各小学校実施詳細プログラム

#### (押野小学校の場合) 3STEPでバス利用促進について考え俳句・標語を作成

交通エコロジー教室やバス体験教室で得られた知識や体験を3ステップに分け、さらに深め、俳句や標語を作成する。クラスによって、1ステップごとに1コマを当て、3ステップで3コマ使う場合や、ステップ1を中心としステップ2を加えた授業を1コマで行うなど、クラスの事情に応じた授業カリキュラムを組む。

#### STEP 1 : 各自でバス利用促進策を紙に書いて発表

各自で、以下の2点の中からテーマを選び、そのテーマに対してのバス利用促進案を紙に書く(絵でもよい・いくつでもテーマを選んでよい)。完成した利用促進案を1人ずつ発表し、教員が模造紙にまとめながら、意見交換を行う。

##### 利用促進案のテーマ

- ・どのようなバス車両ならば、たくさんの人にとってバスに乗りたいたいと思ってもらえるかを考える。
- ・どのようなバス停ならば、たくさんの人にとってバスに乗りたいたいと思ってもらえるかを考える。

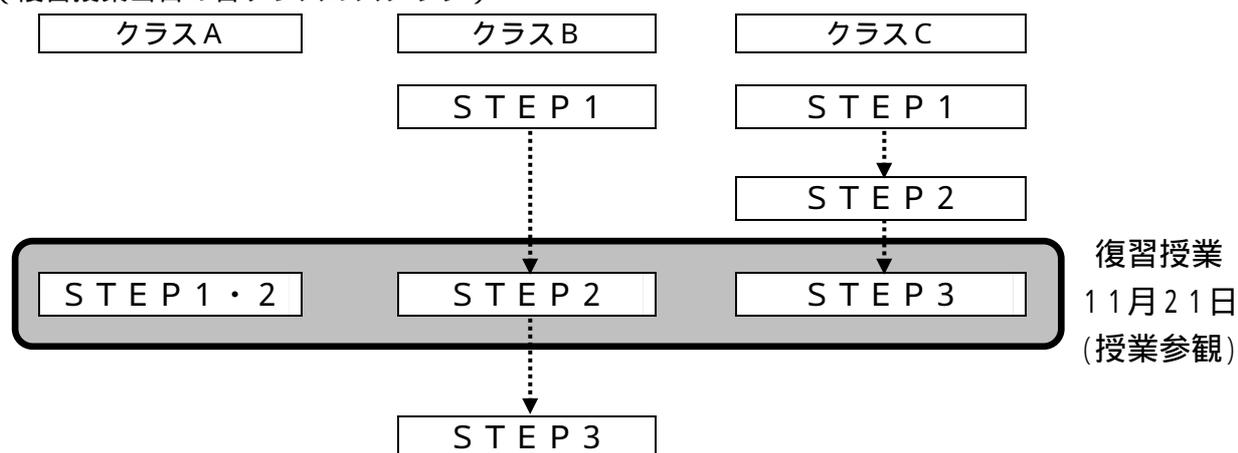
#### STEP 2 : どうしたらバス利用促進が図れるか、考えを深める

STEP 1 で出された意見をもとに、さらにいろいろな立場になってバス利用促進を、意見交換を中心に考える。また、バスを応援するために「僕・私ができること」や「家族ができること」について考える。

#### STEP 3 : バス利用をPRするために俳句や標語をつくる

バス利用をPRするための俳句や標語を、各児童で考える。

#### (復習授業当日の各クラスのステップ)



- ・復習授業は授業参観であり、3クラス同時に開催する。当日は、3クラスそれぞれが違ったステップで授業を行う。
- ・市役所職員が、授業の始めと終わりにあいさつを行うほかは、進行は教員が行う。
- ・復習授業当日以外の授業の記録は、STEP 1では模造紙に児童の作品を貼り教員にまとめてもらい、STEP 3では、児童作品を一度回収する。STEP 2や適宜、教員が黒板をデジカメで写して記録する。

(長田町小学校の場合) 案2を改良し、グループごとにテーマ分担し新聞を作成

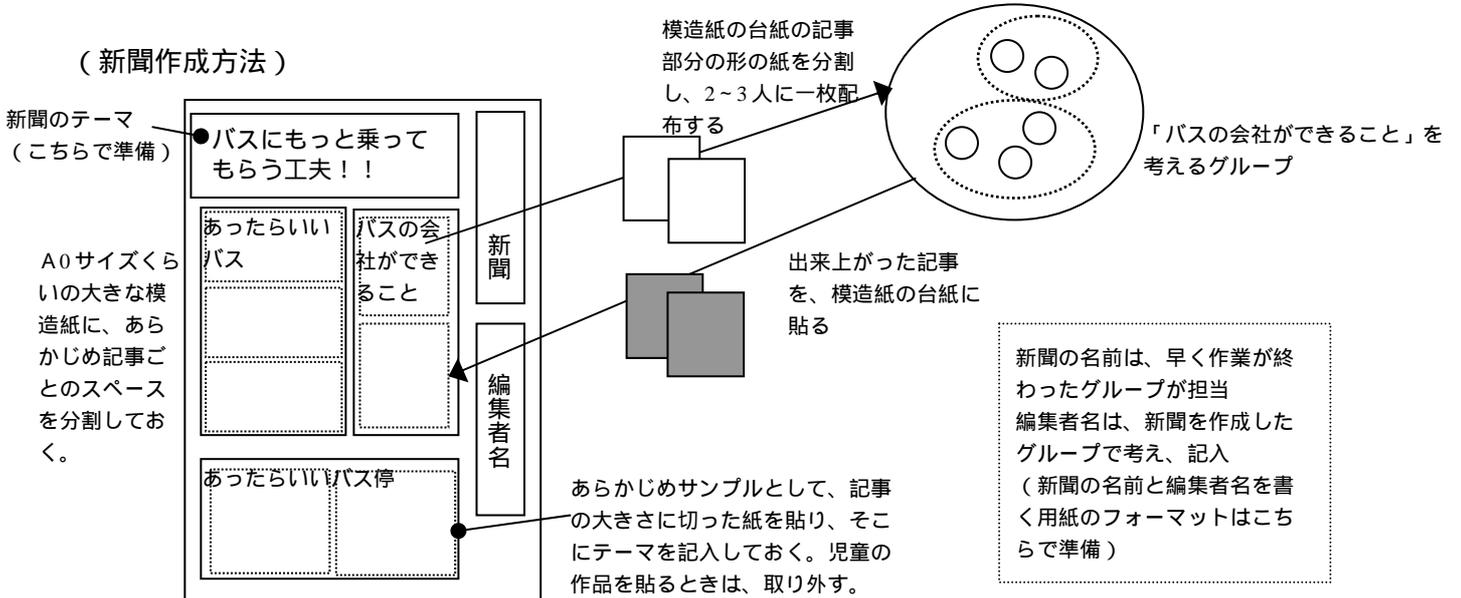
案2の「バス利用促進策の新聞を各自で作成」を、より児童が考える時間を設け、児童同士のコミュニケーションを図るために、グループごとにひとつのテーマを選び、そのテーマに関する記事を作成し、各グループで作成した記事を集め新聞にする。作業の時間を設けるために、5時間目と6時間目の2時限分で実施。

1 時間目	
前半	バス乗車体験記に基づく意見交換 新聞作成の主旨・方法の説明
バス乗車体験記に基づき、意見交換をしてもらう。その後、新聞作成の主旨・方法を説明。グループに分かれ、各グループでのテーマを決定する。	
新聞のテーマ	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・バスを走らせる会社がこんなことをしたら、みんながバスに乗るよ</li> <li>・こんなバスだったら、もっと乗りたい!! (絵を描く)</li> <li>・こんなバス停だったら、もっと乗りたい!! (絵を描く)</li> </ul>	
後半	グループに分かれ、担当の記事を作成
グループごとに分かれ、記事を作成。1人の児童だけが作業をしないように、ひとつのテーマの中でも、2~3人ごとに一枚の紙を配布。よって、ひとつのテーマの中でも、2~3枚の記事ができあがる場合がある。(グループの人数や分け方は未定)	



2 時間目	
前半	引き続き、グループに分かれ、担当の記事を作成
1時間目後半に引き続き、作業を行う。早く作業が終わったグループは、新聞の名前を考え、紙に描く。	
後半	作成した記事を新聞にする 各グループで発表
出来上がった各グループの記事を、大きな模造紙に貼り、1枚の新聞にしていく。各グループで、作成した記事について発表する。	

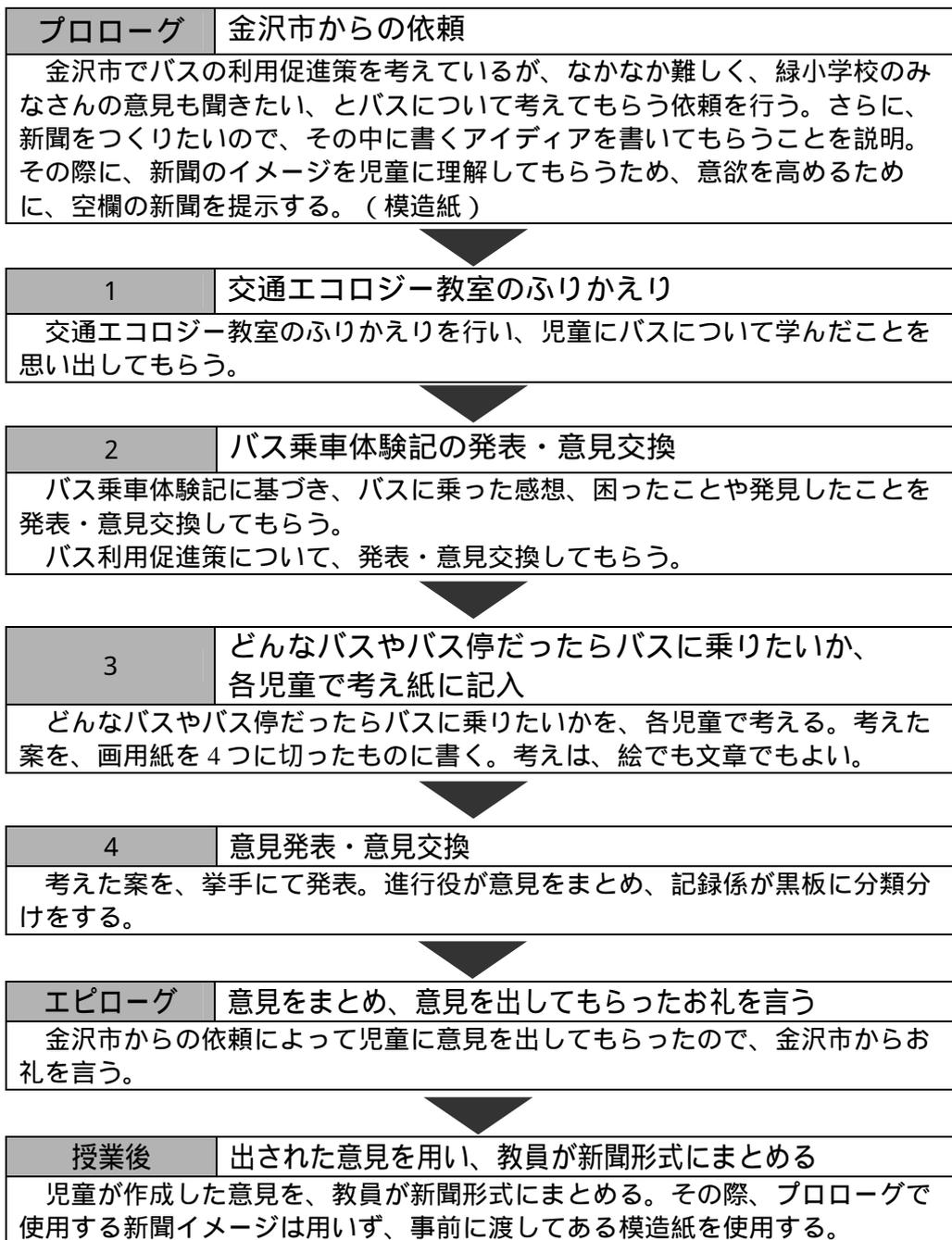
(新聞作成方法)



(緑小学校の場合)

金沢市からのお願いという形で、どんなバスやバス停だったらバスに乗りたいかを考える。  
授業終了後、出された意見を教員が新聞形式にまとめる

1コマという限られた時間の中で、さらに、場所柄バスにあまりなじみがない児童の復習授業として、「どんなバスだったら乗りたいか」という比較的考えやすい質問に対し、児童各自が考え紙に考えを書く。その考えを発表し、書いた紙を進行役が黒板に貼って分類していく。授業終了後、教員が新聞形式にまとめる。また、児童の意欲を高めるために、金沢市からの依頼という形で授業を始める。



(提示する新聞イメージ)

どんなバスだったら みんな乗りたい？	新聞
	4年 組のみんな

(2) 事務局案

復習授業プログラムについて

交通エコロジー教室を受け、児童にバス乗車体験を行っていただいた後、各クラスにて復習授業(45分)を行う。なお、バスに乗車しなかった児童も主体的に授業に参加できるよう留意する。

復習授業の目標	バス利用促進案を考えることで、バス利用を身近に感じ、自ら考え実践する姿勢を身につける
---------	--

(案1) バス利用促進の標語や俳句をつくり発表

バス利用促進のために、標語や俳句をつくる。どうしたらたくさんの人がバスに乗ってくれるかを考えるとともに、短く分かりやすい言葉で表現することを学ぶ。

時間	内容・詳細	教員	児童	金沢市	コンサル	教材・備品
15分	乗車体験発表 意見交換 (利用促進策を中心に)	市職員の 補助	挙手にて感 想を発表	意見をまと めながら問 題提起	写真撮影	記録用 模造紙 カラーペン
17分	各自でバス利用促進 の標語/俳句を作成	市職員の 補助	標語/俳句 を考え、紙 に記入	バス利用促 進の標語/ 俳句作成の 説明	教材の配布 写真撮影	各児童： A3を縦にふ たつに切った ものを2枚ず つ 各テーブル： カラーペン
8分	考えた標語/俳句を發 表・作品を展示	市職員の 補助	1人ずつ標 語/俳句を 発表	進行	作品の展示 写真撮影	展示用 セロテープ、 ビニール紐、 掲示板 記録用 模造紙 カラーペン
5分	総評	市職員の 補助		作品に対す る総評とバ ス利用促進	写真撮影	記録用 模造紙 カラーペン

(例えば) 児童に作品を人気投票してもらおう。選ばれた児童には、作品の意図を聞く。また、投票した児童には、なぜその作品を選んだかを言ってもらおう。

(案2) バス利用促進策に関する新聞をつくり発表

バス乗車体験で気づいたことや困ったことから、バス利用促進案を新聞によって表現する。文字だけではなく、絵によっても表現可能。

時間	内容・詳細	教員	児童	金沢市	コンサル	教材・備品
10分	乗車体験発表 意見交換 (利用促進策を中心に)	市職員の 補助	挙手にて感想を発表	意見をまとめながら問題提起	写真撮影	記録用 模造紙 カラーペン
20分	各自で新聞作成	市職員の 補助	バス乗車体験や利用促進策の新聞を作成	新聞作成の説明	教材の配布 写真撮影	各児童： A3新聞記入用用紙 各テーブル： カラーペン
10分	新聞を発表・展示	市職員の 補助	挙手にて発表	進行	作品の展示 写真撮影	展示用 セロテープ、 ビニール紐、 掲示板 記録用 模造紙 カラーペン
5分	総評	市職員の 補助		作品に対する総評とバス利用促進	写真撮影	記録用 模造紙 カラーペン



電車を利用した体験新聞  
大阪府での取り組み

バスにもっとたくさんの人が乗るために、できることはこれだ!!

バスに乗ってすてきなことだと、いろんな人に伝えるためにはどうしたらいい?

バスを走らせる会社がこんなことをしたら、みんなバスに乗るよ。

こんなバスとバス停だったら、もっと乗りたい!!

- どんなバスやバス停だとみんながうれしいかな? 絵で書いてみよう -

バスを応援するために、僕・私ができること

バスを応援するために、みんなのお父さんやお母さんができること

新聞

編集者名

年 組

配布する新聞用紙案 (A3)

(案3) グループごとにさまざまな立場になって、バス利用促進策を考え発表。

グループごとに、バス車両をつくる人、バスを走らせる会社、児童の保護者、児童自身、などの立場に分かれ、バス利用促進策やバスをもっと応援するためにできることを考える。

時間	内容・詳細	教員	児童	金沢市	コンサル	教材・備品
10分	乗車体験発表 意見交換 (利用促進策を中心に)	市職員の 補助	挙手にて感 想を発表	意見をまと めながら問 題提起	写真撮影	記録用 模造紙 カラーペン
3分	グループ分けと立場 を決める	市職員の 補助	グループに なって、立 場を決める	児童をグル ープに分 け、立場を 調整・決定	写真撮影	
20分	各グループで利用促 進策やバスを応援す るためにできること を考え、模造紙に描 く	市職員の 補助	バス乗車体 験や利用促 進策の新聞 を作成	新聞作成の 説明	教材の配布 写真撮影	各グループ： 模造紙 カラーペン
10分	各グループで提案を 発表・展示	市職員の 補助	挙手にて発 表	進行	作品の展示 写真撮影	展示用 セロテープ、 ビニール紐、 掲示板 記録用 模造紙 カラーペン
2分	総評	市職員の 補助		作品に対す る総評とバ ス利用促進	写真撮影	記録用 模造紙 カラーペン

(立場の例)

利用促進策を考える立場	バスを応援する方法を考える立場 (バスにもっと乗るための方法を考える立場)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・バスを走らせる会社</li> <li>・バスの車両をつくる会社</li> <li>・バス停をつくる会社</li> <li>・道路をつくる会社</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童自身</li> <li>・児童の家族</li> </ul>

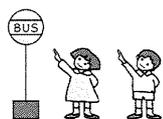
( 案 4 ) 乗車体験記のバス利用促進策について意見交換

児童が家庭で記入してきたバス乗車体験記をもとに、バスへの意見や感想を述べ、バスをもっとたくさんの人に利用してもらうには、どうしたらよいか、さまざまな立場に立って考える。

時間	内容・詳細	教員	児童	金沢市	コンサル	教材・備品
10分	乗車体験発表 乗車体験記問 1～3	市職員の 補助	挙手にて感 想を発表	意見を聞く	写真撮影	記録用 模造紙 カラーペン
25分	バス利用促進策の発 表・意見交換	市職員の 補助	挙手にて意 見を発表	意見を聞き ながら問題 提起	写真撮影	記録用 模造紙 カラーペン
10分	クラスでのバス利用 促進策を提案 提案を紙に描く	市職員の 補助	挙手にて提 案を発表 模造紙に提 案を描く	提案のまと め 児童に提案 を模造紙に 描いてもら うよう説明	模造紙の 準備 写真撮影	提案用 模造紙 カラーペン 展示用 セロテープ、 ビニール紐、 掲示板 記録用 模造紙 カラーペン

# 参考資料3 . アンケート帳票・ふりかえりシートなど

## (1) 児童事前アンケート



### バスについて答えてみよう

年 組 氏名 \_\_\_\_\_

バスについて、あなたが感じていることを書いてください。

#### しつもん1

あなたは今までに、バス停からバスにのったことがありますか？

1. いつものっている
2. ときどきのっている
3. のったことはあるけれど、ほとんどふだんはのらない
4. のったことがない

あなたの答え

#### しつもん2

バスは好きですか？

1. 大好き
2. 好き
3. どちらともいえない
4. あまり好きではない
5. きらい
6. わからない



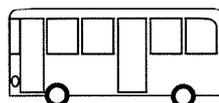
あなたの答え

なぜ、そう思いますか？わけを教えてください。

#### しつもん3

金沢市のバスにのってみようと思いますか？

1. いつものりたいたい
2. たまにのりたいたい
3. どちらともいえない
4. あまりのりたくない
5. のりたくない
6. わからない



あなたの答え

なぜ、そう思いますか？わけを教えてください。

しつもん4

あなたの住むまちのバスは、大切だと思いませんか？

- 1. とても大切
- 2. 大切
- 3. どちらともいえない
- 4. あまり大切ではない
- 5. 大切ではない
- 6. わからない

あなたの答え

[ ]

なぜ、そう思いませんか？わけを教えてください。

[ ]



しつもん5

みんながクルマばかり使っていると、バスはなくなってしまうと思いませんか？

- 1. 思う
- 2. 少し思う
- 3. どちらともいえない
- 4. あまり思わない
- 5. 思わない
- 6. わからない

あなたの答え

[ ]

なぜ、そう思いませんか？わけを教えてください。

[ ]

しつもん6

バスは、かんきょうにやさしいのりものだと思いますか？

- 1. すごくやさしい
- 2. やさしい
- 3. どちらともいえない
- 4. あまりやさしくない
- 5. やさしくない
- 6. わからない

あなたの答え

[ ]



なぜ、そう思いませんか？わけを教えてください。

[ ]

しつもん7

もっとバスにのるべきだと思いますか？

- 1. 思う
- 2. 少し思う
- 3. どちらともいえない
- 4. あまり思わない
- 5. 思わない
- 6. わからない

あなたの答え

[ ]

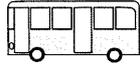
なぜ、そう思いませんか？わけを教えてください。

[ ]

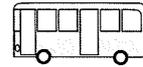


おわり

(2) 児童事後アンケート



バスについて答えてみよう2



年 組 氏名

バスについて、あなたが感じていることを書いてください。

しつもん1

バスについて学校で勉強したあとに、バスにのって金沢21世紀美術館に行きましたか？

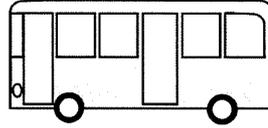
1. バスにのって、金沢21世紀美術館に行きました
2. バスにはのらないで、金沢21世紀美術館に行きました
3. バスにはのったけど、金沢21世紀美術館には行きませんでした
4. バスにものらなかつたし、金沢21世紀美術館にも行きませんでした

あなたの答え

しつもん2

バスは好きですか？

1. 大好き
2. 好き
3. どちらともいえない
4. あまり好きではない
5. きらい
6. わからない



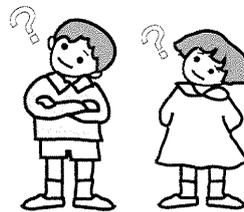
あなたの答え

なぜ、そう思いますか？わけを教えてください。

しつもん3

金沢市のバスにのってみようと思いますか？

1. いつものりた
2. たまにのりた
3. どちらともいえない
4. あまりのりたくない
5. のりたくない
6. わからない



あなたの答え

なぜ、そう思いますか？わけを教えてください。

しつもん4

あなたの住ま<sup>す</sup>ま<sup>ち</sup>のバスは、大切<sup>たいせつ</sup>だと思<sup>おも</sup>いますか？

- 1. とても大切<sup>たいせつ</sup>
- 2. 大切<sup>たいせつ</sup>
- 3. どちらともいえない
- 4. あまり大切<sup>たいせつ</sup>ではない
- 5. 大切<sup>たいせつ</sup>ではない
- 6. わからない

あなたの答え

( )



なぜ、そう思<sup>おも</sup>いますか？わけを教<sup>おし</sup>えてください。

Blank box for answer.

しつもん5

みんながクルマばかり使<sup>つか</sup>っていると、バスはなくなってしまうと思<sup>おも</sup>いますか？

- 1. 思う
- 2. 少し思う
- 3. どちらともいえない
- 4. あまり思<sup>おも</sup>わない
- 5. 思<sup>おも</sup>わない
- 6. わからない

あなたの答え

( )

なぜ、そう思<sup>おも</sup>いますか？わけを教<sup>おし</sup>えてください。

Blank box for answer.



しつもん6

バスは、かんきょうにやさしいのりものだと思<sup>おも</sup>いますか？

- 1. すごくやさしい
- 2. やさしい
- 3. どちらともいえない
- 4. あまりやさしくない
- 5. やさしくない
- 6. わからない

あなたの答え

( )



なぜ、そう思<sup>おも</sup>いますか？わけを教<sup>おし</sup>えてください。

Blank box for answer.

しつもん7

もっとバスにのるべきだと思<sup>おも</sup>いますか？

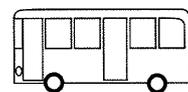
- 1. 思う
- 2. 少し思う
- 3. どちらともいえない
- 4. あまり思<sup>おも</sup>わない
- 5. 思<sup>おも</sup>わない
- 6. わからない

あなたの答え

( )

なぜ、そう思<sup>おも</sup>いますか？わけを教<sup>おし</sup>えてください。

Blank box for answer.



おわり

### (3) 保護者・教育関係者アンケート

#### 交通エコロジー教室参加者アンケート

本日は、交通エコロジー教室にご参加頂きありがとうございます。

設問の内容をご覧ください、あてはまる番号に○をつけてください。

なお、あてはまる項目がない場合には「その他（ ）」に具体的な内容をお書きください。

問1. 本日の交通エコロジー教室をご覧になっていかがでしょうか。(ひとつだけ○)

- |              |              |
|--------------|--------------|
| 1. たいへんよかった  | 2. まあまあよかった  |
| 3. どちらともいえない | 4. あまりよくなかった |
| 5. よくなかった    | 6. その他       |

( )

問2. ふだん、金沢のまちなかへ来られる際、もっともよく使われる交通手段は何ですか。

(ひとつだけ○)

- |                 |             |
|-----------------|-------------|
| 1. 自家用車(自ら運転)   | 2. 自家用車(同乗) |
| 3. 自動二輪車(原付も含む) | 4. 自転車      |
| 5. 徒歩           | 6. バス       |
| 7. 鉄道           | 8. その他      |

( )

問3. 本日の交通エコロジー教室をご覧になって、今後はバスを利用したいと思われましたか。(ひとつだけ○)

- |                            |
|----------------------------|
| 1. 今後は積極的にバスに乗りたいと思う       |
| 2. 今後はなるべく可能な範囲でバスに乗りたいと思う |
| 3. どちらともいえない               |
| 4. 今後もあまりバスに乗りたいとは思わない     |
| 5. バスに乗ることはない              |
| 6. その他                     |

( )

本日の交通エコロジー教室に参加した感想やご意見など自由にお書き下さい。

●性別(男・女)

●年齢(10才代・20才代・30才代・40才代・50才代・60才代・70才代以上)

●属性(保護者・教育関係者)

ありがとうございました。アンケート内容は目的外には使用しません。

金沢市都市政策局交通政策部歩ける環境推進課

(4) 交通エコロジー教室感想シート

バスについてのじゅうぎょうの感想<sup>かんそう</sup>

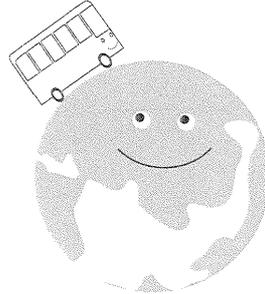
年 組 氏名

バスについて、みんなで学びましたね。その感想<sup>かんそう</sup>を書いてみましょう。

しつもん1

バスかめんのげきは、楽しかったですか？

1. 楽しかった
2. すこし楽しかった
3. どちらとも言えない
4. あまり楽しくなかった
5. 楽しくなかった



あなたの答え

しつもん2

バスかめんのげきの中で、何が心にとこっていますか？

しつもん3

バスの乗り方の説明<sup>せつめい</sup>は、わかりやすかったですか？

1. よく分かった
2. 分かった
3. どちらとも言えない
4. あまり分からなかった
5. 分からなかった



あなたの答え

しつもん4

バスの乗り方の説明<sup>せつめい</sup>を聞いて、自分でバスに乗れそうですか？

1. のれそう
2. 少ししんぱいだけど、のれそう
3. しんぱいで、のれない
4. わからない

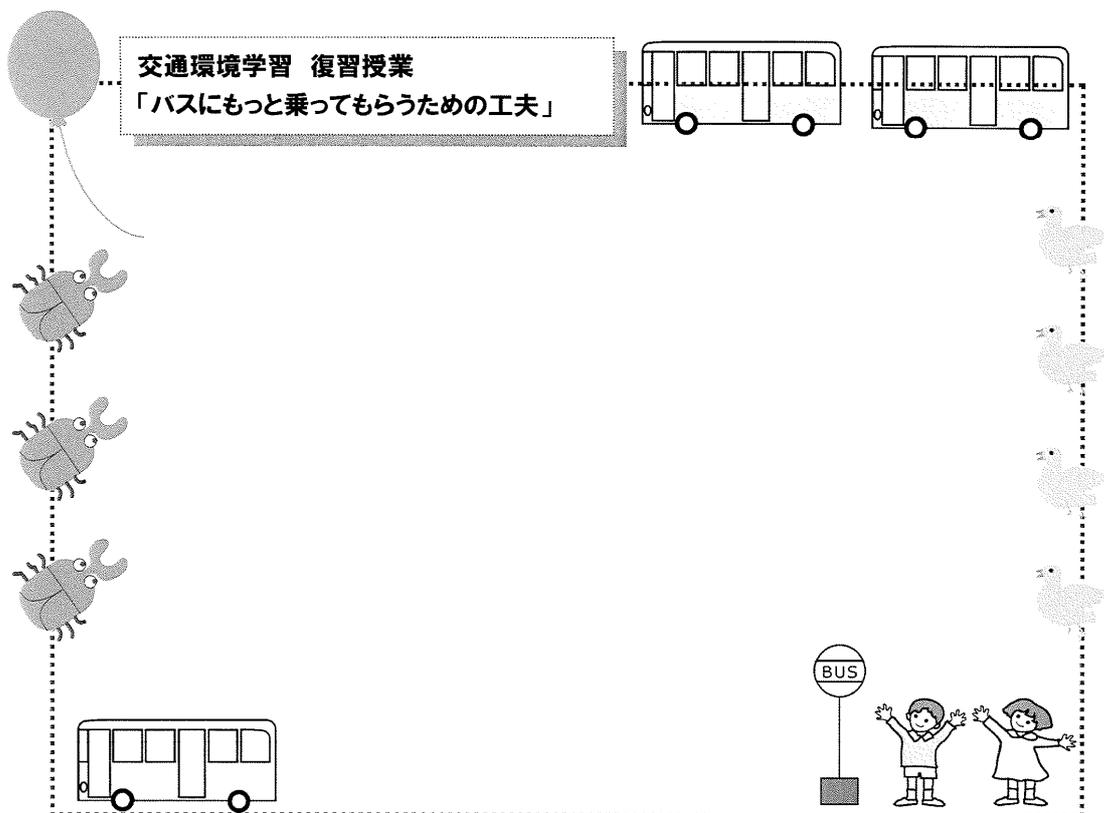


あなたの答え

しつもん5

バスについてのじゅうぎょう<sup>じゅうぎょう</sup>をうけて、どんなことを感じましたか？感想<sup>かんそう</sup>を自由に書いてください。

( 5 ) 復習授業ふりかえりシート



交通環境学習 復習授業  
「バスにもっと乗ってもらうための工夫」

1 1 月 2 7 日 火 曜 日 ( 天 気 ) 名 前

題 :

-----

-----

-----

-----

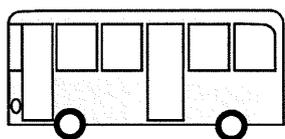
-----

-----

-----

-----

(6) バス乗車体験記



じょうしゃたいけんき  
**バス乗車体験記**

年 組 氏名



バスのやくわりや乗り方など、みんなで勉強しましたよね。  
いよいよバスに乗って金沢21世紀美術館に行ってみましょう！！  
そして、じっさいにバスに乗った感想を書いてみましょう。



1. バスにのって発見したことは何ですか？

—はじめての体験は何？ 何かおもしろいことを見つけた？—

2. みんながバスを使うことを考えたときに、問題はなかったですか？

—いろいろな人の立場になって、考えてみましょう—

3. バスに乗ってみた感想を自由に書いてみましょう。

—楽しかったこと、こまったこと、うれしかったことは何ですか？—

4. みんながバスを使いやすくするために、どんなことをしたらよいでしょう？

—だれかがよろこんでくれることは何だろう？—

—こうすればもっとお客さんが増えることはなんだろう？—

# 参考資料4 . バス乗り方ガイド

表紙 ( 3 小学校共通 )

- 1. バス停でバスを待ちましょ。**



行きたい方向へバスが行くかをかくごんします。  
時刻表を見て、バスの到着時刻をしらべます。
- 2. バスに乗りましょ。**



真ん中のドアから、扉をひいてバスに乗りましょ。  
バスに乗るとき、整理券を忘れずにとりましょ。
- 3. 座席に座りましょ。**



からだの自由な人、おじいさん、おばあさんに  
席をゆずりましょ。  
立って乗るときは、ポールやとってにつかまりましょ。  
さわがないようにしましょ。
- 4. 料金をかくにんしましょ。**



バスの前にある料金表を見ましょ。整理券の番号と  
同じ番号の下に書いてある数字を見ましょ。  
その数字を2で割り、一の位がらだったらを忘れた  
数字、0だったらその数字がバスの料金です。

240 × 2 = 120  
250 × 2 = 125  
250 × 2 = 125 + 5  
250 × 2 = 125 + 5
- 5. ピンクのボタンでバスを降りることを知らせましょ**



おりのバス停のボタンが赤でなれば、  
ピンク色のボタンを押しましょ。
- 6. お金をかくってバスを降りましょ。**



運転手さんの顔の前に、整理券とお金を入れましょ。  
運転手さんに「ありがとう」とお礼を言て、前から  
バスを降りましょ。

## のバスに乗ろう

バスに乗って  
21世紀美術館へいってみよう!



年 組 名 前 \_\_\_\_\_

長田町小学校用

長田町小学校の近くに  
バス停はあるかな?  
何番のバスに乗ればいいのか?



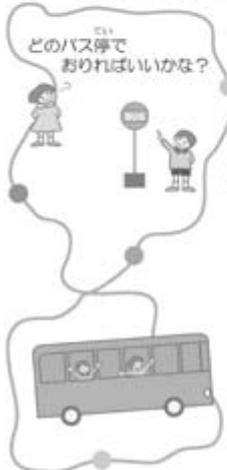
どのバス停で降りればいいのか?





# 押野小学校用

押野小学校の近くに  
バス停はあるかな？  
何番のバスに乗ればいいかな？



# 緑小学校用

緑小学校の近くに  
バス停はあるかな？  
何番のバスに  
乗ればいいかな？

どのバス停で  
おればいいかな？

